

加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 見直しのためのアンケート調査結果

2026(令和8)年8月



加 東 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
第2章 一般高齢者・要支援認定者調査の結果	2
1. 回答者の属性	2
2. からだを動かすことについて	11
3. 食べることについて	24
4. 毎日の生活について	37
5. 地域での活動について	56
6. 健康について	69
7. 認知症について	75
8. 今後の生活と福祉や介護保険制度について	85
9. リスク判定	93
第3章 要介護認定者調査の結果	99
1. 回答者の属性	99
2. 健康について	112
3. 介護保険制度と介護保険サービスについて	116
4. 認知症高齢者賠償責任保険制度について	118
5. 今後の生活と福祉や介護保険制度について	125
6. 主な介護者の考えについて	129
第4章 調査結果の考察	135
1. 一般高齢者・要支援認定者についての現状・課題	135
2. 要介護認定者調査の現状・課題	137

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、加東市高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画を策定するにあたり、既存データでは把握困難な高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の設計

【図表 1-2-1 調査の設計】

調査名	対象	調査方法	調査期間
① 一般高齢者・要支援認定者調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	65歳以上で要介護認定を受けていない人及び要支援認定者: 2,000 人(無作為抽出)	郵送配布 郵送回収	2025(令和7)年 12月11日(木) ～ 2026(令和8)年 1月6日(火)
② 要介護認定者調査	要介護認定者のうち在宅で生活している人: 1,118 人(全数)		

3. 回収状況

【図表 1-3-1 調査の設計】

調査名	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
① 一般高齢者・要支援認定者調査	2,000 件	1,500 件	1,499 件	75.0%
② 要介護認定者調査	1,111 件	636 件	633 件	57.0%
合計	3,118 件	2,136 件	2,132 件	68.4%

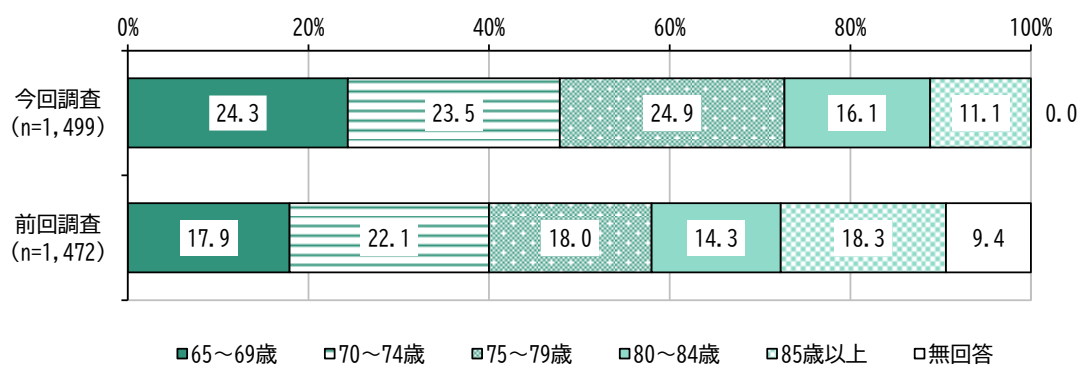
第2章 一般高齢者・要支援認定者調査の結果

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢について、「75～79 歳」が 24.9%で最も高く、次いで「65～69 歳」が 24.3%、「70～74 歳」が 23.5%となっています。

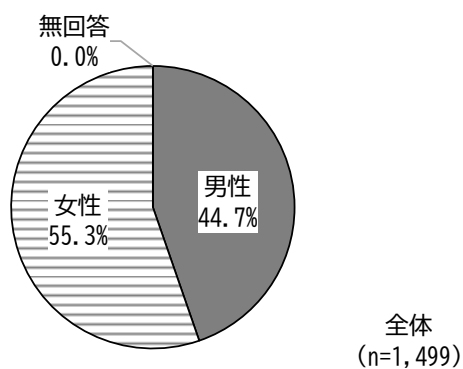
【図表2-1-2 年齢】



(2) 性別

性別について、「男性」が 44.7%、「女性」が 55.3%となっています。

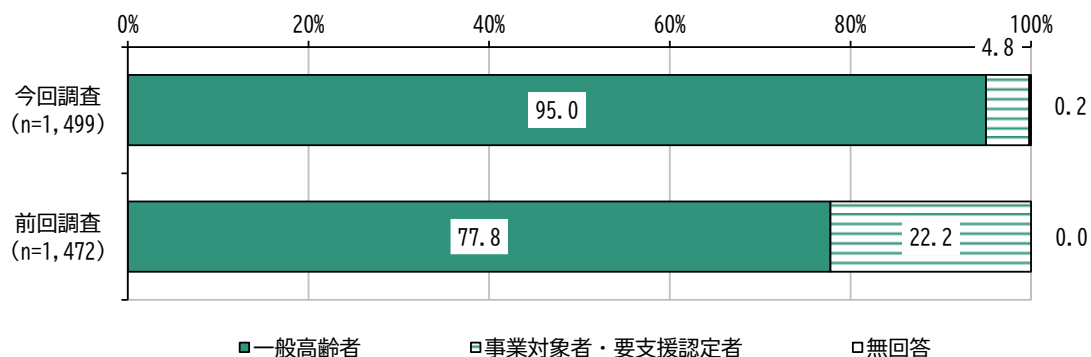
【図表2-1-3 性別】



(3) 認定状況

認定状況について、「一般高齢者」が95.0%、「事業対象者・要支援認定者」が4.8%となっています。

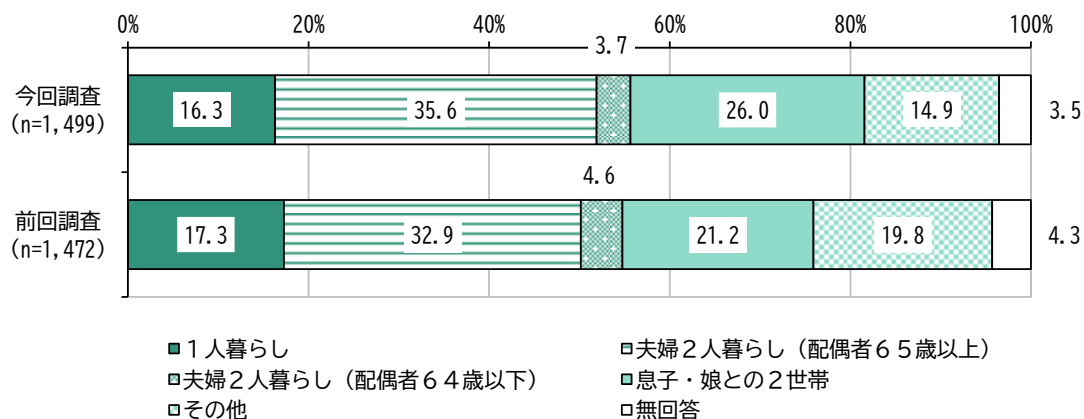
【図表2-1-4 認定状況】



(4) 世帯構成

世帯構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.6%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が26.0%、「1人暮らし」が16.3%となっています。

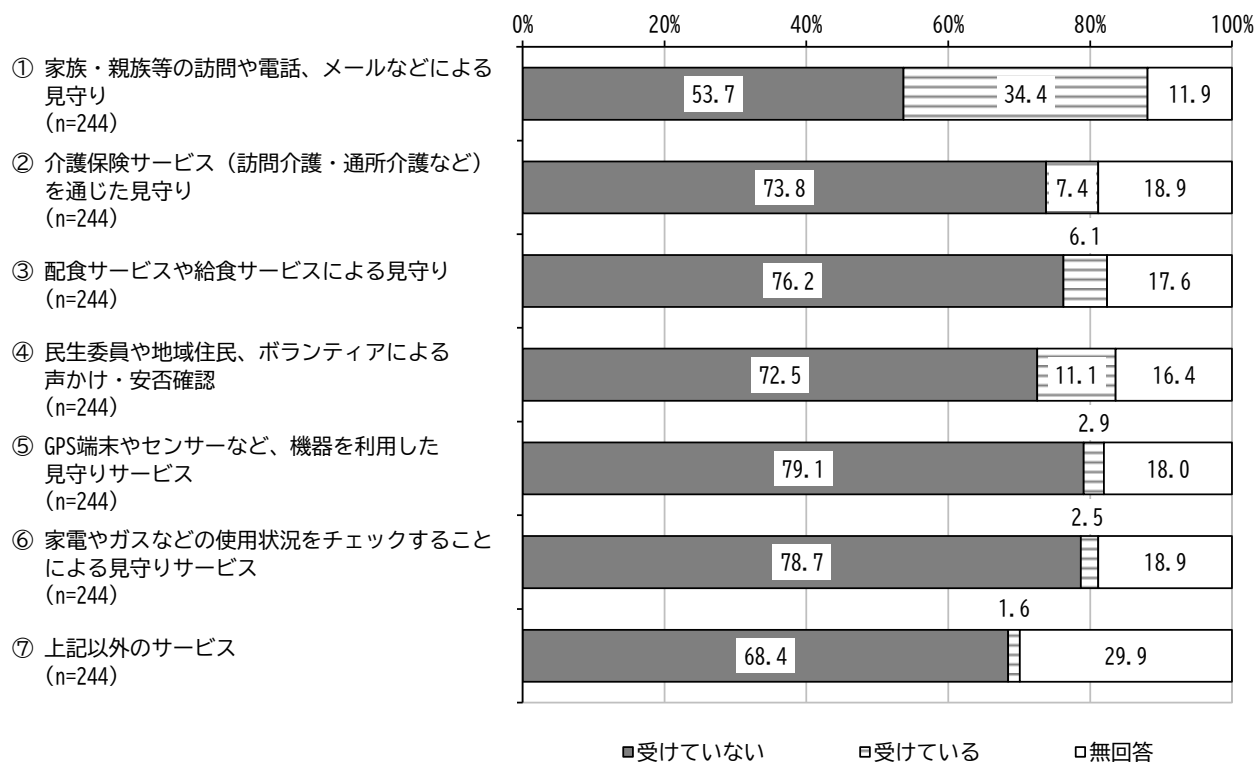
【図表2-1-6 世帯構成】



(5) 見守りや安否確認サービスの利用状況

見守りや安否確認サービスの利用状況について、「受けている」では、「家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り」が 34.4%で最も高く、次いで「民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認」が 11.1%、「介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り」が 7.4%となっています。

【図表2-1-7 見守りや安否確認サービスの利用状況】



① 家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り

家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守りについて、「受けている」では、年齢別にみると、85 歳以上が 47.1%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 35.9%で最も高くなっています。

【図表2-1-8 家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
一般高齢者	222	54.5	32.9	12.6
要支援認定者・事業対象者	21	42.9	52.4	4.8
男性	103	55.3	31.1	13.6
女性	141	52.5	36.9	10.6
65～69歳	61	65.6	27.9	6.6
70～74歳	52	46.2	34.6	19.2
75～79歳	64	59.4	28.1	12.5
80～84歳	33	48.5	45.5	6.1
85歳以上	34	38.2	47.1	14.7
社圏域	121	52.1	35.5	12.4
滝野圏域	64	56.3	35.9	7.8
東条圏域	58	53.4	31.0	15.5

② 介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り

介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守りについて、「受けている」では、年齢別にみると、85 歳以上が 20.6%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 8.6%で最も高くなっています。

【図表2-1-9 介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
一般高齢者	222	76.1	5.0	18.9
要支援認定者・事業対象者	21	47.6	33.3	19.0
男性	103	74.8	7.8	17.5
女性	141	73.0	7.1	19.9
65～69歳	61	80.3	1.6	18.0
70～74歳	52	71.2	7.7	21.2
75～79歳	64	76.6	7.8	15.6
80～84歳	33	78.8	3.0	18.2
85歳以上	34	55.9	20.6	23.5
社圏域	121	75.2	6.6	18.2
滝野圏域	64	78.1	7.8	14.1
東条圏域	58	65.5	8.6	25.9

③ 配食サービスや給食サービスによる見守り

配食サービスや給食サービスによる見守りについて、「受けている」では、年齢別にみると、85 歳以上が 14.7%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 10.3%で最も高くなっています。

【図表2-1-10 配食サービスや給食サービスによる見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
一般高齢者	222	78.4	4.1	17.6
要支援認定者・事業対象者	21	52.4	28.6	19.0
男性	103	72.8	7.8	19.4
女性	141	78.7	5.0	16.3
65～69歳	61	80.3	3.3	16.4
70～74歳	52	73.1	5.8	21.2
75～79歳	64	78.1	7.8	14.1
80～84歳	33	81.8	0.0	18.2
85歳以上	34	64.7	14.7	20.6
社圏域	121	77.7	4.1	18.2
滝野圏域	64	81.3	6.3	12.5
東条圏域	58	67.2	10.3	22.4

④ 民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認

民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認について、「受けている」では、年齢別にみると、85 歳以上が 29.4%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 18.8%で最も高くなっています。

【図表2-1-11 民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
一般高齢者	222	73.4	9.9	16.7
要支援認定者・事業対象者	21	61.9	23.8	14.3
男性	103	70.9	12.6	16.5
女性	141	73.8	9.9	16.3
65～69歳	61	72.1	9.8	18.0
70～74歳	52	71.2	7.7	21.2
75～79歳	64	79.7	7.8	12.5
80～84歳	33	81.8	6.1	12.1
85歳以上	34	52.9	29.4	17.6
社圏域	121	76.9	6.6	16.5
滝野圏域	64	70.3	18.8	10.9
東条圏域	58	65.5	12.1	22.4

⑤ GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービス

GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービスについて、「受けている」では、年齢別にみると、80～84 歳が 6.1%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 3.4%で最も高くなっています。

【図表2-1-12 GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービス】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受 け て い な い	受 け て い る	無 回 答
一般高齢者	222	78.8	3.2	18.0
要支援認定者・事業対象者	21	81.0	0.0	19.0
男性	103	79.6	1.0	19.4
女性	141	78.7	4.3	17.0
65～69歳	61	82.0	0.0	18.0
70～74歳	52	75.0	1.9	23.1
75～79歳	64	81.3	3.1	15.6
80～84歳	33	78.8	6.1	15.2
85歳以上	34	76.5	5.9	17.6
社圏域	121	78.5	3.3	18.2
滝野圏域	64	87.5	1.6	10.9
東条圏域	58	70.7	3.4	25.9

⑥ 家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービス

家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービスについて、「受けている」では、年齢別にみると、70～74 歳が 3.8%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が 3.3%で最も高くなっています。

【図表2-1-13 家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービス】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受 け て い な い	受 け て い る	無 回 答
一般高齢者	222	78.8	2.3	18.9
要支援認定者・事業対象者	21	76.2	4.8	19.0
男性	103	77.7	2.9	19.4
女性	141	79.4	2.1	18.4
65～69歳	61	78.7	1.6	19.7
70～74歳	52	75.0	3.8	21.2
75～79歳	64	82.8	1.6	15.6
80～84歳	33	81.8	3.0	15.2
85歳以上	34	73.5	2.9	23.5
社圏域	121	79.3	3.3	17.4
滝野圏域	64	82.8	3.1	14.1
東条圏域	58	72.4	0.0	27.6

⑦ 上記以外のサービス

上記以外のサービスについて、「受けている」では、年齢別にみると 80～84 歳が 6.1%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 3.1%で最も高くなっています。

【図表2-1-14 上記以外のサービス】

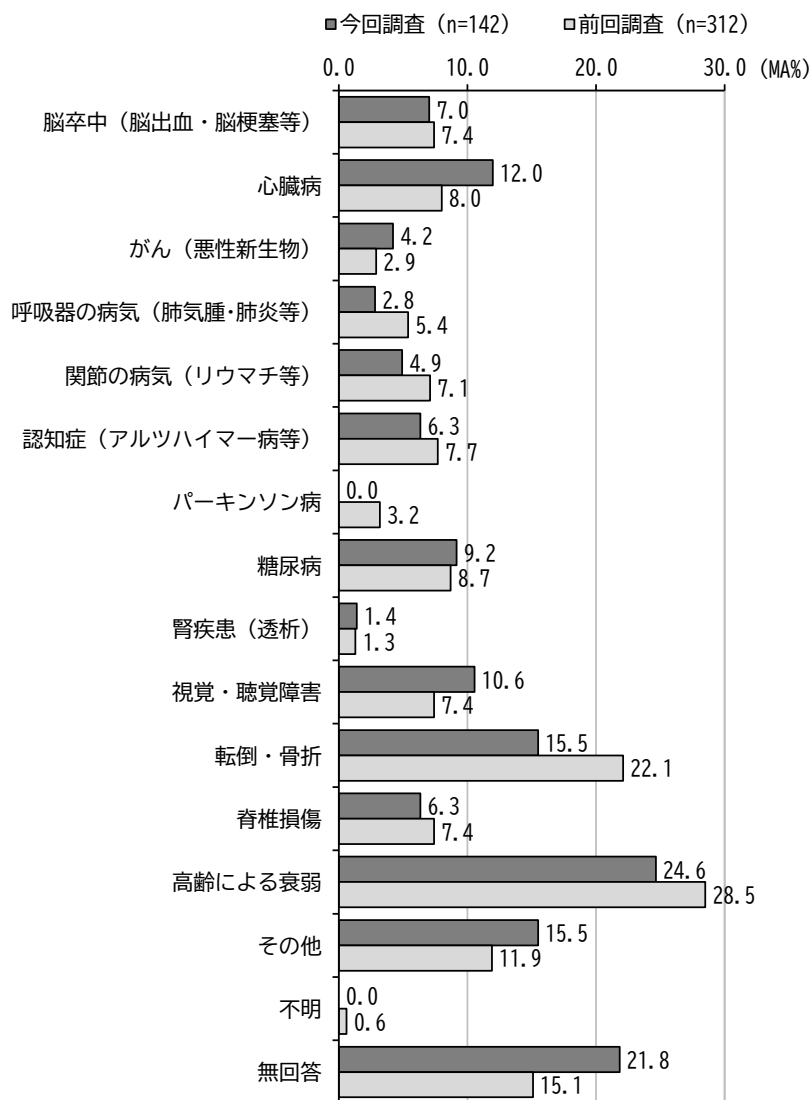
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受 け て い な い	受 け て い る	無 回 答
一般高齢者	222	70.3	0.9	28.8
要支援認定者・事業対象者	21	47.6	9.5	42.9
男性	103	71.8	1.9	26.2
女性	141	66.0	1.4	32.6
65～69歳	61	70.5	0.0	29.5
70～74歳	52	69.2	1.9	28.8
75～79歳	64	73.4	0.0	26.6
80～84歳	33	69.7	6.1	24.2
85歳以上	34	52.9	2.9	44.1
社圏域	121	71.1	0.8	28.1
滝野圏域	64	71.9	3.1	25.0
東条圏域	58	58.6	1.7	39.7

(6) 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 24.6%で最も高く、次いで「転倒・骨折」「その他」が 15.5%、「心臓病」が 12.0%となっています。また、前回調査と比較して「心臓病」が 4.0 ポイント増加、「転倒・骨折」が 6.6 ポイント、「高齢による衰弱」が 3.9 ポイント減少しています。

【図表2-1-19 介護・介助が必要になった主な原因】



「転倒・骨折」では、年齢別にみると、75～79 歳が 30.6%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 17.5%で最も高くなっています。

【図表2-1-20 介護・介助が必要になった主な原因(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害
一般高齢者	125	8.0	11.2	4.0	2.4	4.0	7.2	0.0	9.6	1.6	10.4
要支援認定者・事業対象者	17	0.0	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8
男性	68	8.8	10.3	7.4	1.5	4.4	7.4	0.0	11.8	1.5	10.3
女性	74	5.4	13.5	1.4	4.1	5.4	5.4	0.0	6.8	1.4	10.8
65～69歳	26	3.8	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7	0.0	11.5	0.0	7.7
70～74歳	36	8.3	16.7	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0	8.3	2.8	11.1
75～79歳	36	8.3	13.9	5.6	2.8	11.1	11.1	0.0	11.1	2.8	11.1
80～84歳	24	4.2	12.5	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
85歳以上	20	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	15.0
社圏域	71	5.6	12.7	4.2	4.2	4.2	8.5	0.0	8.5	1.4	11.3
滝野圏域	40	7.5	10.0	7.5	2.5	5.0	2.5	0.0	10.0	2.5	7.5
東条圏域	31	9.7	12.9	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	9.7	0.0	12.9

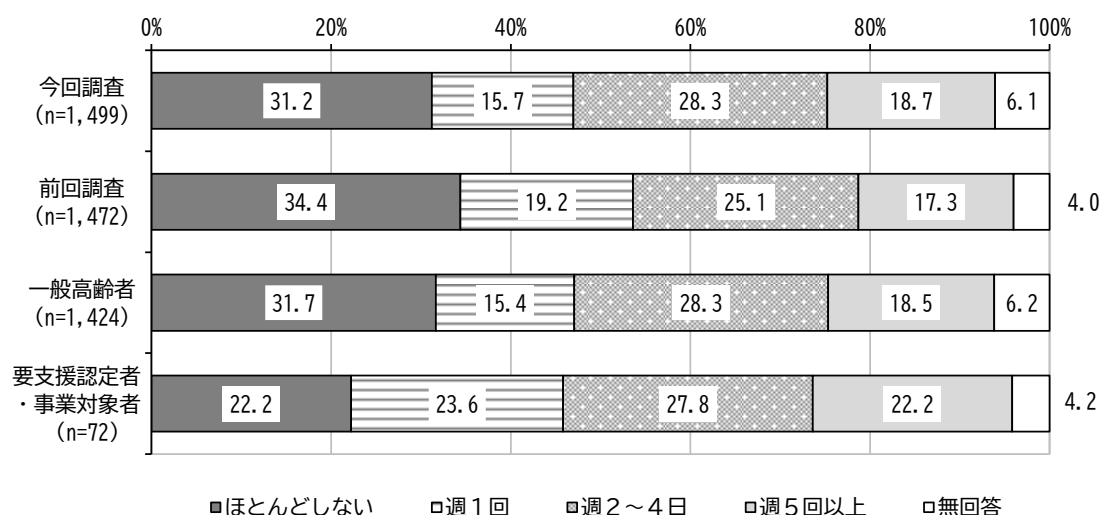
	合計(人)	転倒・骨折	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
一般高齢者	125	15.2	4.0	24.0	13.6	0.0	24.0
要支援認定者・事業対象者	17	17.6	23.5	29.4	29.4	0.0	5.9
男性	68	13.2	5.9	20.6	14.7	0.0	22.1
女性	74	17.6	6.8	28.4	16.2	0.0	21.6
65～69歳	26	11.5	3.8	30.8	11.5	0.0	15.4
70～74歳	36	2.8	5.6	19.4	16.7	0.0	33.3
75～79歳	36	30.6	5.6	25.0	11.1	0.0	19.4
80～84歳	24	16.7	8.3	29.2	12.5	0.0	16.7
85歳以上	20	15.0	10.0	20.0	30.0	0.0	20.0
社圏域	71	16.9	8.5	25.4	14.1	0.0	18.3
滝野圏域	40	17.5	7.5	15.0	17.5	0.0	25.0
東条圏域	31	9.7	0.0	35.5	16.1	0.0	25.8

2. からだを動かすことについて

(1) 軽い運動の頻度

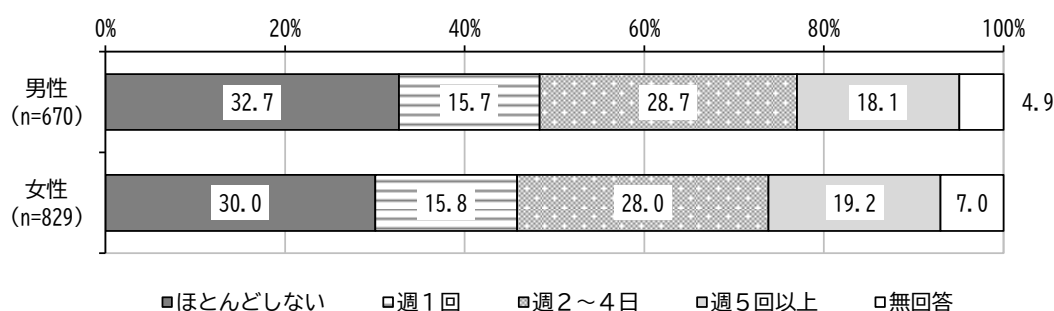
軽い運動の頻度について、「ほとんどしない」が31.2%で最も高く、次いで「週2～4日」が28.3%、「週5回以上」が18.7%となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどしない」が3.2ポイント減少しています。

【図表2-2-13 軽い運動の頻度】



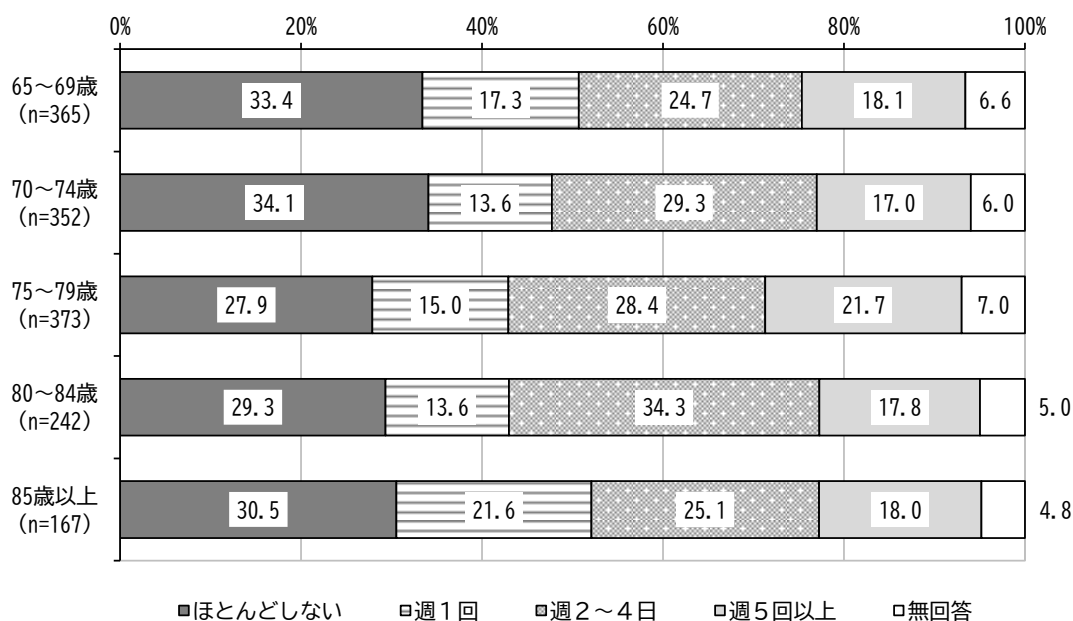
性別にみると、「ほとんどしない」について、男性では32.7%、女性では30.0%となっており、男性のほうが2.7ポイント高くなっています。

【図表2-2-14 軽い運動の頻度(性別)】



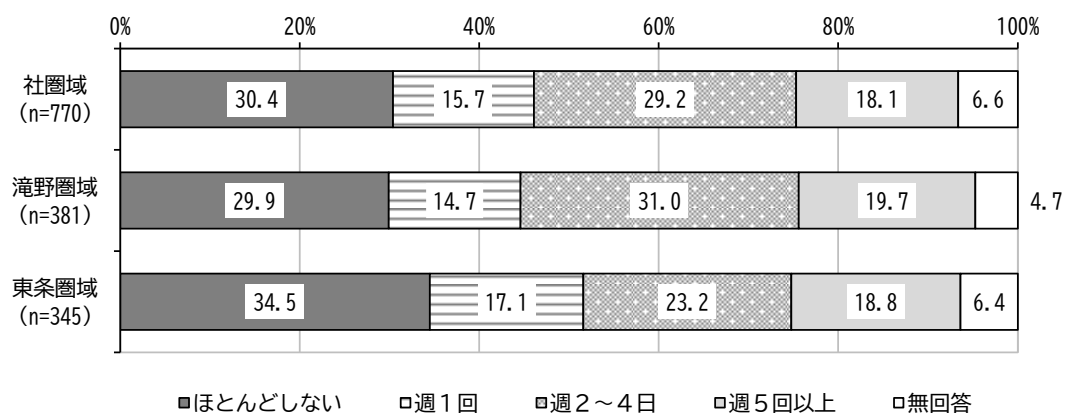
年齢別にみると、「ほとんどしない」では、70～74 歳が 34.1%で最も高くなっています。

【図表2-2-15 軽い運動の頻度(年齢別)】



圏域別にみると、「ほとんどしない」では、東条圏域が 34.5%で最も高くなっています。

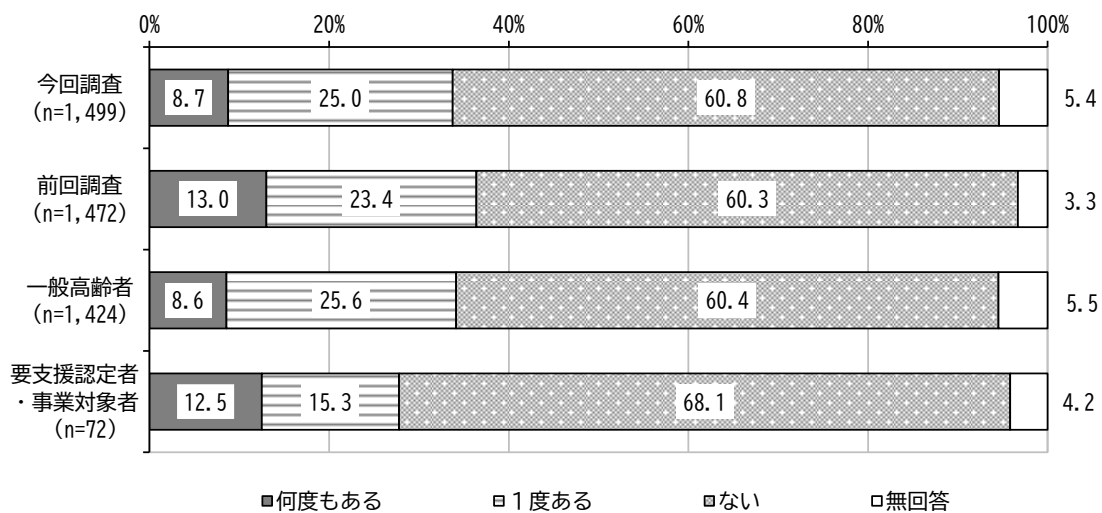
【図表2-2-16 軽い運動の頻度(圏域別)】



(2) 過去1年間に転んだ経験があるか

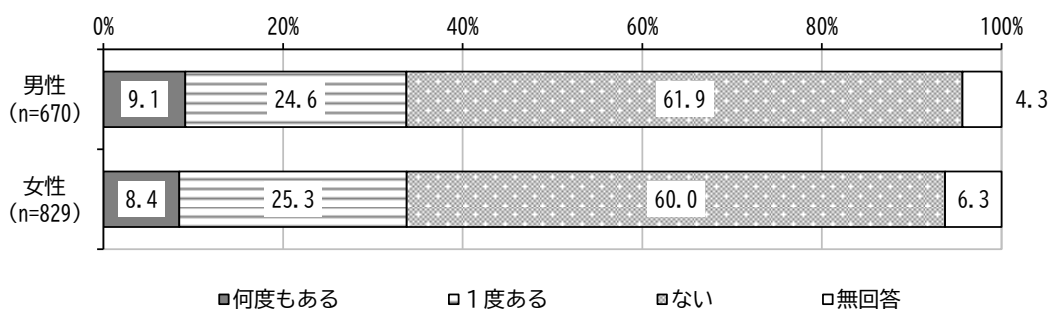
過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が60.8%で最も高く、次いで「1度ある」が25.0%、「何度もある」が8.7%となっています。また、前回調査と比較して「何度もある」が4.3ポイント減少しています。

【図表2-2-17 過去1年間に転んだ経験があるか】



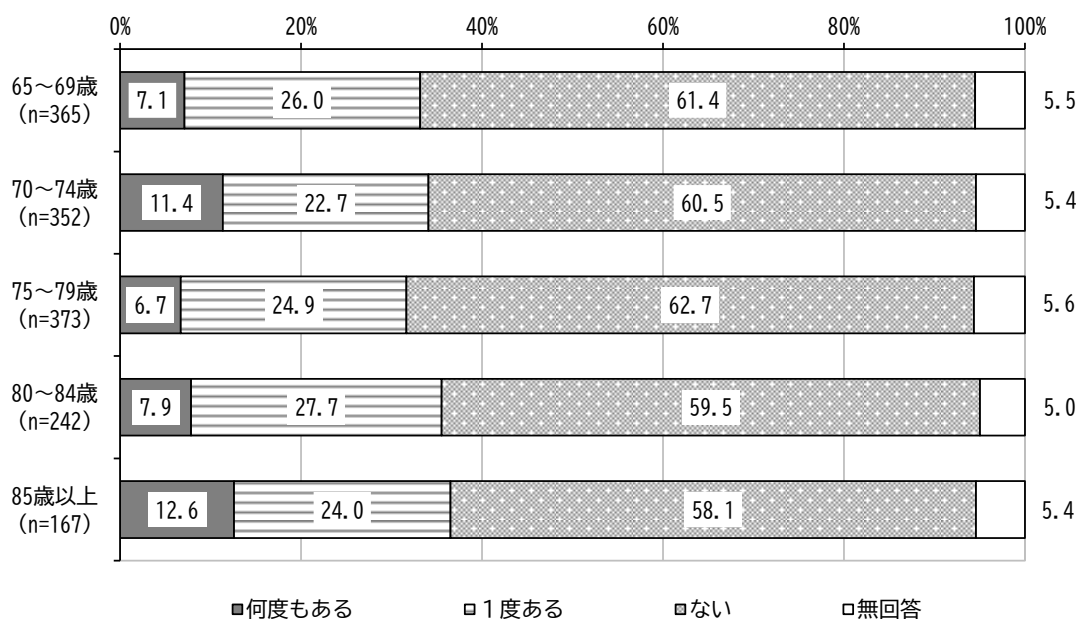
性別にみると、男性・女性ともに「ない」が最も高くなっています。

【図表2-2-18 過去1年間に転んだ経験があるか(性別)】



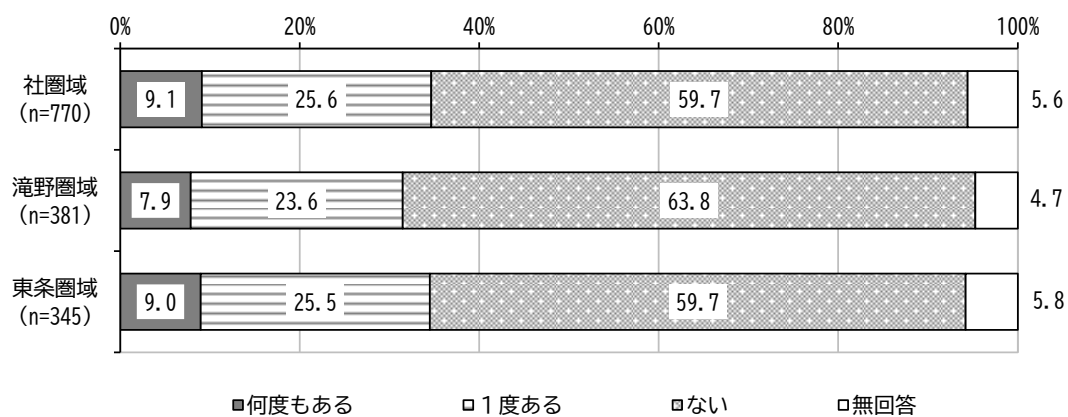
年齢別にみると、「何度もある」では、85 歳以上が 12.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-19 過去1年間に転んだ経験があるか(年齢別)】



圏域別にみると、「何度もある」では、社圏域が 9.1%で最も高くなっています。

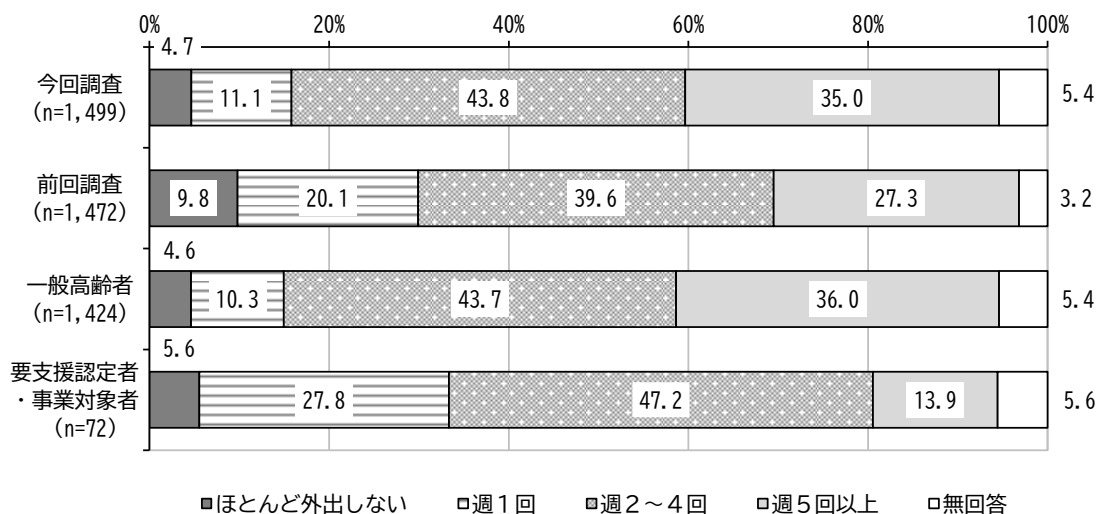
【図表2-2-20 過去1年間に転んだ経験があるか(圏域別)】



(3) 外出の状況

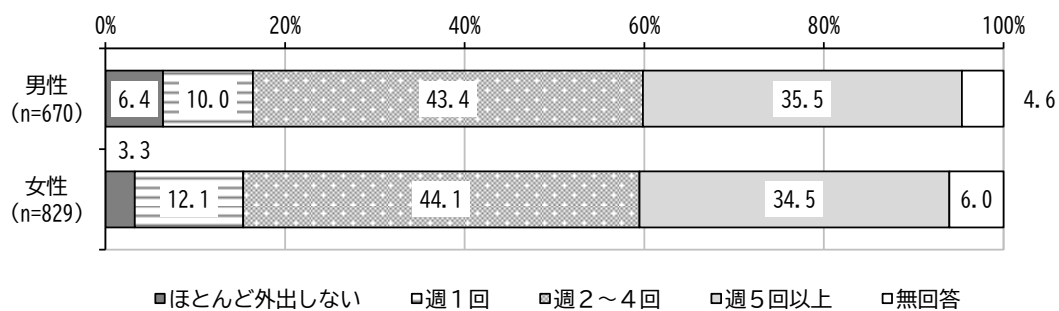
外出の状況について、「週2～4回」が 43.8%で最も高く、次いで「週5回以上」が 35.0%、「週1回」が 11.1%となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が 4.2 ポイント増加しています。

【図表2-2-25 外出の状況】



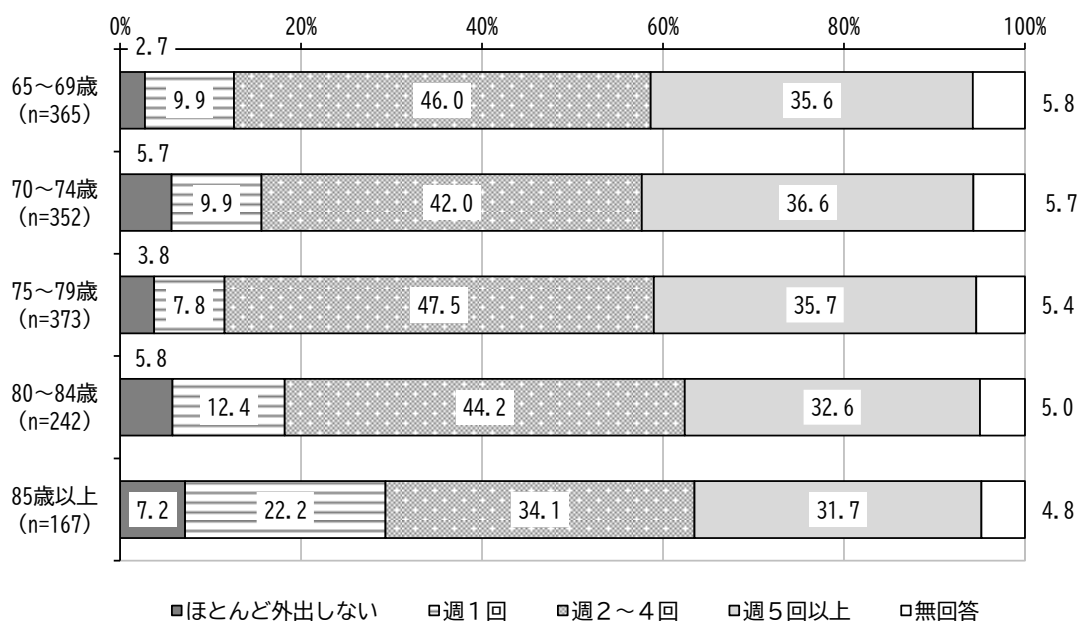
性別にみると、「ほとんど外出しない」について、男性では 6.4%、女性では 3.3%となっており、男性のほうが 3.1 ポイント高くなっています。

【図表2-2-26 外出の状況(性別)】



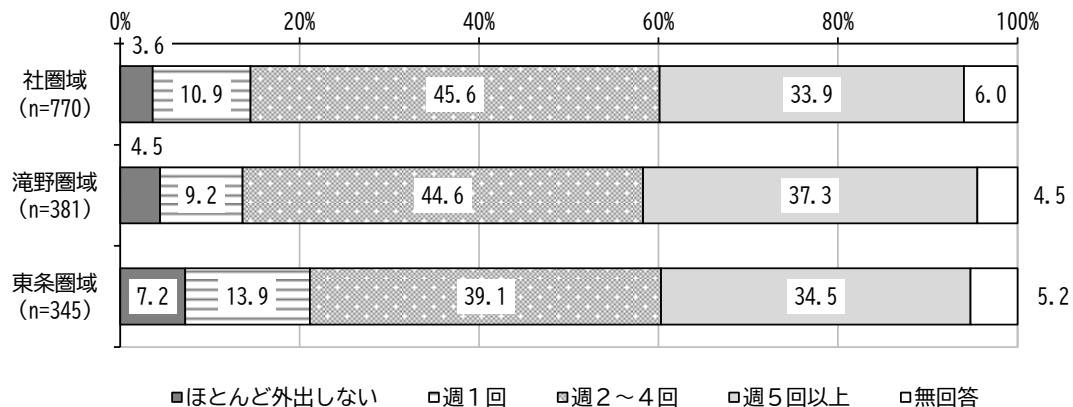
年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、85歳以上が7.2%で最も高くなっています。

【図表2-2-27 外出の状況(年齢別)】



圏域別にみると、「ほとんど外出しない」では、東条圏域が7.2%で最も高くなっています。

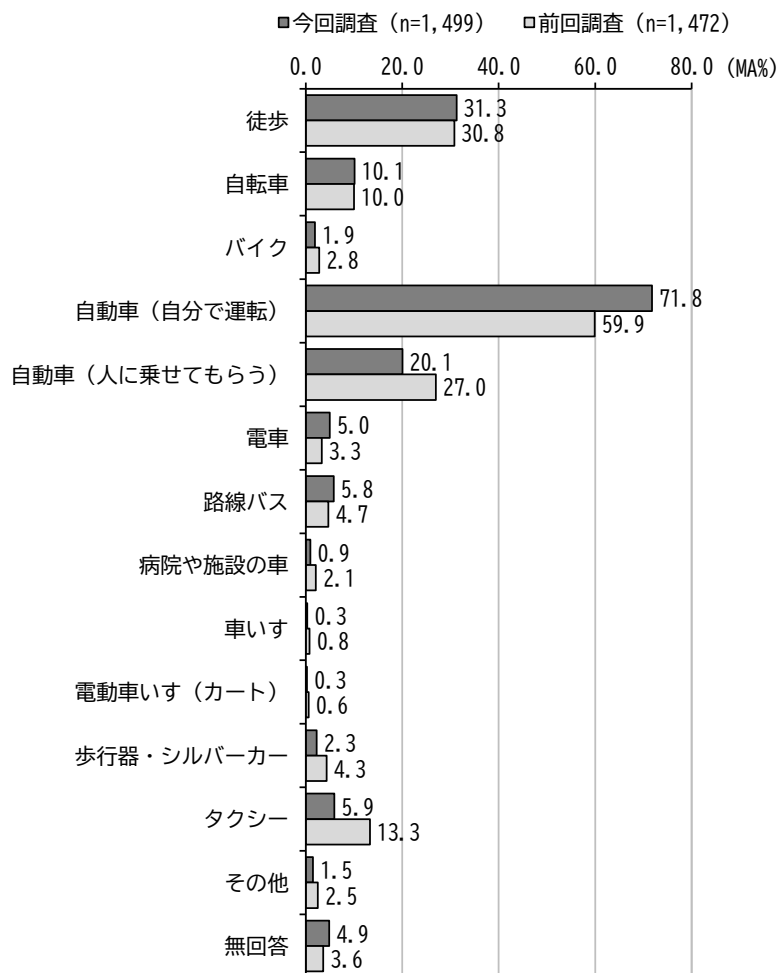
【図表2-2-28 外出の状況(圏域別)】



(4) 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段について、「自動車(自分で運転)」が 71.8%で最も高く、次いで「徒歩」が 31.3%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 20.1%となっています。また、前回調査と比較して「自動車(自分で運転)」が 11.9 ポイント増加しています。

【図表2-2-29 外出する際の移動手段】



「徒歩」では、年齢別にみると、75～79 歳と 80～84 歳が 34.3%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 34.4%で最も高くなっています。

【図表2-2-30 外出する際の移動手段(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

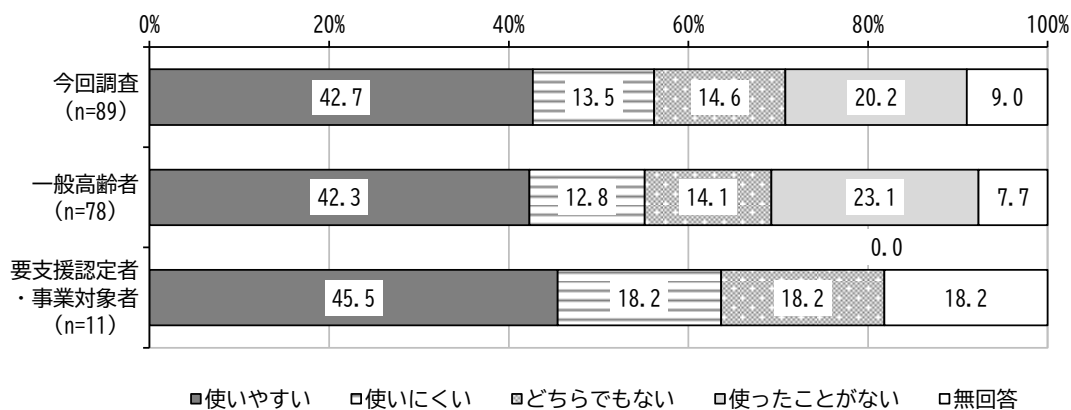
	合計（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設の車	車いす	電動車いす（カート）
一般高齢者	1,424	31.1	9.8	1.9	72.7	19.8	5.1	5.8	0.6	0.4	0.3
要支援認定者・事業対象者	72	33.3	15.3	2.8	54.2	26.4	2.8	5.6	6.9	0.0	0.0
男性	670	33.4	10.3	2.5	73.4	19.7	4.8	6.0	1.2	0.6	0.1
女性	829	29.6	10.0	1.4	70.4	20.4	5.2	5.7	0.7	0.1	0.4
65～69歳	365	29.9	11.2	2.7	72.9	19.5	5.2	7.7	0.5	0.3	0.0
70～74歳	352	29.3	8.0	1.4	77.3	15.6	4.5	5.1	0.9	0.6	0.6
75～79歳	373	34.3	11.3	1.9	71.3	19.3	5.4	4.6	0.5	0.0	0.0
80～84歳	242	34.3	8.3	2.9	72.7	21.9	6.2	6.2	0.8	0.8	0.4
85歳以上	167	27.5	12.6	0.0	57.5	29.9	3.0	5.4	3.0	0.0	0.6
社圏域	770	31.7	9.2	1.3	71.7	20.1	3.6	5.7	0.6	0.6	0.3
滝野圏域	381	34.4	13.1	2.1	71.1	22.0	8.1	6.6	1.6	0.0	0.0
東条圏域	345	26.7	8.7	3.2	72.8	18.0	4.6	5.2	0.9	0.0	0.6

	合計（人）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
一般高齢者	1,424	1.7	5.5	1.4	5.0
要支援認定者・事業対象者	72	13.9	15.3	2.8	2.8
男性	670	1.9	4.3	1.3	3.6
女性	829	2.5	7.2	1.6	5.9
65～69歳	365	0.8	4.9	0.8	5.8
70～74歳	352	2.8	2.8	1.7	4.5
75～79歳	373	1.6	5.4	1.9	5.4
80～84歳	242	2.5	9.1	1.2	4.5
85歳以上	167	5.4	11.4	1.8	3.0
社圏域	770	2.1	5.5	1.6	5.1
滝野圏域	381	2.1	8.1	1.8	4.5
東条圏域	345	2.9	4.6	0.9	4.9

（５）加東市デマンド型交通の利用状況

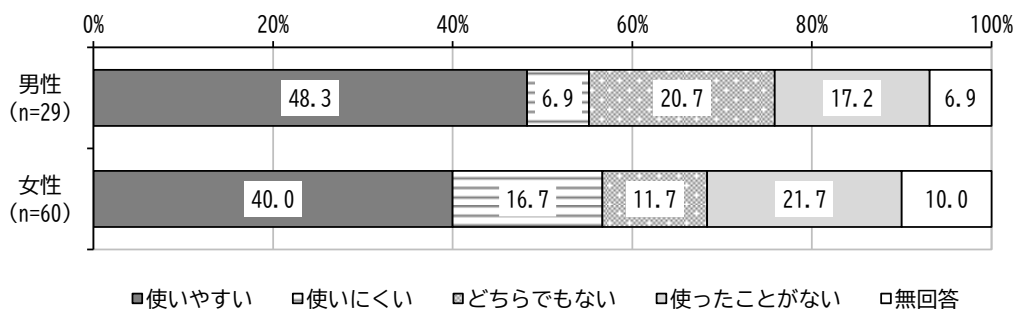
加東市デマンド型交通の利用状況について、「使いやすい」が 42.7%で最も高く、次いで「使ったことがない」が 20.2%、「どちらでもない」が 14.6%となっています。

【図表２－２－３１ 加東市デマンド型交通の利用状況】



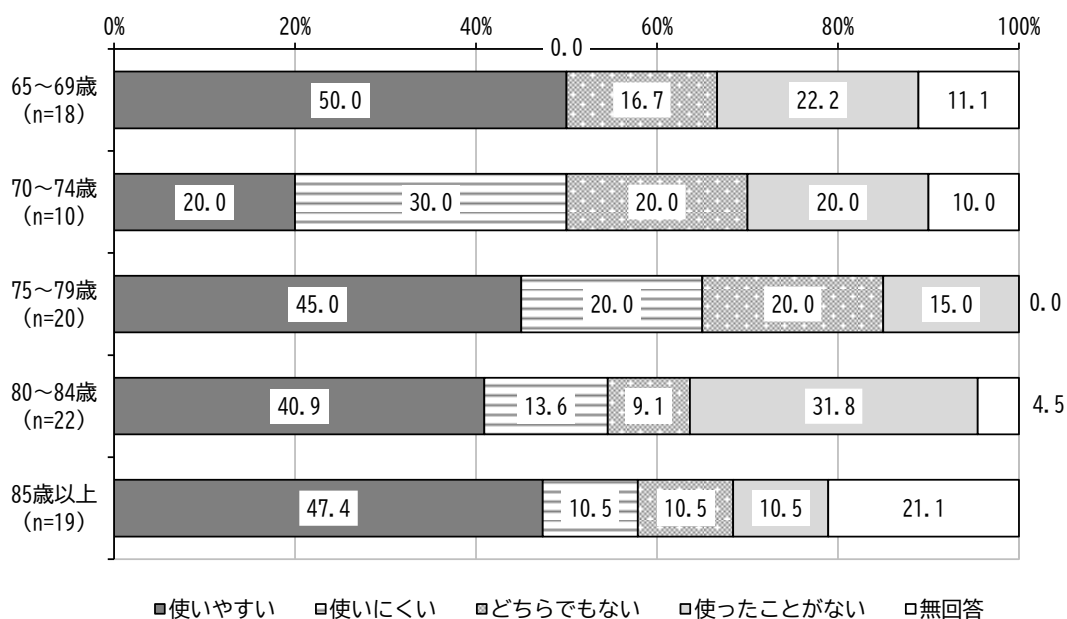
性別にみると、「使いやすい」について、男性では 48.3%、女性では 40.0%となっており、男性のほうが 8.3 ポイント高くなっています。

【図表２－２－３２ 加東市デマンド型交通の利用状況(性別)】



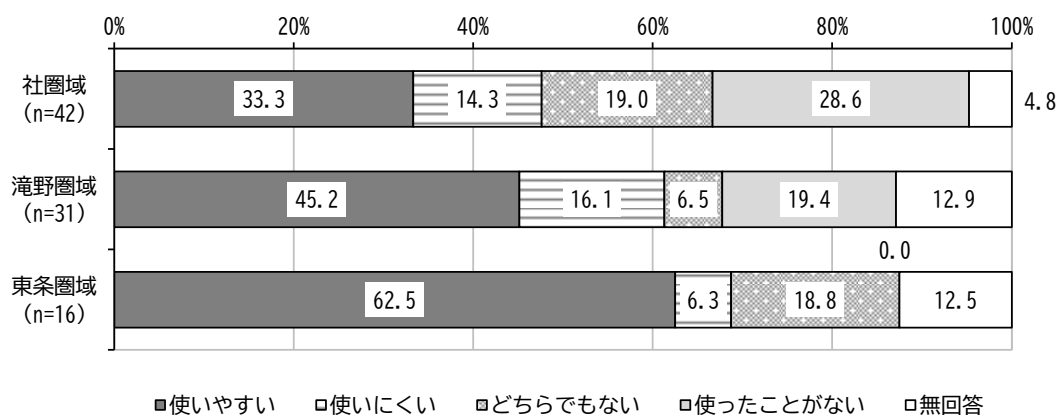
年齢別にみると、「使いやすい」では、65～69 歳が 50.0%で最も高くなっています。

【図表2-2-33 加東市デマンド型交通の利用状況(年齢別)】



圏域別にみると、「使ったことがない」では、社圏域が 28.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-34 加東市デマンド型交通の利用状況(圏域別)】

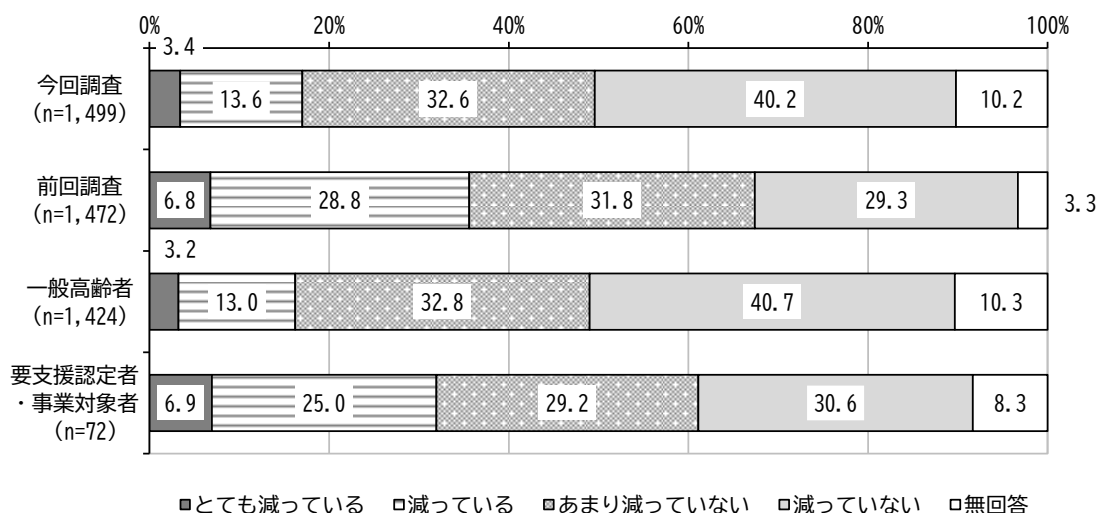


（６）昨年と比べて外出回数が減っているか

昨年と比べて外出回数が減っているかについて、「減っていない」が40.2%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.6%、「減っている」が13.6%となっています。

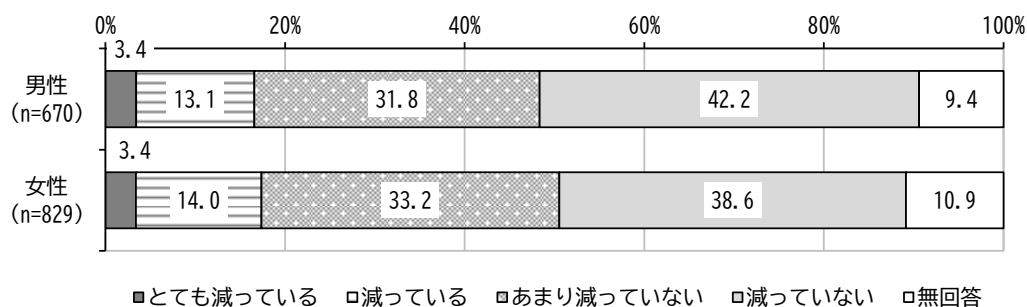
また、認定状況別にみると、『減っている』（「とても減っている」と「減っている」の合計）では、一般高齢者が16.2%、要支援認定者・事業対象者が31.9%となっており、要支援認定者・事業対象者のほうが15.7ポイント高くなっています。

【図表２－２－３６ 昨年と比べて外出回数が減っているか】



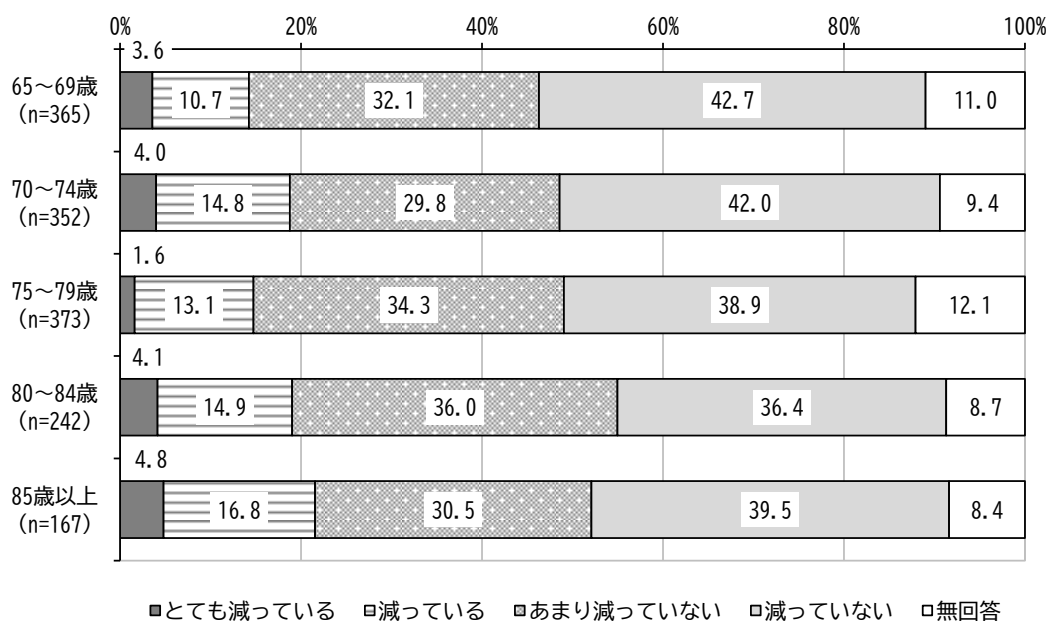
性別にみると、男性・女性ともに「減っていない」が最も高くなっています。

【図表２－２－３７ 昨年と比べて外出回数が減っているか(性別)】



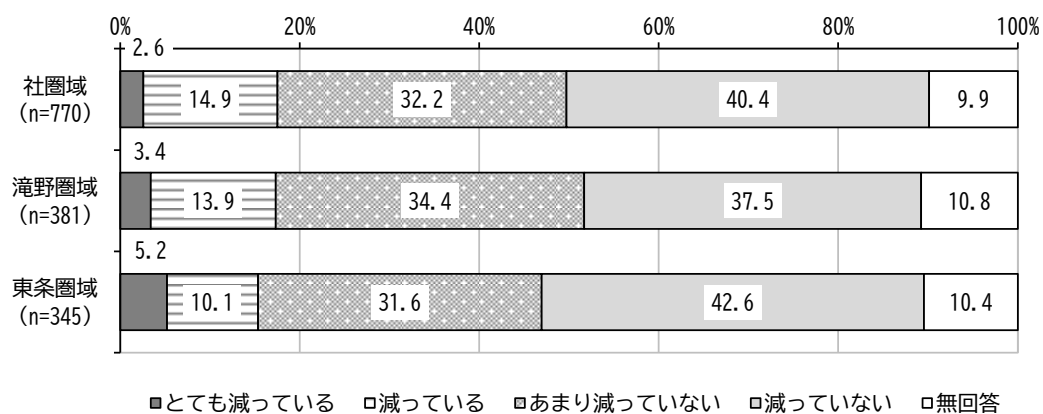
年齢別にみると、「とても減っている」では、85歳以上が4.8%で最も高くなっています。

【図表2-2-38 昨年と比べて外出回数が減っているか(年齢別)】



圏域別にみると、「とても減っている」では、東条圏域が5.2%で最も高くなっています。

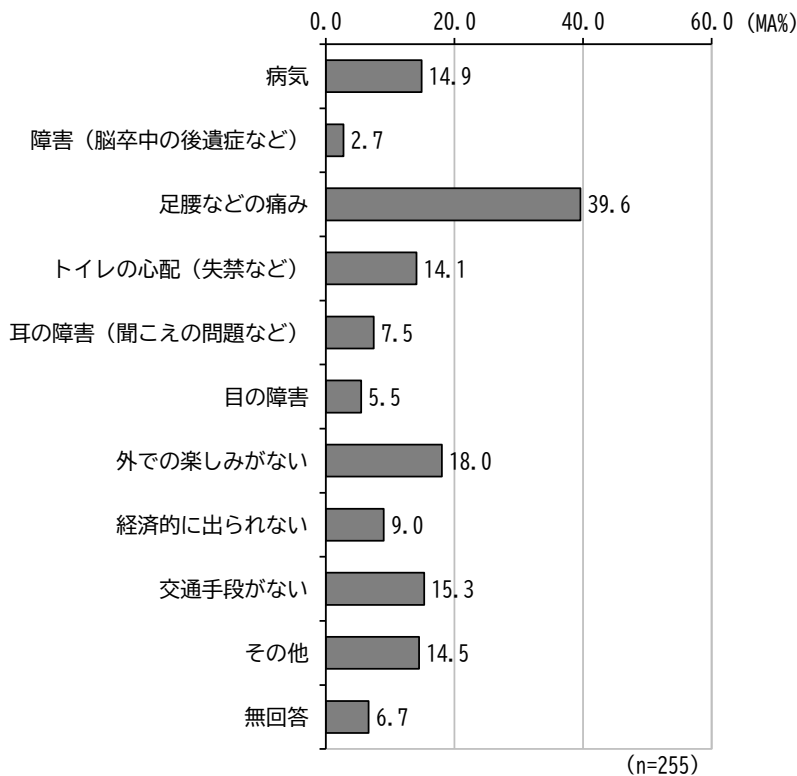
【図表2-2-39 昨年と比べて外出回数が減っているか(圏域別)】



(7) 外出回数が減っている理由

外出回数が減っている理由について、「足腰などの痛み」が 39.6%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」が18.0%、「交通手段がない」が15.3%となっています。

【図表2-2-40 外出回数が減っている理由】



「交通手段がない」では、年齢別にみると 85 歳以上が 19.4%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 22.6%で最も高くなっています。

【図表2-2-41 外出回数が減っている理由(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

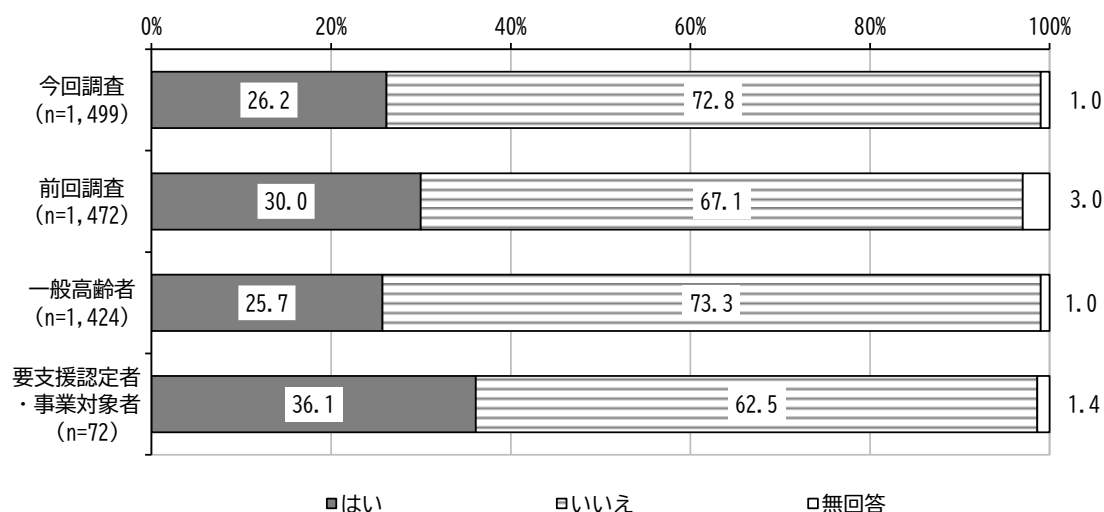
	合計 (人)	病気	障害 (脳卒中 の後遺症 など)	足腰 などの 痛み	トイレの 心配 (失禁 など)	耳の障害 (聞こえ の問題 など)	目の 障害	外での 楽しみ がない	経済的に 出られ ない	交通 手段が ない	その他	無 回答
一般高齢者	231	15.6	3.0	38.5	14.3	6.9	5.6	17.7	9.1	16.0	15.6	5.6
要支援認定者・事業対象者	23	8.7	0.0	47.8	13.0	13.0	4.3	21.7	8.7	8.7	4.3	17.4
男性	111	18.9	3.6	36.9	15.3	5.4	6.3	18.0	9.0	14.4	15.3	5.4
女性	144	11.8	2.1	41.7	13.2	9.0	4.9	18.1	9.0	16.0	13.9	7.6
65～69歳	52	13.5	1.9	34.6	9.6	1.9	3.8	23.1	1.9	15.4	15.4	9.6
70～74歳	66	16.7	3.0	37.9	12.1	10.6	4.5	18.2	13.6	16.7	13.6	4.5
75～79歳	55	16.4	3.6	36.4	16.4	9.1	9.1	10.9	18.2	12.7	16.4	7.3
80～84歳	46	17.4	4.3	47.8	17.4	2.2	6.5	23.9	4.3	13.0	8.7	4.3
85歳以上	36	8.3	0.0	44.4	16.7	13.9	2.8	13.9	2.8	19.4	19.4	8.3
社圏域	135	14.8	3.0	31.1	11.1	3.7	5.9	19.3	9.6	16.3	16.3	8.1
滝野圏域	66	19.7	1.5	54.5	19.7	12.1	7.6	19.7	15.2	7.6	10.6	1.5
東条圏域	53	9.4	3.8	41.5	15.1	11.3	1.9	13.2	0.0	22.6	15.1	9.4

3. 食べることについて

(1) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

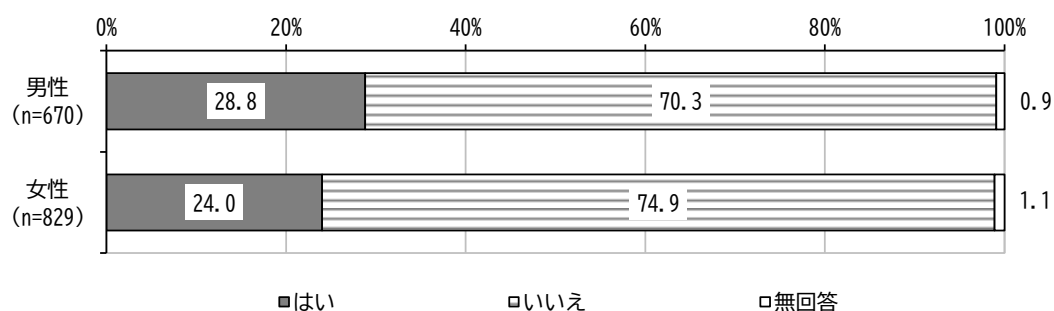
半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 26.2%、「いいえ」が 72.8%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が 5.7 ポイント増加しています。

【図表2-3-1 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか】



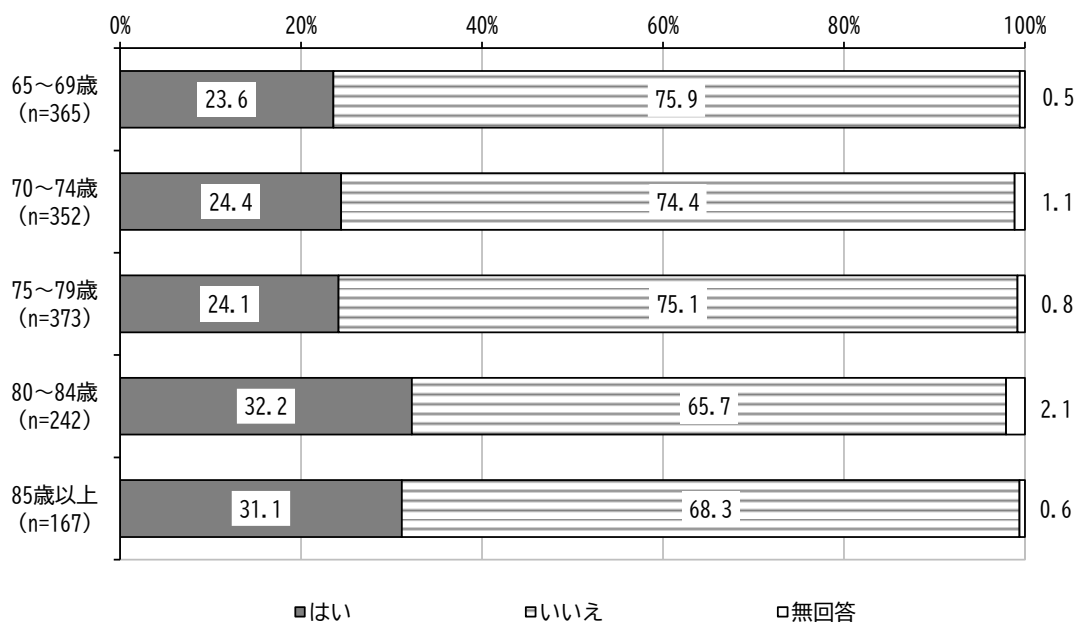
性別にみると、「はい」について、男性では 28.8%、女性では 24.0%となっており、男性のほうが 4.8 ポイント高くなっています。

【図表2-3-2 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか(性別)】



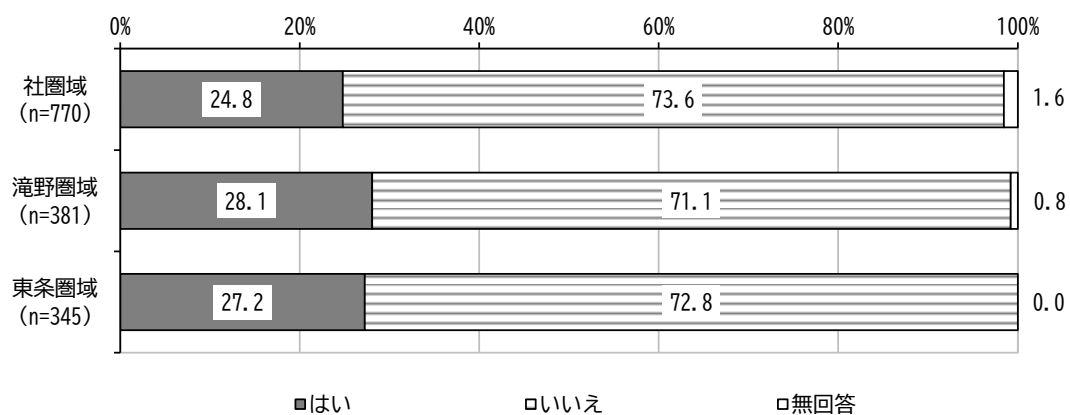
年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 32.2%で最も高くなっています。

【図表2－3－3 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 28.1%で最も高くなっています。

【図表2－3－4 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか(圏域別)】

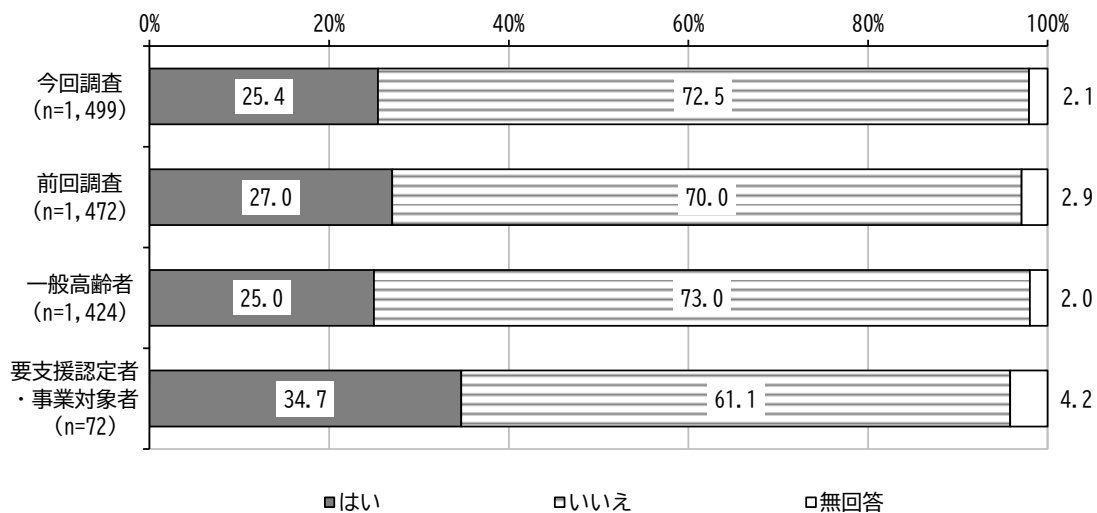


(2) お茶や汁物等でむせることがあるか

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が25.4%、「いいえ」が72.5%となっています。

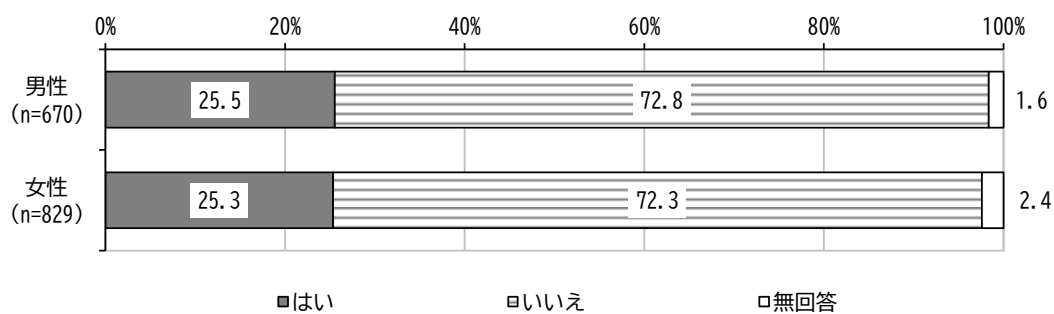
認定状況別にみると、「はい」では、一般高齢者が25.0%、要支援認定者・事業対象者が34.7%となっており、要支援認定者・事業対象者のほうが9.7ポイント高くなっています。

【図表2-3-5 お茶や汁物等でむせることがあるか】



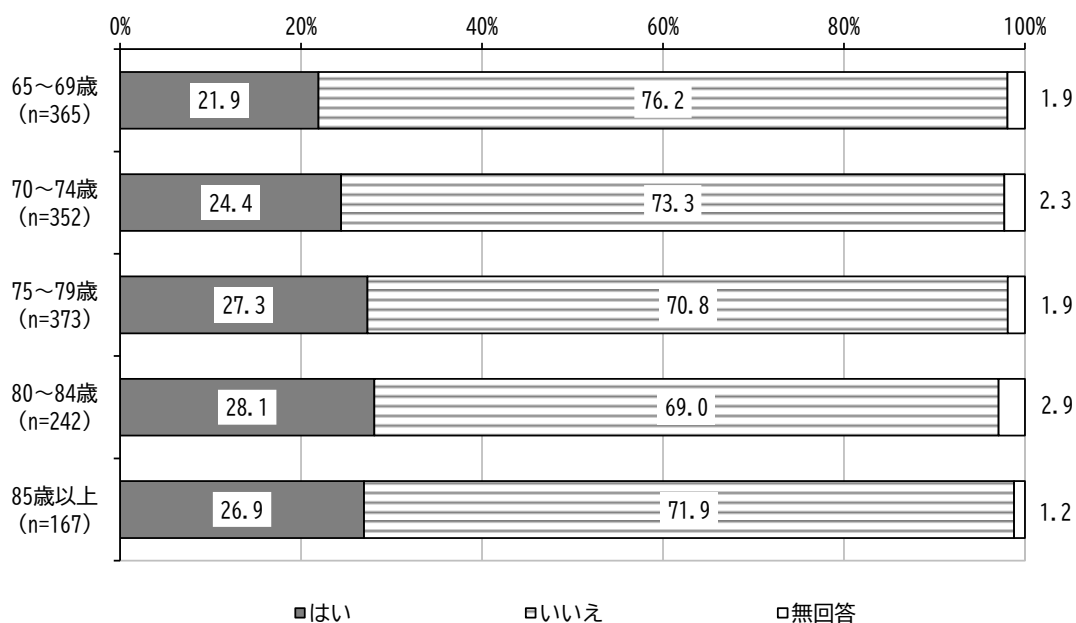
性別にみると、男性・女性ともに「いいえ」が最も高くなっています。

【図表2-3-6 お茶や汁物等でむせることがあるか(性別)】



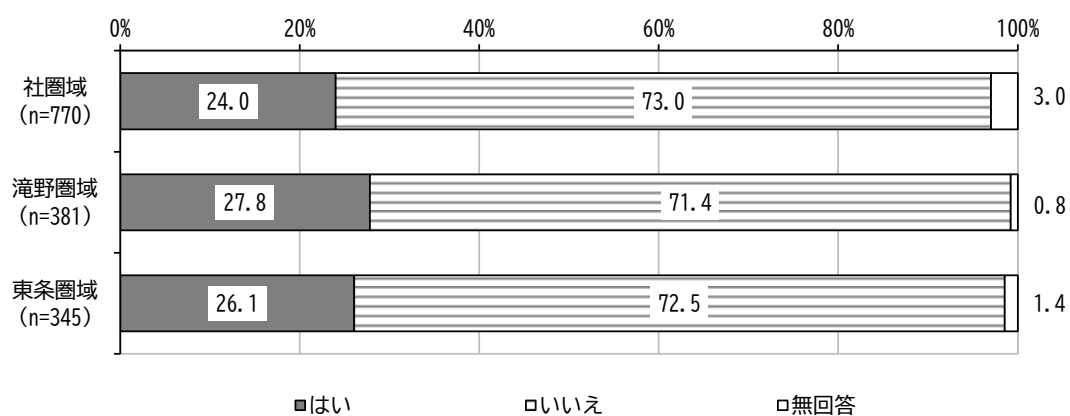
年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 28.1%で最も高くなっています。

【図表2－3－7 お茶や汁物等でむせることがあるか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 27.8%で最も高くなっています。

【図表2－3－8 お茶や汁物等でむせることがあるか(圏域別)】

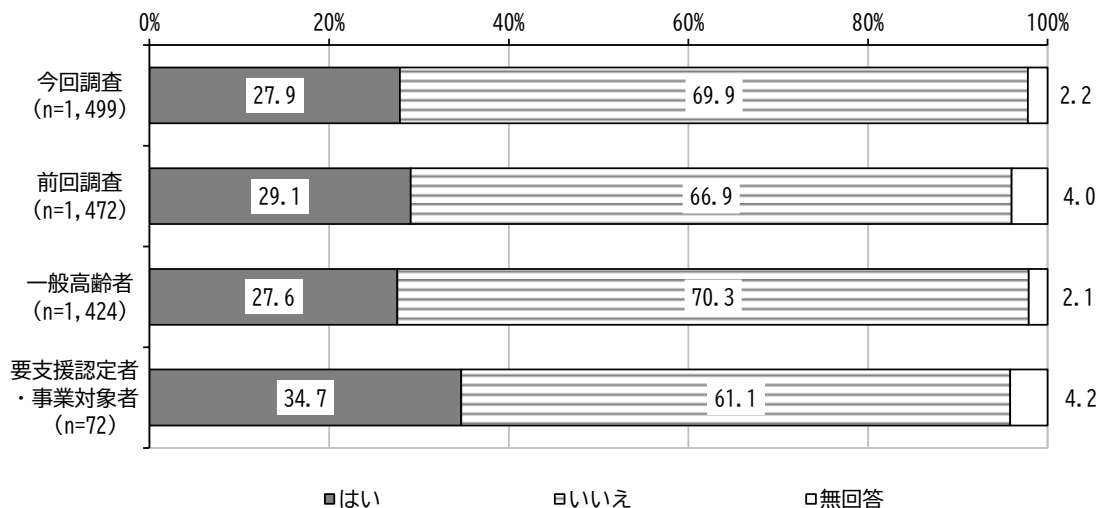


(3) 口の渇きが気になるか

口の渇きが気になるかについて、「はい」が27.9%、「いいえ」が69.9%となっています。

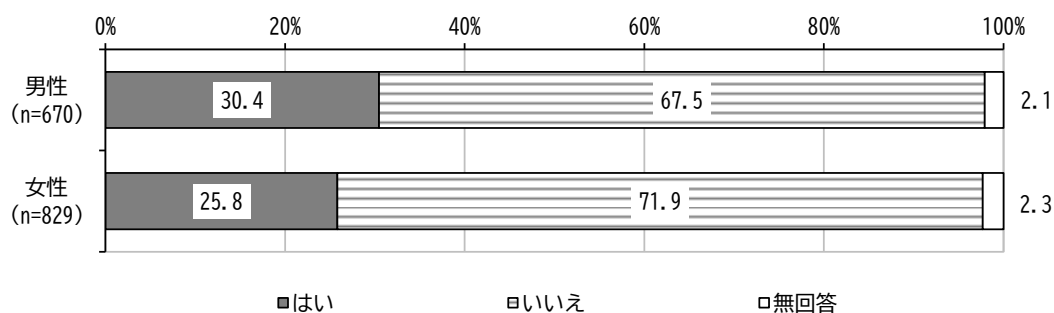
認定状況別にみると、「はい」では、一般高齢者が27.6%、要支援認定者・事業対象者が34.7%となっており、要支援認定者・事業対象者のほうが7.1ポイント高くなっています。

【図表2-3-9 口の渇きが気になるか】



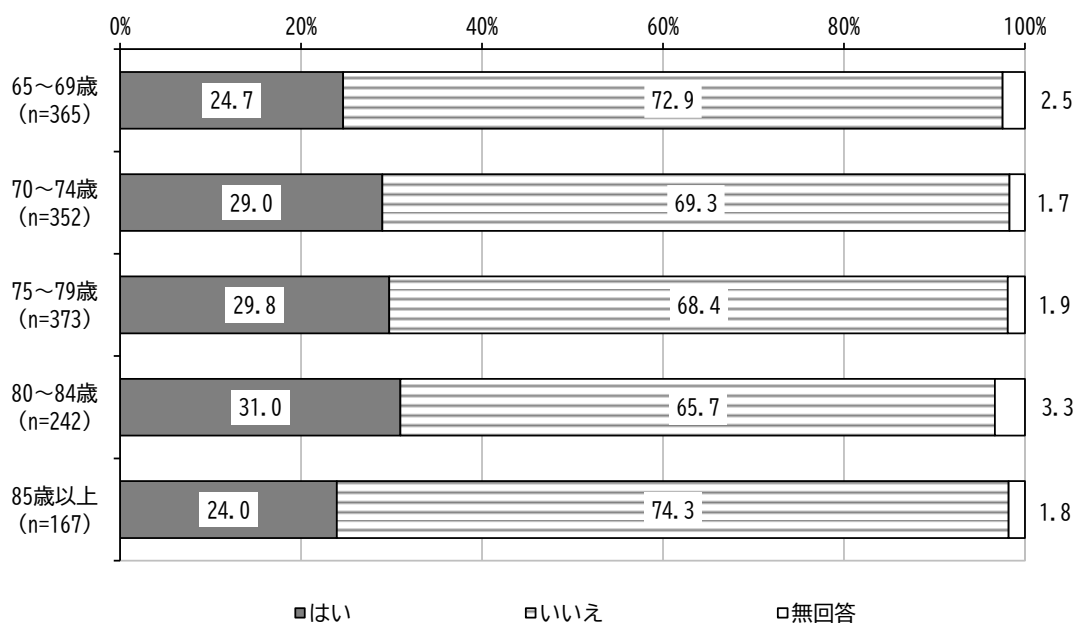
性別にみると、「はい」について、男性では30.4%、女性では25.8%となっており、男性のほうが4.6ポイント高くなっています。

【図表2-3-10 口の渇きが気になるか(性別)】



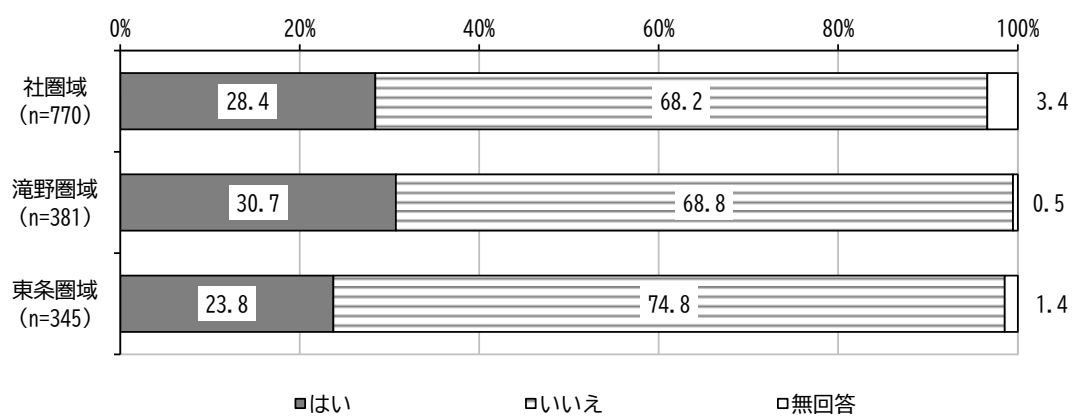
年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 31.0%で最も高くなっています。

【図表2-3-11 口の渇きが気になるか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 30.7%で最も高くなっています。

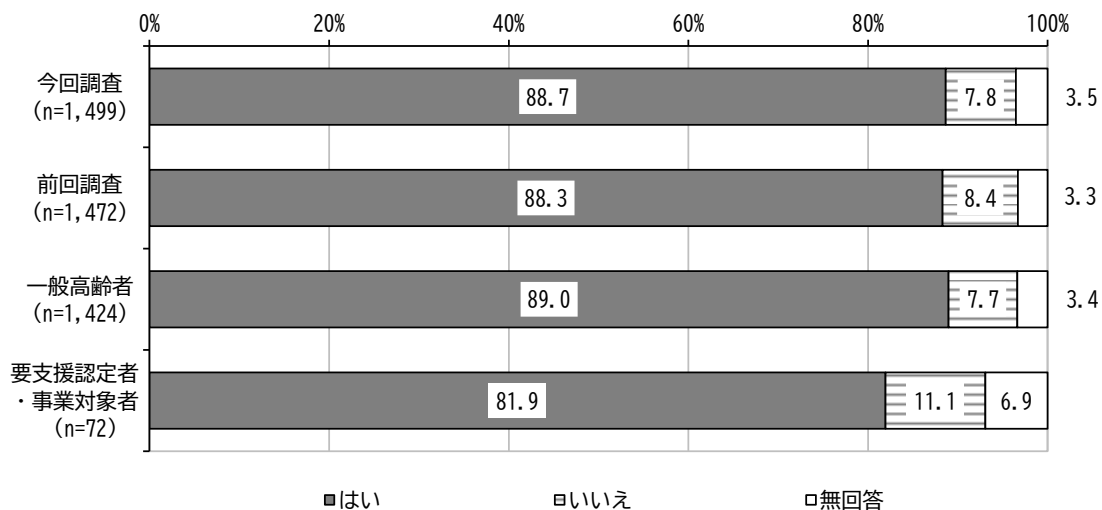
【図表2-3-12 口の渇きが気になるか(圏域別)】



(4) 歯磨きを毎日しているか

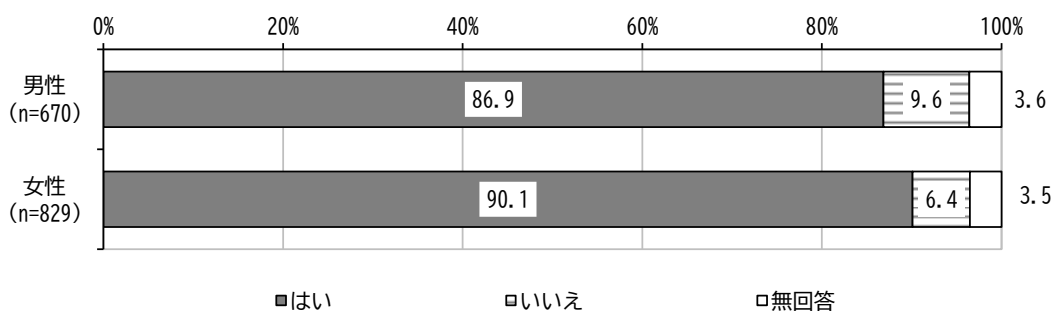
歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が88.7%、「いいえ」が7.8%となっています。

【図表2-3-13 歯磨きを毎日しているか】



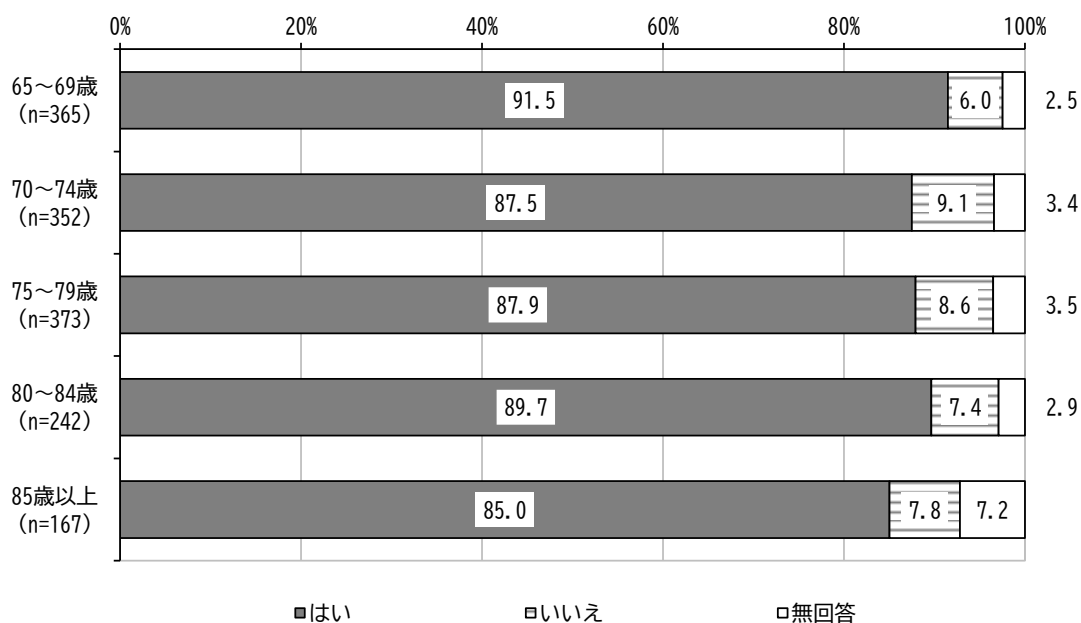
性別にみると、「はい」について、男性では86.9%、女性では90.1%となっており、女性のほうが3.2ポイント高くなっています。

【図表2-3-14 歯磨きを毎日しているか(性別)】



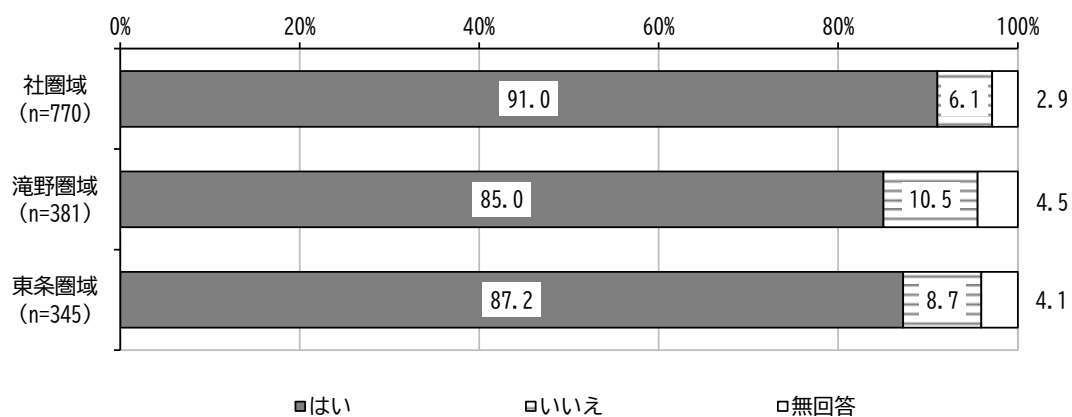
年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 91.5%で最も高くなっています。

【図表2－3－15 歯磨きを毎日しているか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、社圏域が 91.0%で最も高くなっています。

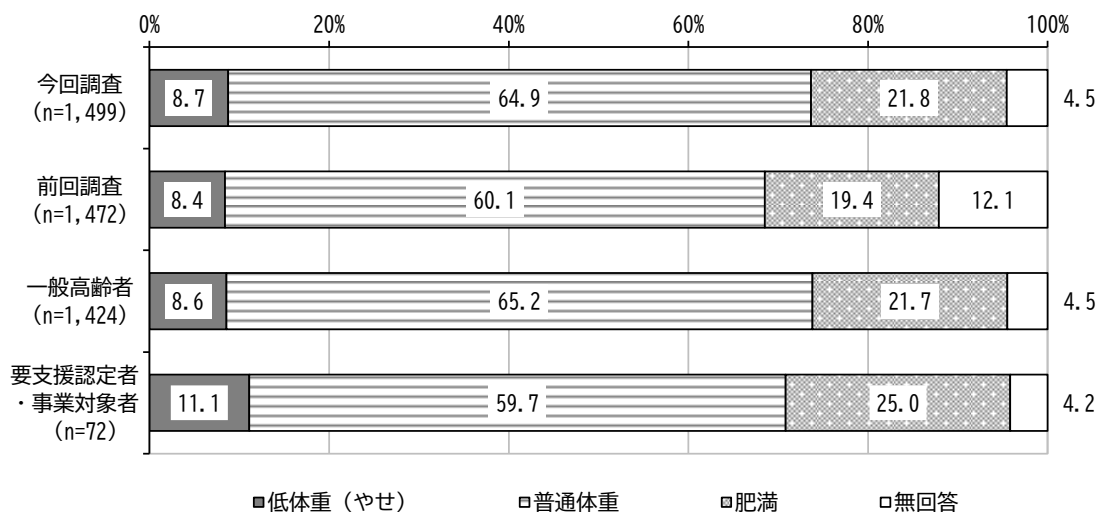
【図表2－3－16 歯磨きを毎日しているか(圏域別)】



(5) BMI(体格指数)

BMIについて、「普通体重」が64.9%で最も高く、次いで「肥満」が21.8%、「低体重(やせ)」が8.7%となっています。また、前回調査と比較して「普通体重」が4.8ポイント増加しています。

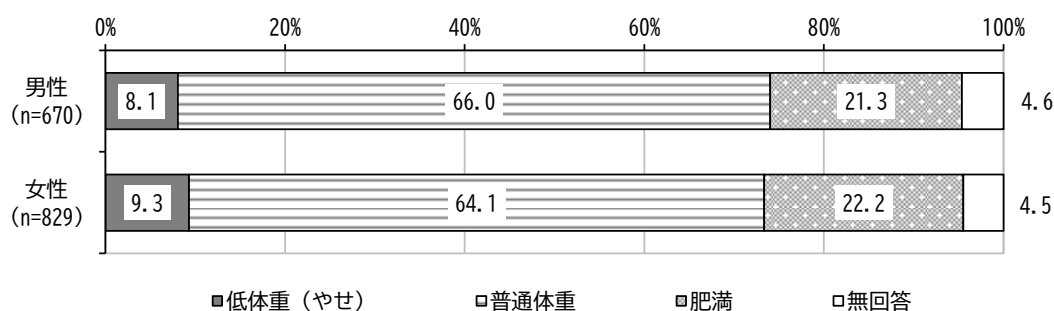
【図表2-3-21 BMI】



※ BMI 18.5 未満:低体重(やせ)、BMI 18.5~25 未満:普通体重、BMI 25 以上:肥満で算出

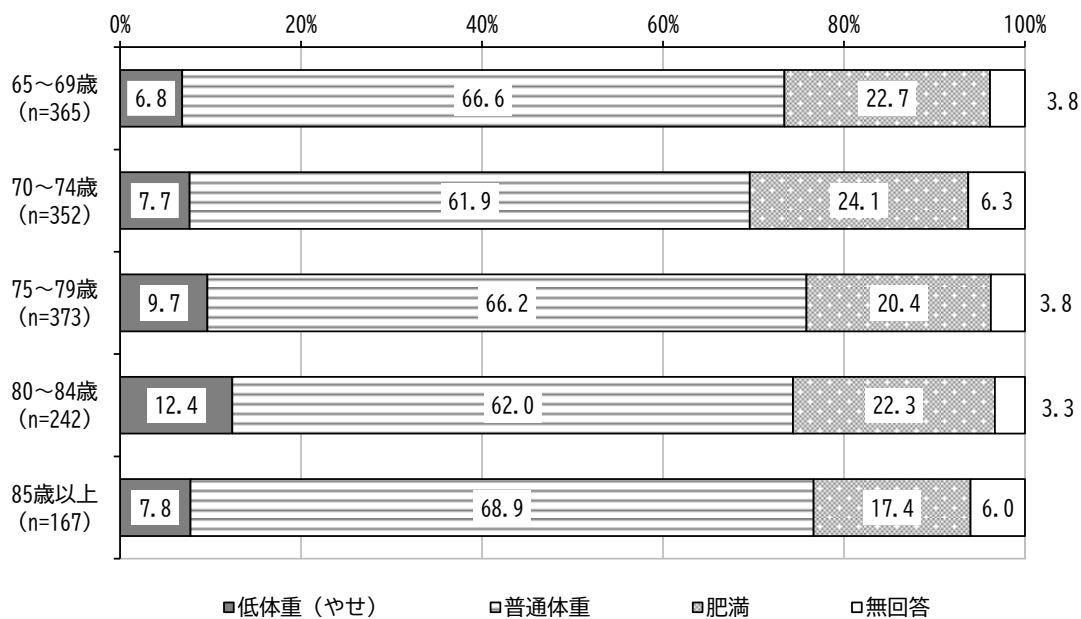
性別にみると、「低体重(やせ)」について、男性では8.1%、女性では9.3%となっており、女性のほうが1.2ポイント高くなっています。

【図表2-3-22 BMI(性別)】



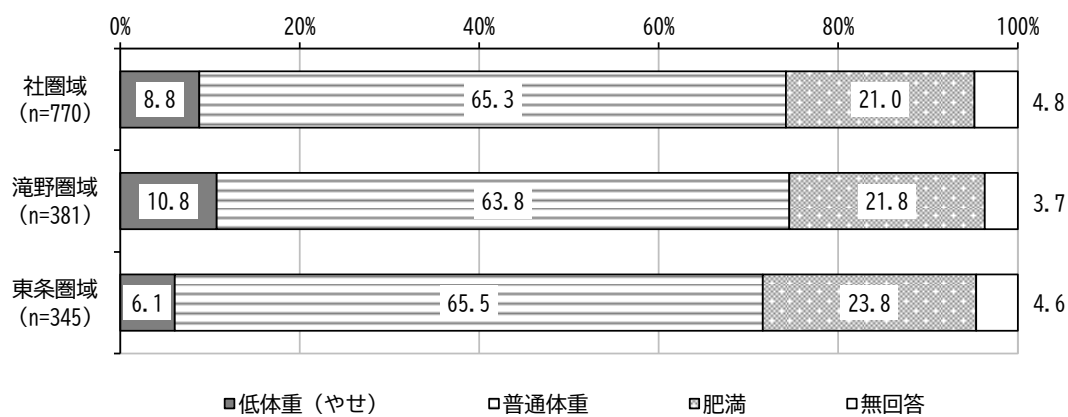
年齢別にみると、「低体重(やせ)」では、80～84 歳が 12.4%で最も高くなっています。

【図表2-3-23 BMI(年齢別)】



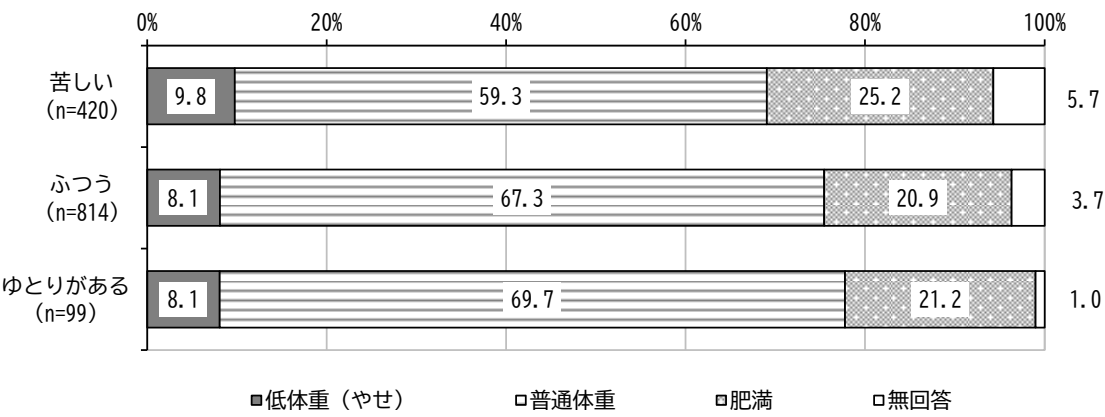
圏域別にみると、「低体重(やせ)」では、滝野圏域が 10.8%で最も高くなっています。

【図表2-3-24 BMI(圏域別)】



経済状況別にみると、経済状況にゆとりがあるほど「普通体重」の割合が高くなっています。

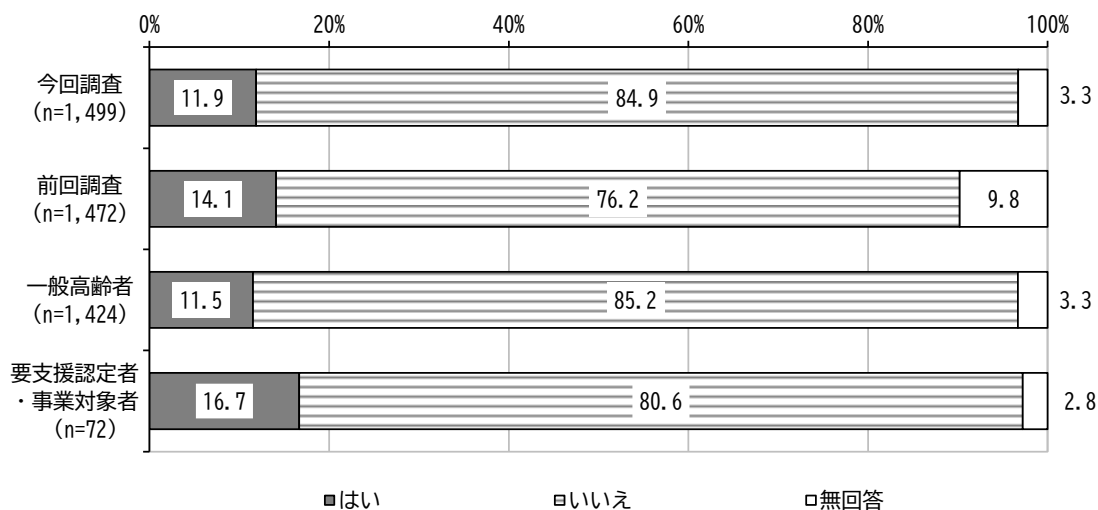
【図表2-3-25 BMI(経済状況別)】



（６）６か月間で２～３kg以上の体重減少があったか

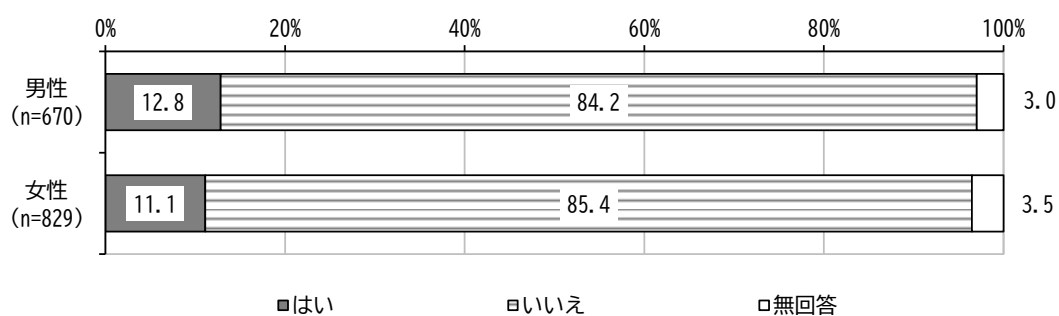
６か月間で２～３kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が１１．９％、「いいえ」が８４．９％となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が８．７ポイント増加しています。

【図表２－３－２６ ６か月間で２～３kg以上の体重減少があったか】



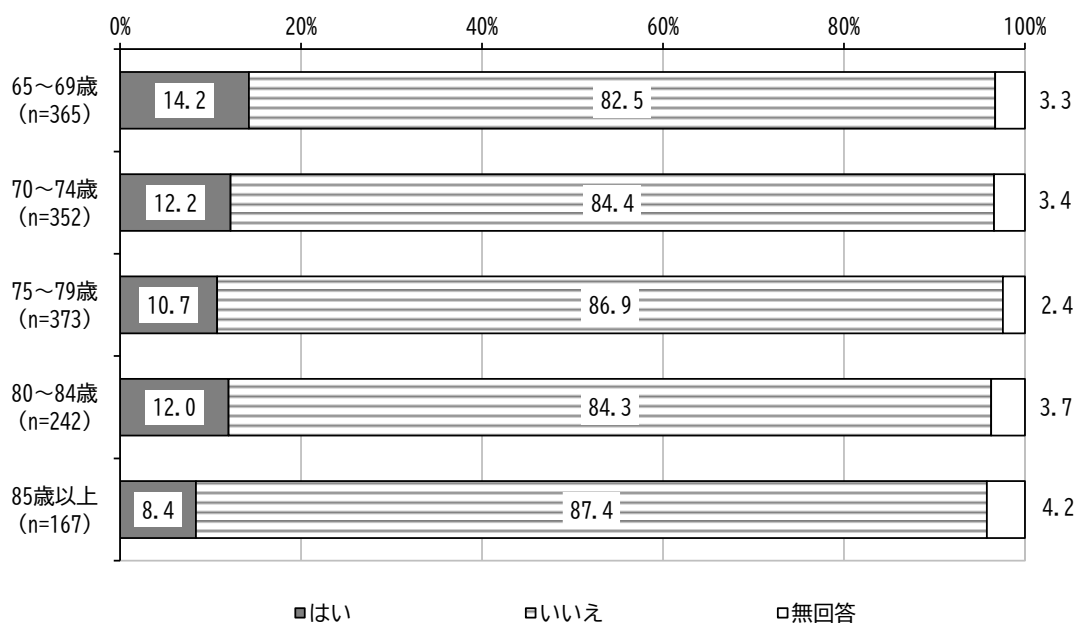
性別にみると、「はい」について、男性では１２．８％、女性では１１．１％となっており、男性のほうが１．７ポイント高くなっています。

【図表２－３－２７ ６か月間で２～３kg以上の体重減少があったか(性別)】



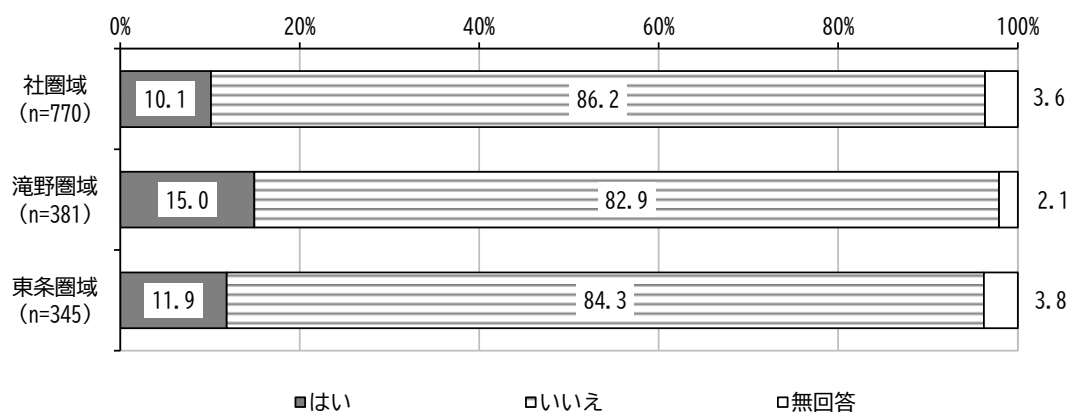
年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 14.2%で最も高くなっています。

【図表2－3－28 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 15.0%で最も高くなっています。

【図表2－3－29 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか(圏域別)】

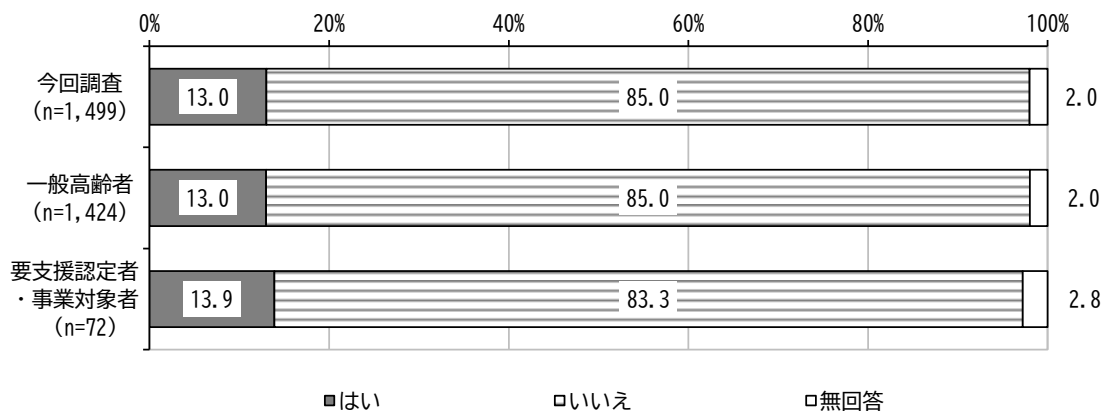


4. 毎日の生活について

(1) 周りの人から物忘れがあると言われるか

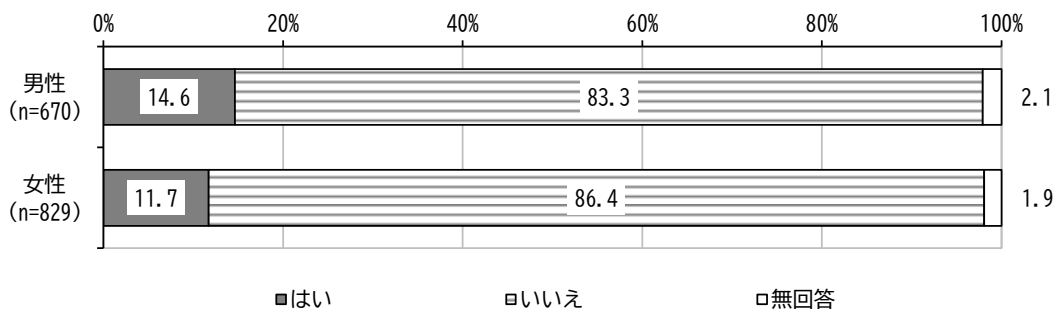
周りの人から物忘れがあると言われるかについて、「はい」が13.0%、「いいえ」が85.0%となっています。

【図表2-4-5 周りの人から物忘れがあると言われるか】



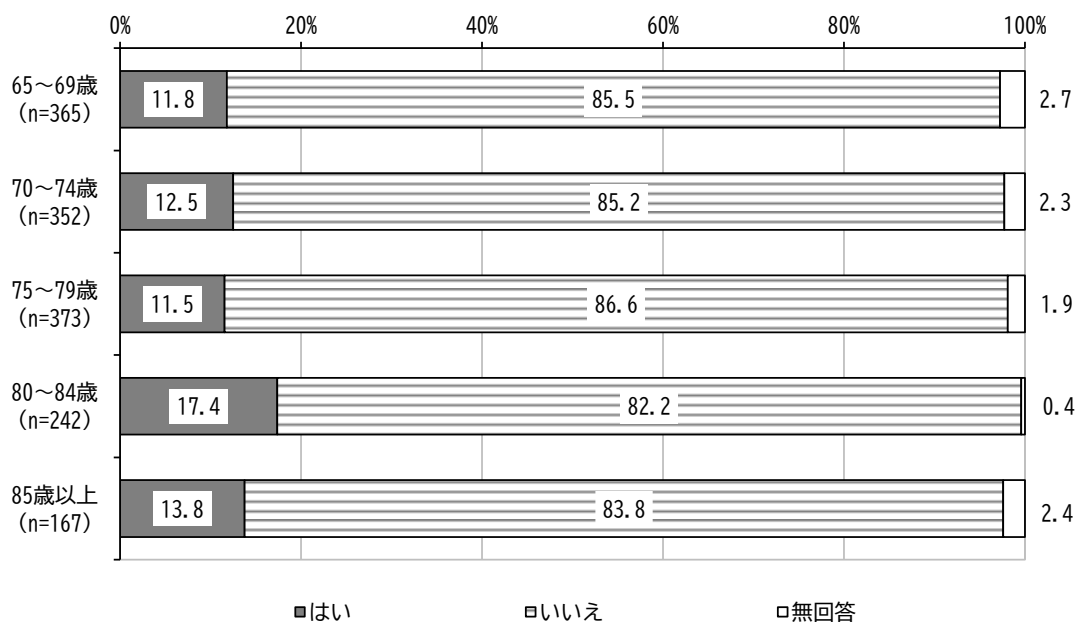
性別にみると、「はい」について、男性では14.6%、女性では11.7%となっており、男性のほうが2.9ポイント高くなっています。

【図表2-4-6 周りの人から物忘れがあると言われるか(性別)】



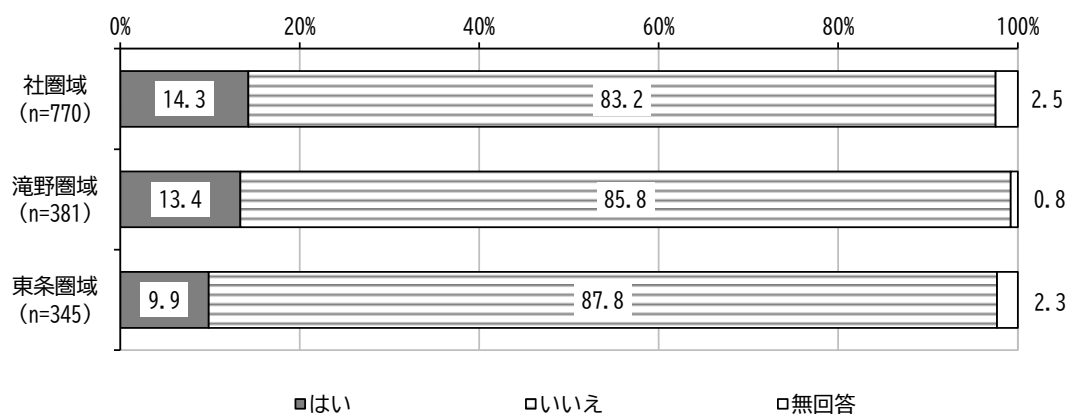
年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 17.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-7 周りの人から物忘れがあると言われるか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、社圏域が 14.3%で最も高くなっています。

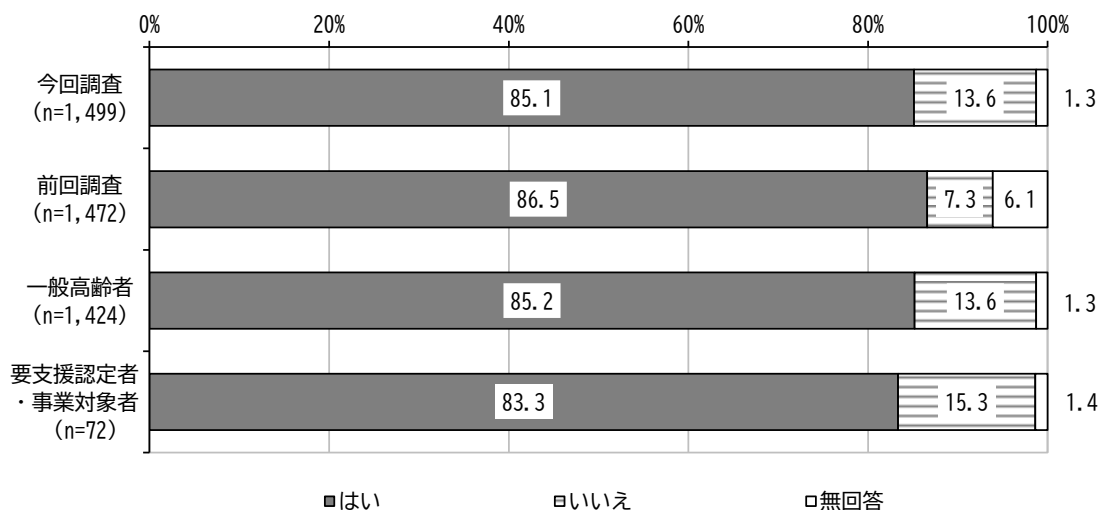
【図表2-4-8 周りの人から物忘れがあると言われるか(圏域別)】



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか

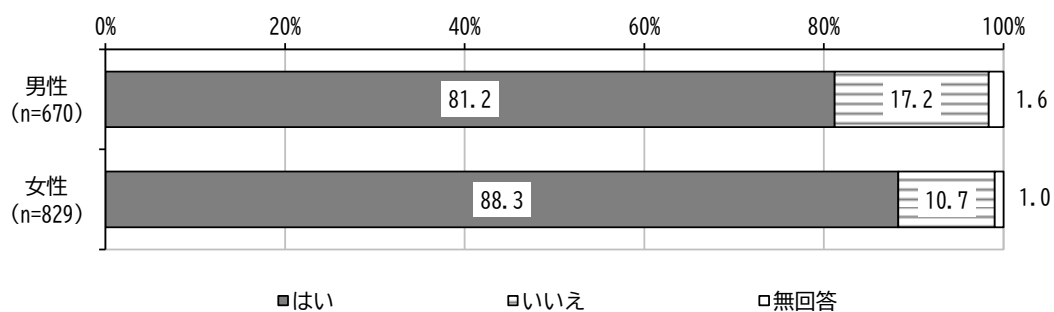
自分で電話番号を調べて、電話をかけているかについて、「はい」が85.1%、「いいえ」が13.6%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が6.3ポイント増加しています。

【図表2-4-9 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか】



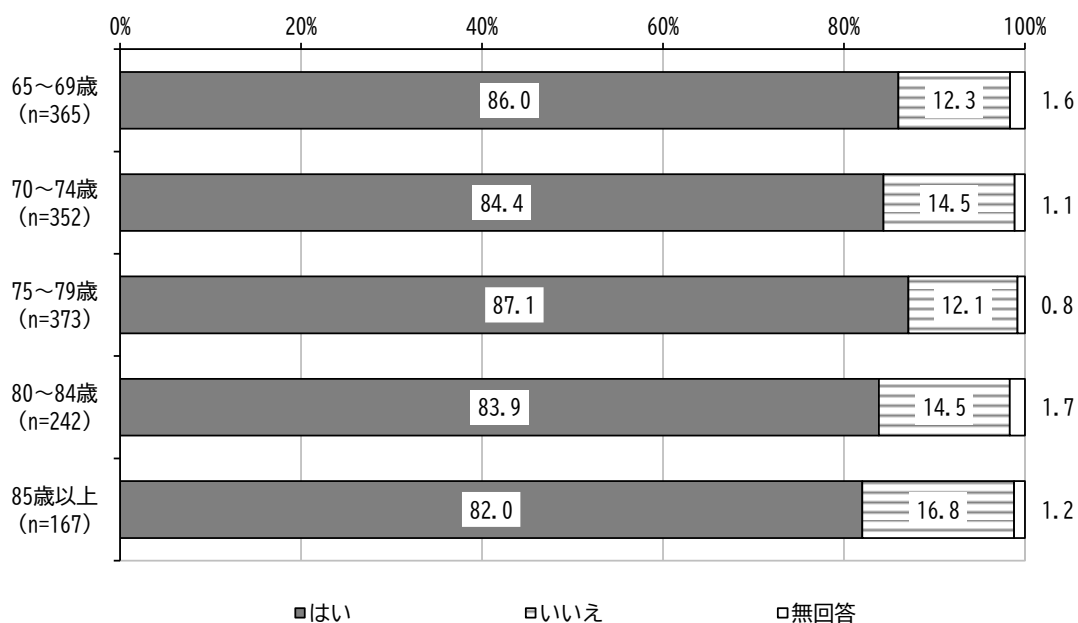
性別にみると、「はい」について、男性では81.2%、女性では88.3%となっており、女性のほうが7.1ポイント高くなっています。

【図表2-4-10 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか(性別)】



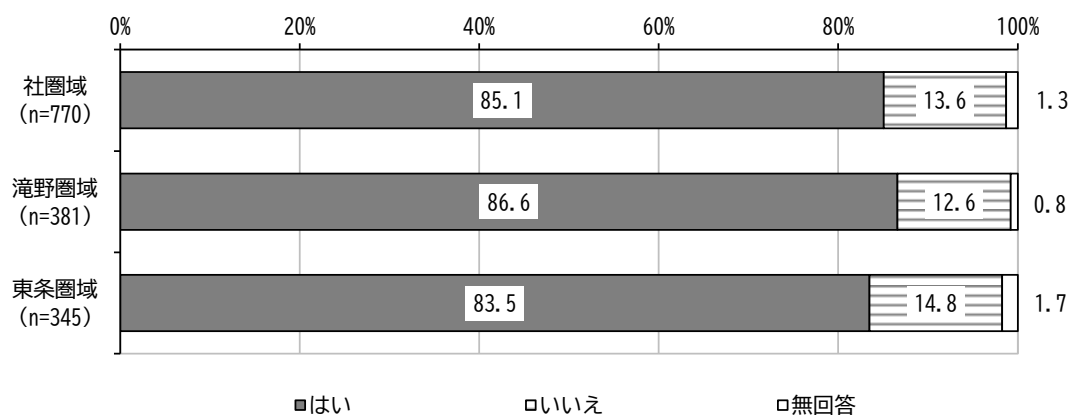
年齢別にみると、「はい」では、75～79 歳が 87.1%で最も高くなっています。

【図表2-4-11 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 86.6%で最も高くなっています。

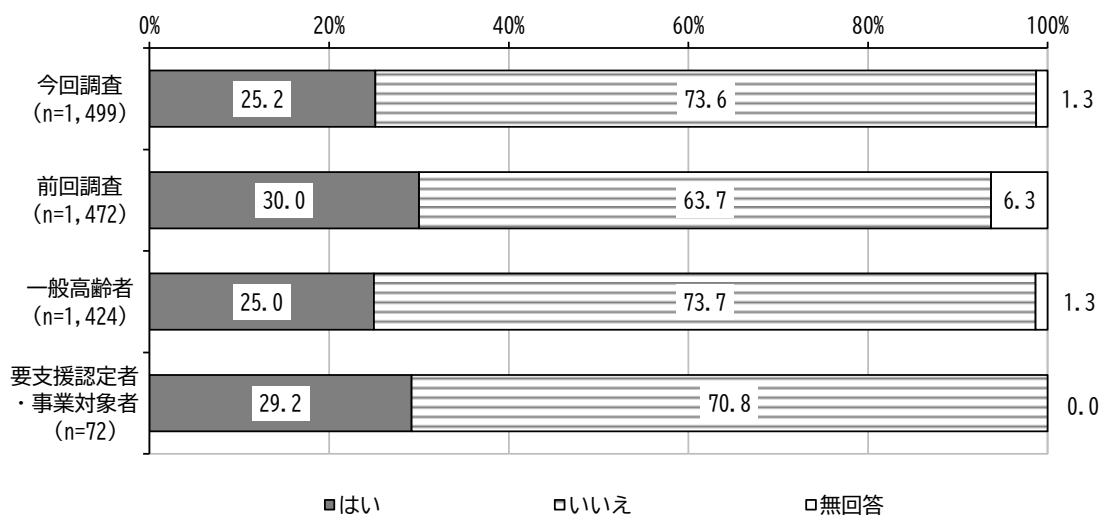
【図表2-4-12 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか(圏域別)】



(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

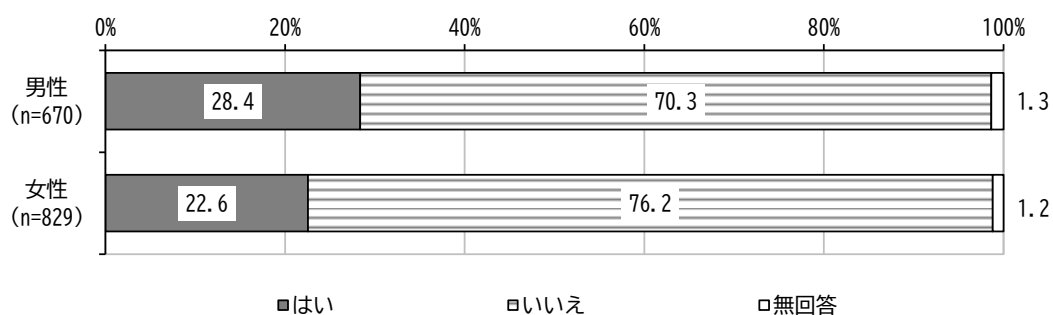
今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が 25.2%、「いいえ」が 73.6%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が 9.9 ポイント増加しています。

【図表2-4-13 今日が何月何日かわからない時があるか】



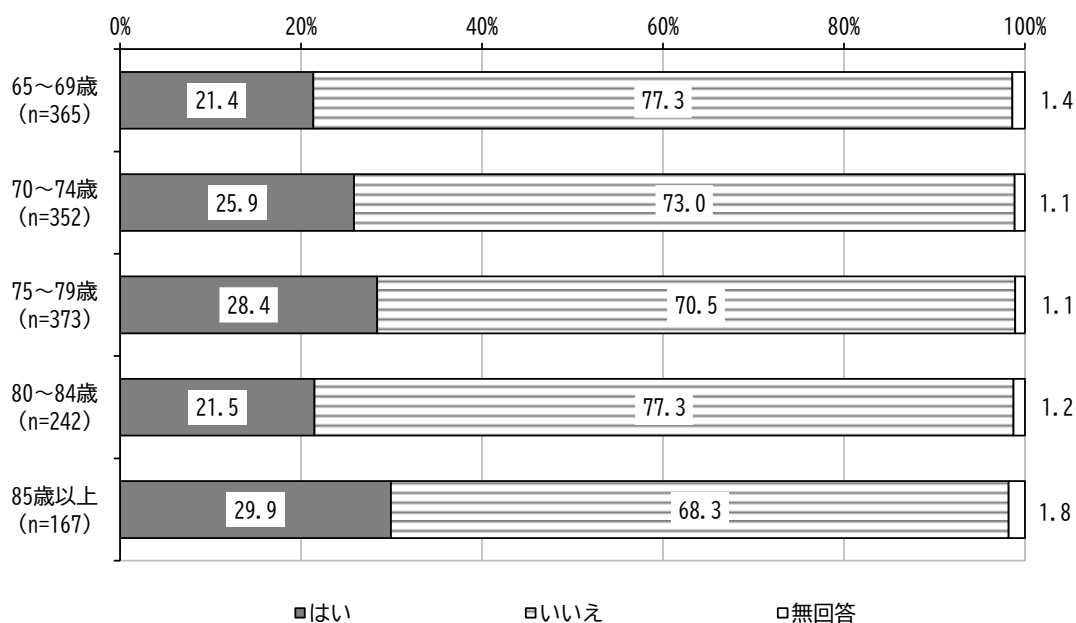
性別にみると、「はい」について、男性では 28.4%、女性では 22.6%となっており、男性のほうが 5.8 ポイント高くなっています。

【図表2-4-14 今日が何月何日かわからない時があるか(性別)】



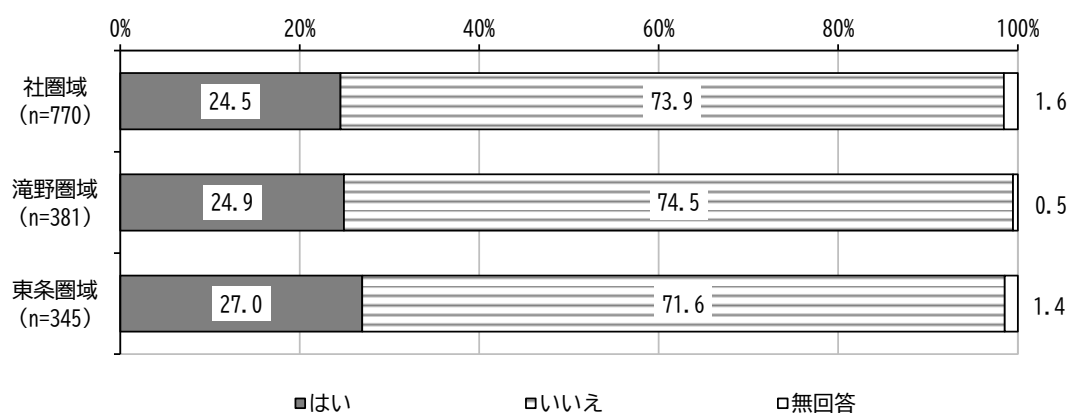
年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 29.9%で最も高くなっています。

【図表2-4-15 今日が何月何日かわからない時があるか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、東条圏域が 27.0%で最も高くなっています。

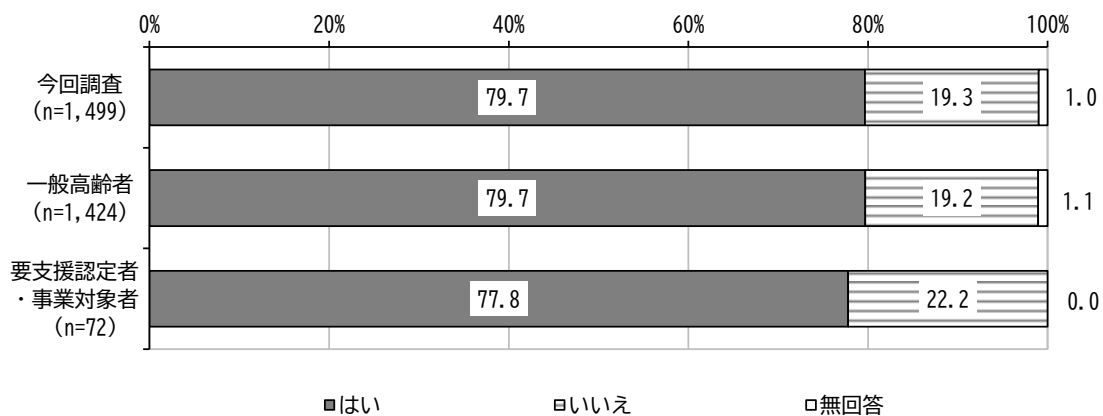
【図表2-4-16 今日が何月何日かわからない時があるか(圏域別)】



(4) スマートフォンを持っているか

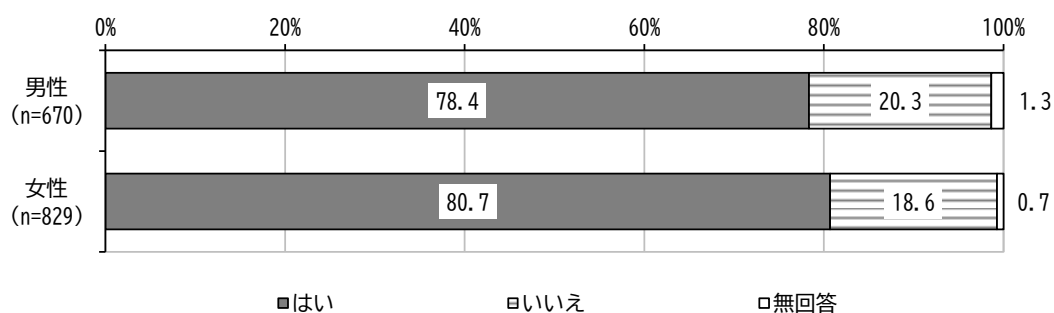
スマートフォンを持っているかについて、「はい」が79.7%、「いいえ」が19.3%となっています。

【図表2-4-37 スマートフォンを持っているか】



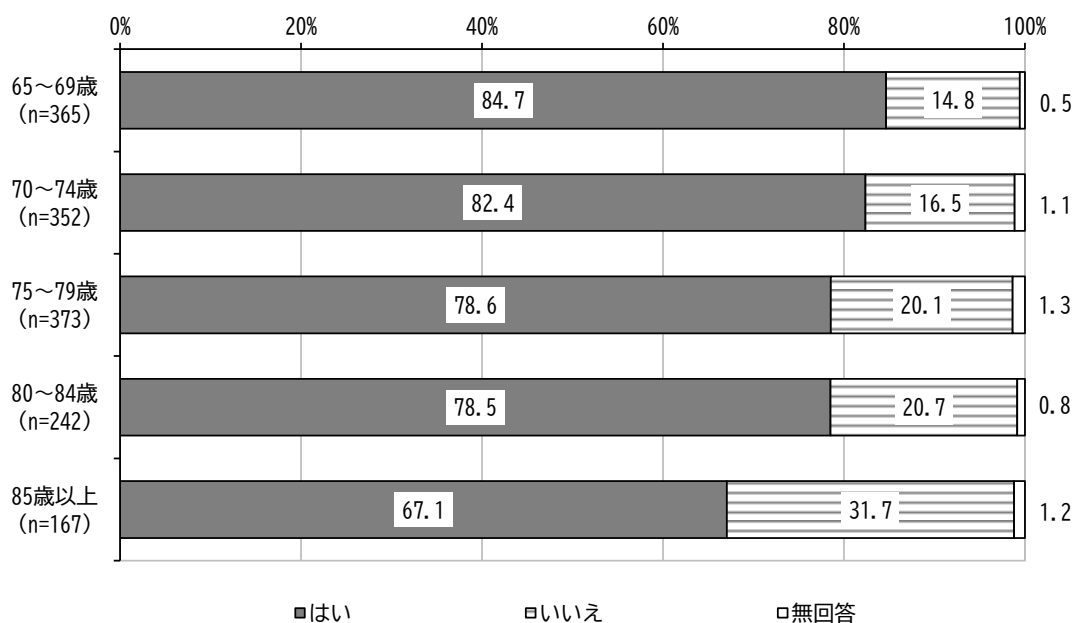
性別にみると、「はい」について、男性では78.4%、女性では80.7%となっており、女性のほうが2.3ポイント高くなっています。

【図表2-4-38 スマートフォンを持っているか(性別)】



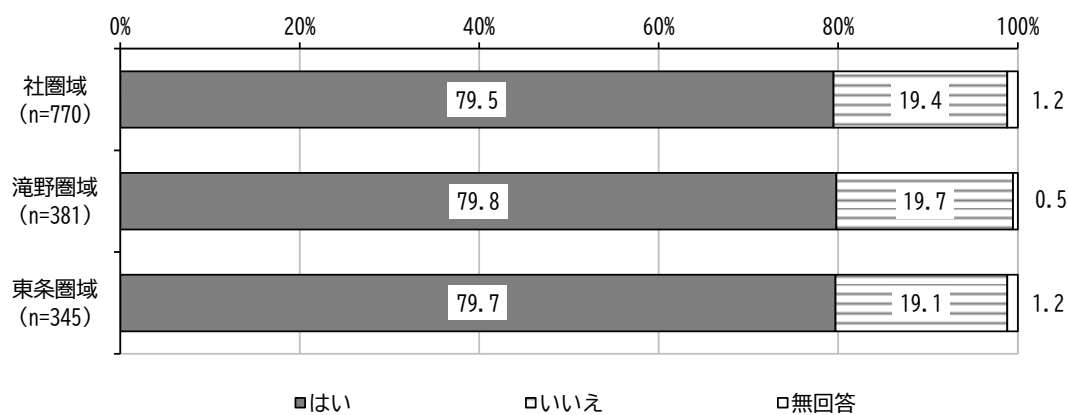
年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 84.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-39 スマートフォンを持っているか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 79.8%で最も高くなっています。

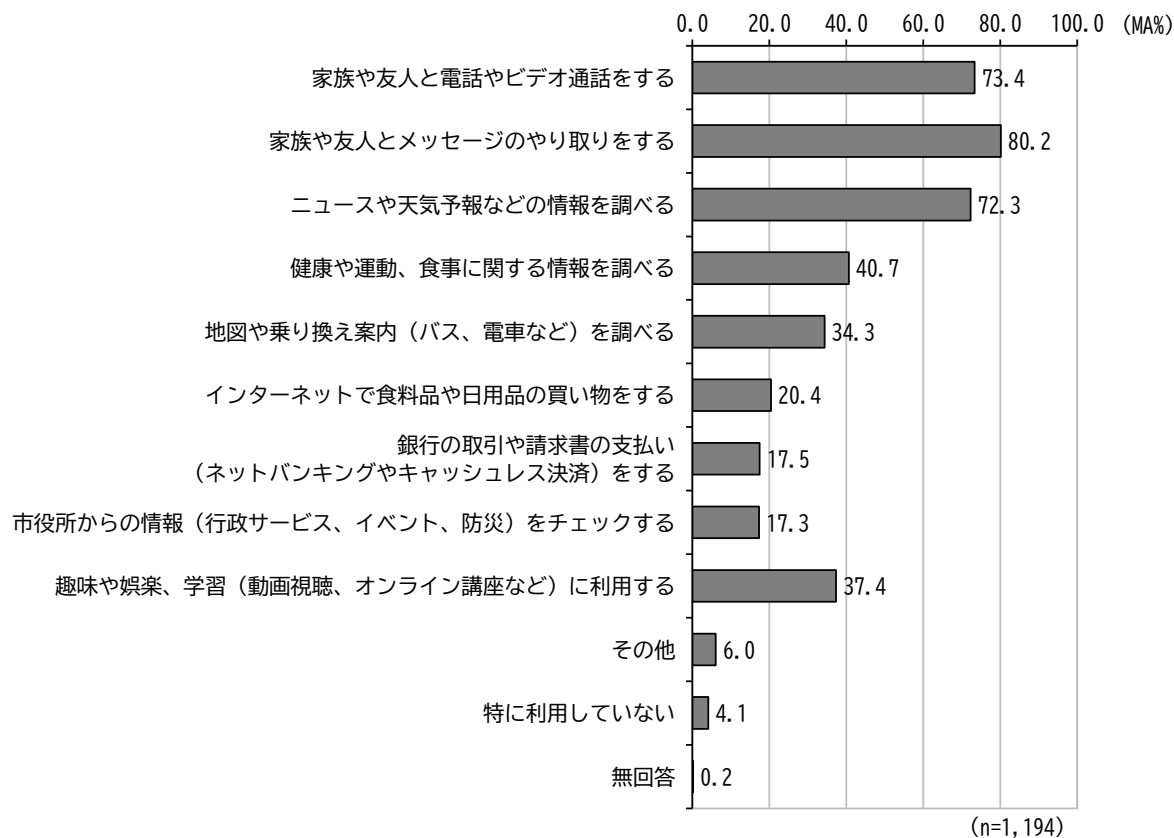
【図表2-4-40 スマートフォンを持っているか(圏域別)】



(5) スマートフォンの使用内容

スマートフォンの使用内容について、「家族や友人とメッセージのやり取りをする」が 80.2%で最も高く、次いで「家族や友人と電話やビデオ通話をする」が 73.4%、「ニュースや天気予報などの情報を調べる」が 72.3%となっています。

【図表2-4-41 スマートフォンの使用内容】



「インターネットで食料品や日用品の買い物をする」では、年齢別にみると、70～74 歳が 22.4%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 25.8%で最も高くなっています。

【図表2-4-42 スマートフォンの使用内容(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

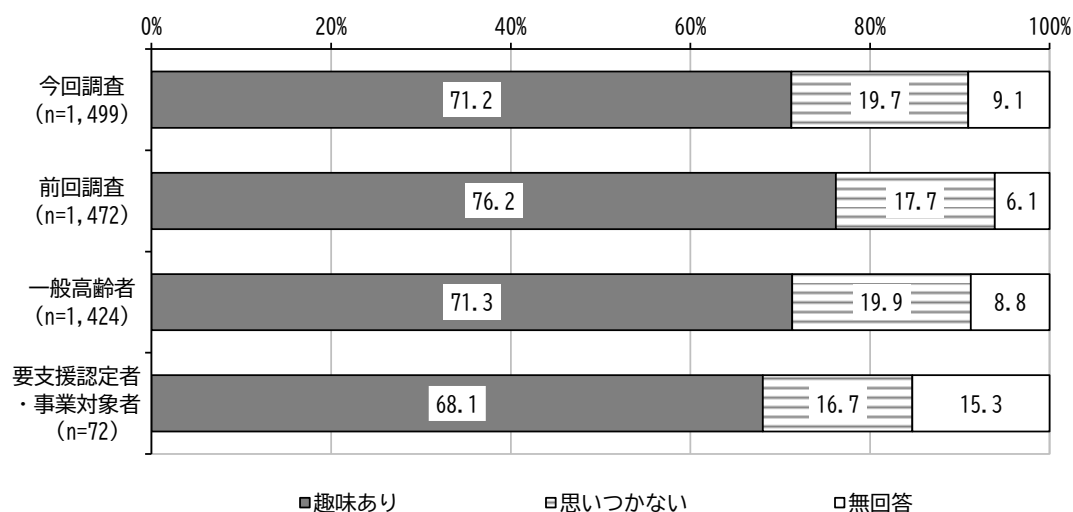
	合計（人）	家族や友人と電話やビデオ通話をする	家族や友人とメッセージのやり取りをする	ニュースや天気予報などの情報を調べる	健康や運動、食事に関する情報を調べる	地図や乗り換え案内（バス、電車など）を調べる	インターネットで食料品や日用品の買い物をする	インターネットでレジャー（映画、音楽、ゲームなど）をする	銀行の取引や請求書の支払（ネットバンキング）をする	市役所からの情報（行政サービス、イベント、防災）をチェックする	趣味や娯楽、学習（動画視聴、オンライン講座など）に利用する	その他
一般高齢者	1,135	73.4	80.1	72.5	40.2	34.9	20.5	17.6	17.5	37.7	5.8	
要支援認定者・事業対象者	56	75.0	80.4	67.9	51.8	25.0	19.6	14.3	14.3	28.6	10.7	
男性	525	69.3	76.6	73.0	35.0	34.9	20.4	18.1	15.6	36.6	5.7	
女性	669	76.5	83.0	71.7	45.1	33.9	20.5	17.0	18.7	38.0	6.3	
65～69歳	309	72.2	80.3	71.5	38.5	34.0	20.4	18.4	17.2	36.9	6.1	
70～74歳	290	74.1	84.1	73.8	40.3	39.7	22.4	16.9	17.9	38.3	5.9	
75～79歳	293	71.3	79.5	72.4	41.3	32.4	19.8	18.4	19.5	37.2	7.2	
80～84歳	190	80.0	82.1	74.7	42.1	30.5	20.0	15.3	16.3	40.5	3.7	
85歳以上	112	68.8	67.9	66.1	43.8	33.0	17.9	17.9	12.5	31.3	7.1	
社圏域	612	73.9	79.1	72.4	41.7	35.5	19.6	19.1	18.0	37.6	6.9	
滝野圏域	304	73.4	81.9	70.1	39.5	31.6	17.4	12.2	16.1	33.2	4.9	
東条圏域	275	72.7	80.4	74.5	40.0	35.3	25.8	19.6	17.5	41.1	5.5	

	合計（人）	特に利用していない	無回答
一般高齢者	1,135	4.1	0.2
要支援認定者・事業対象者	56	5.4	0.0
男性	525	5.0	0.2
女性	669	3.4	0.1
65～69歳	309	3.2	0.0
70～74歳	290	3.8	0.0
75～79歳	293	4.1	0.7
80～84歳	190	3.2	0.0
85歳以上	112	8.9	0.0
社圏域	612	3.9	0.2
滝野圏域	304	3.6	0.3
東条圏域	275	5.1	0.0

（６）趣味があるか

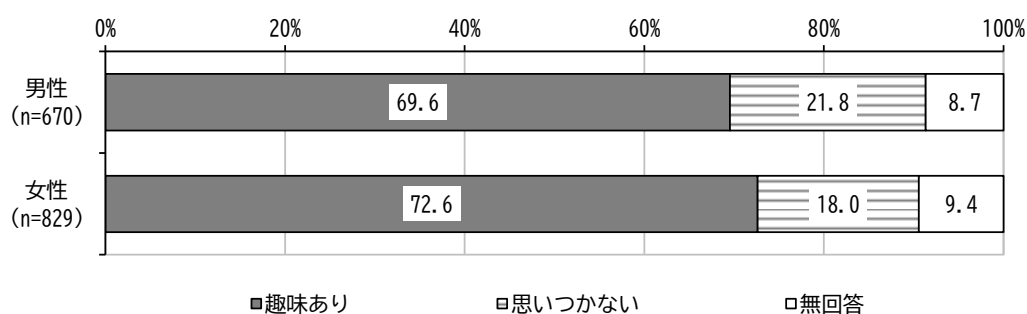
趣味があるかについて、「趣味あり」が 71.2%、「思いつかない」が 19.7%となっています。また、前回調査と比較して「趣味あり」が 5.0 ポイント減少しています。

【図表2-4-43 趣味があるか】



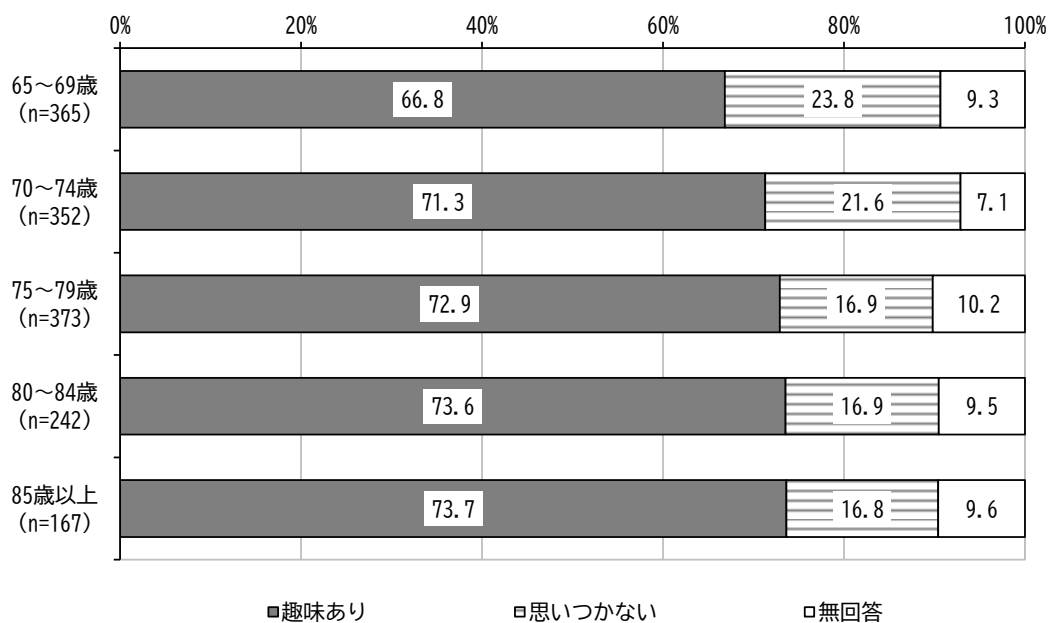
性別にみると、「趣味あり」について、男性では 69.6%、女性では 72.6%となっており、女性のほうが 3.0 ポイント高くなっています。

【図表2-4-44 趣味があるか(性別)】



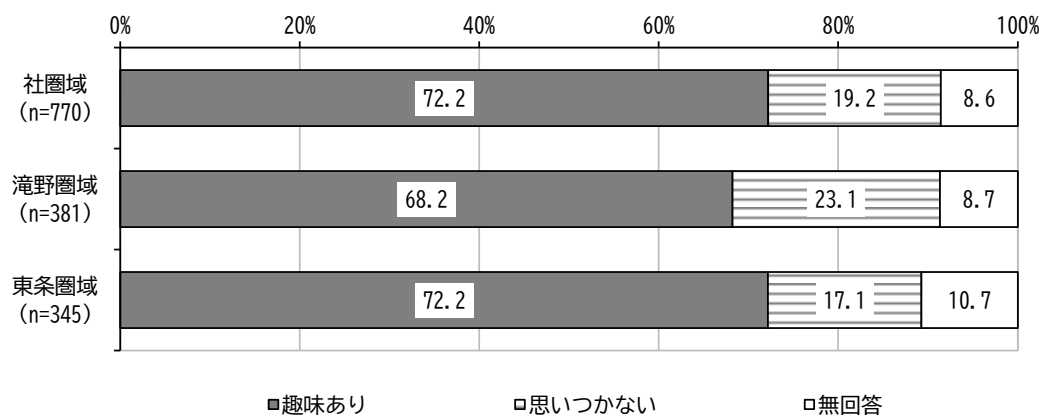
年齢別にみると、「趣味あり」では、85 歳以上が 73.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-45 趣味があるか(年齢別)】



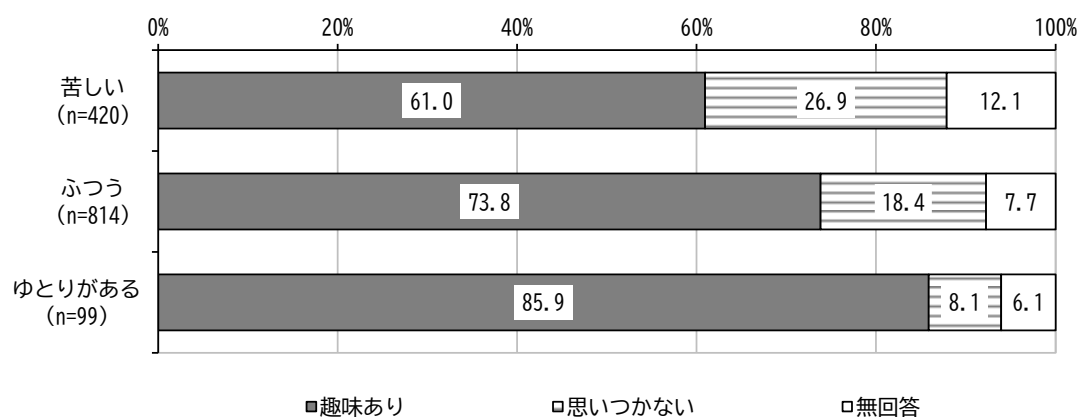
圏域別にみると、「趣味あり」では、社圏域と東条圏域が 72.2%で最も高くなっています。

【図表2-4-46 趣味があるか(圏域別)】



経済状況別にみると、経済状況にゆとりがあるほど「趣味あり」の割合が高くなっています。

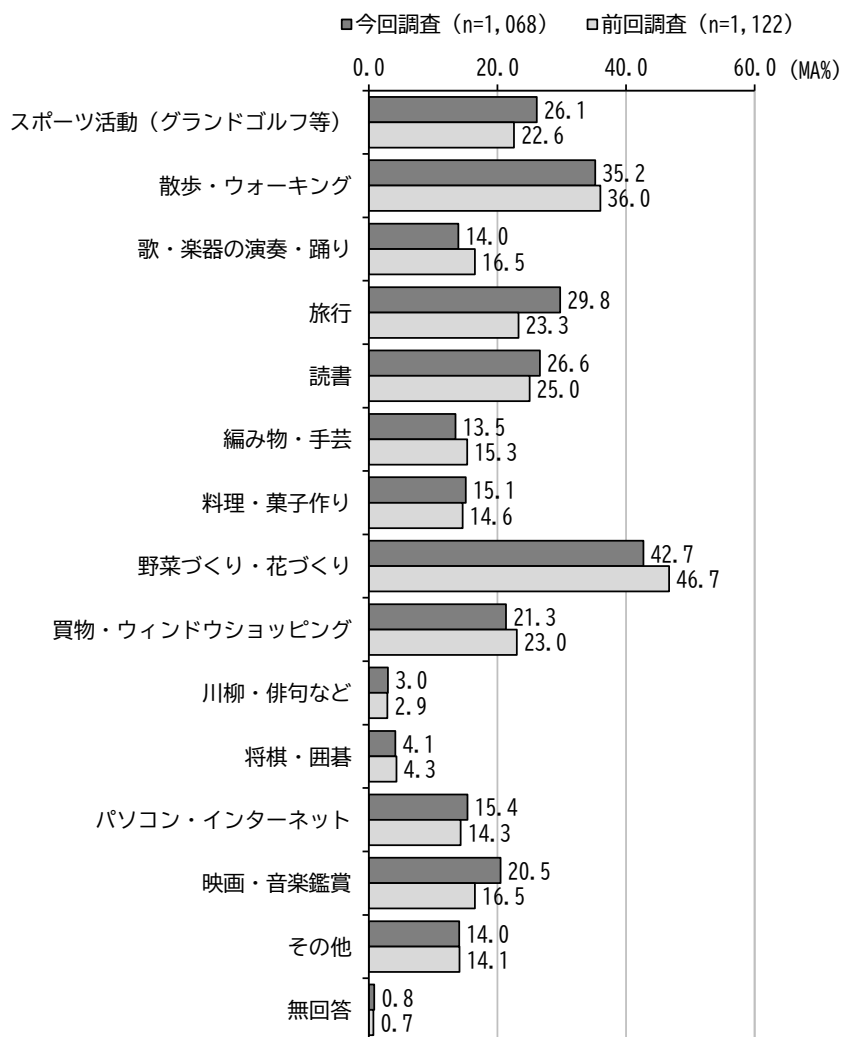
【図表2-4-47 趣味があるか(経済状況別)】



(7) 趣味の内容

趣味の内容について、「野菜づくり・花づくり」が42.7%で最も高く、次いで「散歩・ウォーキング」が35.2%、「旅行」が29.8%となっています。また、前回調査と比較して「旅行」が6.5ポイント、「映画・音楽鑑賞」が4.0増加し、「野菜づくり・花づくり」が4.0ポイント減少しています。

【図表2-4-48 趣味の内容】



「スポーツ活動(グランドゴルフ等)」では、年齢別にみると、80～84 歳が 29.8%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 30.9%で最も高くなっています。

【図表2-4-49 趣味の内容(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

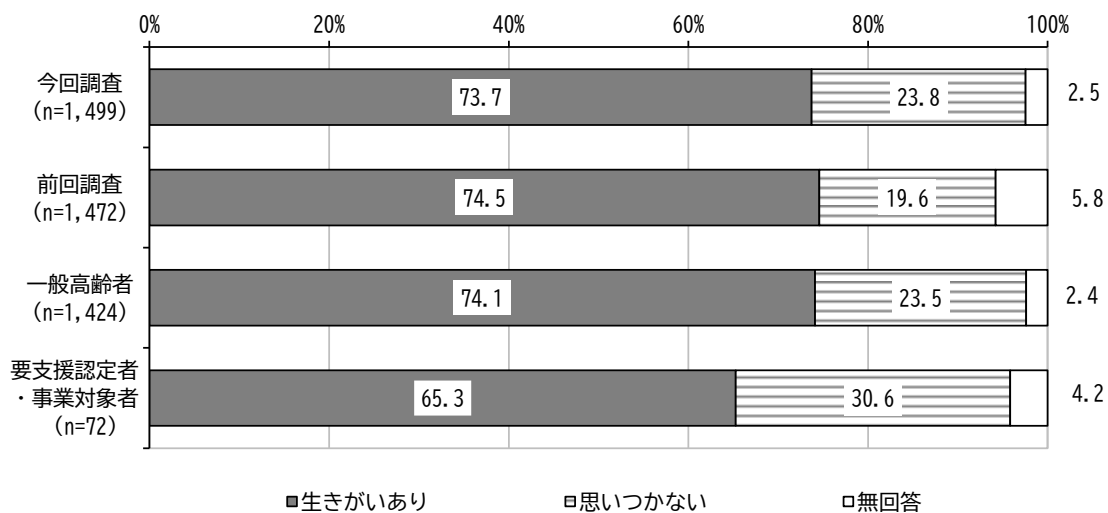
	合計(人)	スポーツ活動(グランドゴルフ等)	散歩・ウォーキング	歌・楽器の演奏・踊り	旅行	読書	編み物・手芸	料理・菓子作り	野菜づくり・花づくり	買い物・ウィンドウショッピング	川柳・俳句など
一般高齢者	1,016	26.2	35.2	13.9	30.1	26.0	13.5	14.9	43.0	21.4	2.8
要支援認定者・事業対象者	49	24.5	34.7	14.3	22.4	38.8	12.2	18.4	36.7	20.4	8.2
男性	466	28.3	33.5	14.2	29.4	23.4	9.7	9.9	40.1	16.1	2.4
女性	602	24.4	36.5	13.8	30.1	29.1	16.4	19.1	44.7	25.4	3.5
65～69歳	244	22.5	32.0	11.9	29.5	21.7	12.7	11.1	38.5	20.5	2.9
70～74歳	251	23.5	36.7	14.3	33.1	29.5	14.3	17.5	42.2	23.9	1.6
75～79歳	272	27.9	39.3	14.7	26.5	27.2	12.5	14.0	42.6	22.1	2.6
80～84歳	178	29.8	36.0	15.2	32.0	30.3	14.0	15.7	48.9	20.2	2.8
85歳以上	123	29.3	28.5	13.8	27.6	23.6	14.6	19.5	43.1	17.9	7.3
社圏域	556	25.9	34.5	14.6	28.8	27.9	13.7	13.3	43.7	22.5	2.7
滝野圏域	260	21.9	38.8	13.1	30.4	29.2	11.9	18.5	41.5	21.9	4.6
東条圏域	249	30.9	32.9	13.3	31.3	20.9	14.5	15.3	41.8	18.1	2.0

	合計(人)	将棋・囲碁	パソコン・インターネット	映画・音楽鑑賞	その他	無回答
一般高齢者	1,016	4.0	15.7	20.3	14.6	0.9
要支援認定者・事業対象者	49	6.1	6.1	22.4	4.1	0.0
男性	466	4.7	15.9	18.5	15.9	1.5
女性	602	3.7	15.0	22.1	12.6	0.3
65～69歳	244	4.5	13.5	20.5	18.4	1.6
70～74歳	251	5.6	15.5	23.9	13.9	0.4
75～79歳	272	2.9	15.8	22.1	13.6	0.0
80～84歳	178	2.8	16.9	19.7	12.4	1.7
85歳以上	123	4.9	15.4	11.4	8.9	0.8
社圏域	556	5.0	16.0	19.8	14.2	0.5
滝野圏域	260	3.1	13.1	18.1	14.2	1.2
東条圏域	249	3.2	16.1	24.1	13.7	1.2

(8) 生きがいがあるか

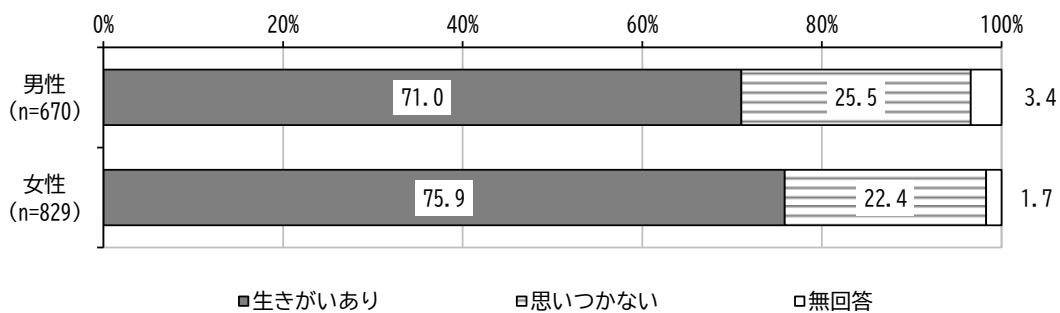
生きがいがあるかについて、「生きがいあり」が 73.7%、「思いつかない」が 23.8%となっています。また、前回調査と比較して「思いつかない」が 4.2 ポイント増加しています。

【図表2-4-50 生きがいがあるか】



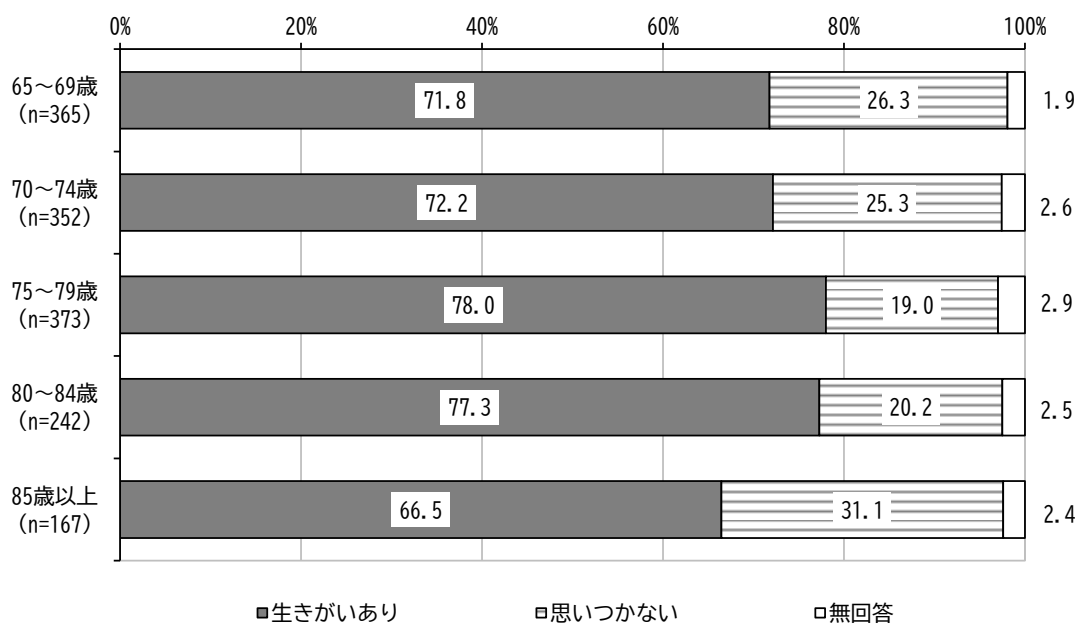
性別にみると、「生きがいあり」について、男性では 71.0%、女性では 75.9%となっており、女性のほうが 4.9 ポイント高くなっています。

【図表2-4-51 生きがいがあるか(性別)】



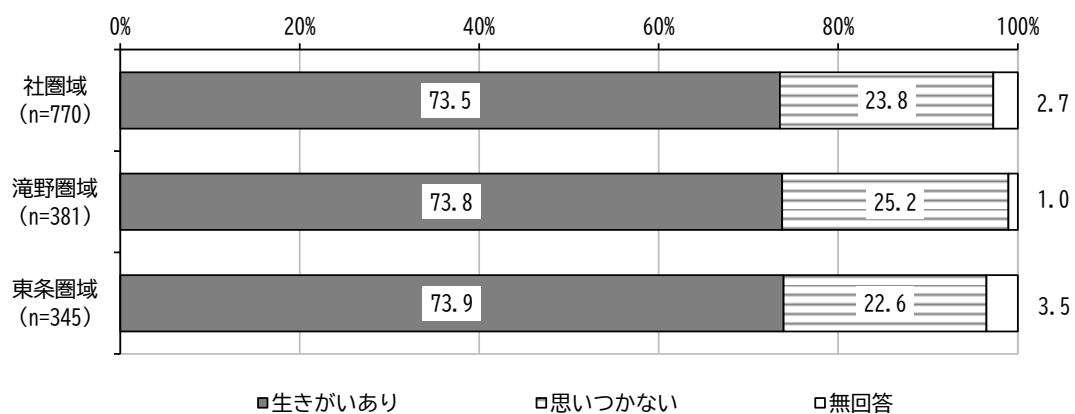
年齢別にみると、「生きがいあり」では、75～79歳が78.0%で最も高くなっています。

【図表2-4-52 生きがいがあるか(年齢別)】



圏域別にみると、「生きがいあり」では、東条圏域が73.9%で最も高くなっています。

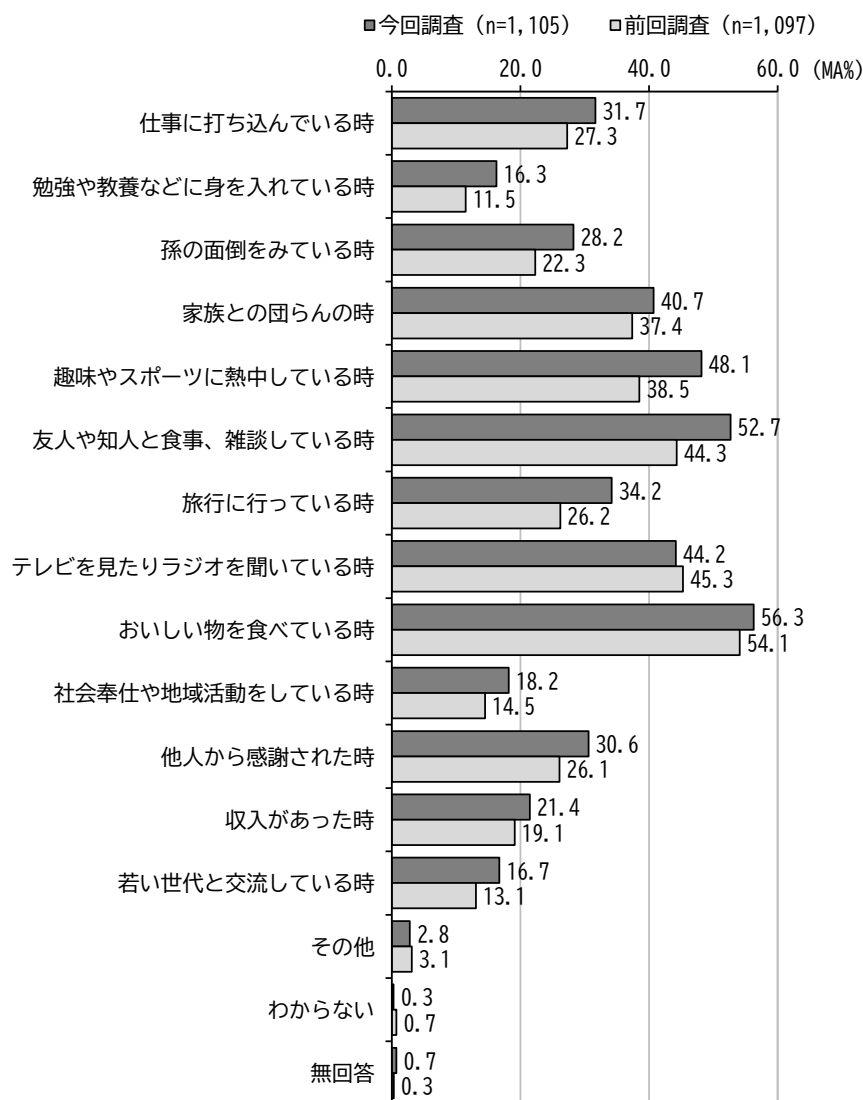
【図表2-4-53 生きがいがあるか(圏域別)】



（９）生きがいを感じる時

生きがいを感じる時について、「おいしい物を食べている時」が 56.3%で最も高く、次いで「友人や知人と食事、雑談している時」が 52.7%、「趣味やスポーツに熱中している時」が 48.1%となっています。また、前回調査と比較して「趣味やスポーツに熱中している時」が 9.6 ポイント、「友人や知人と食事、雑談している時」が 8.4 ポイント、「旅行に行っている時」が 8.0 ポイント増加しています。

【図表2-4-54 生きがいを感じる時】



「仕事に打ち込んでいる時」では、年齢別にみると、70～74歳が34.3%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が37.6%で最も高くなっています。

また、80～84歳で「社会奉仕や地域活動をしている時」「他人から感謝された時」「若い世代と交流している時」の割合が他の年齢層と比較して高くなっています。

【図表2-4-55 生きがいを感じる時(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	仕事に打ち込んでいる時	勉強や教養などに身を入れる時	孫の面倒をみている時	家族との団らんの時	趣味やスポーツに熱中している時	友人や知人と食事、雑談している時	旅行に行っている時	テレビを見たりラジオを聞いている時	おいしい物を食べている時	社会奉仕や地域活動をしている時
一般高齢者	1,055	32.3	16.4	28.1	40.5	48.2	52.8	34.5	43.6	55.9	18.4
要支援認定者・事業対象者	47	17.0	12.8	34.0	44.7	44.7	46.8	25.5	55.3	61.7	14.9
男性	476	30.5	14.5	28.4	42.0	49.4	46.8	36.1	45.4	52.5	19.7
女性	629	32.6	17.6	28.1	39.7	47.2	57.1	32.8	43.2	59.1	17.0
65～69歳	262	33.6	14.5	30.5	45.8	44.3	52.3	38.2	37.8	52.3	16.4
70～74歳	254	34.3	18.5	28.7	35.0	49.6	50.0	30.7	42.5	54.7	19.7
75～79歳	291	27.1	17.2	24.7	40.2	51.5	49.8	32.6	47.4	59.1	17.5
80～84歳	187	32.6	16.6	31.0	44.9	46.5	62.6	36.9	50.3	56.7	23.0
85歳以上	111	31.5	12.6	26.1	36.0	47.7	50.5	32.4	44.1	61.3	12.6
社圏域	566	31.3	16.3	27.0	40.3	47.9	53.5	34.3	43.5	56.0	19.1
滝野圏域	281	27.0	17.8	28.8	40.2	48.4	54.1	32.4	44.8	58.4	15.3
東条圏域	255	37.6	14.5	30.6	42.0	48.2	48.6	35.7	44.7	54.1	19.6

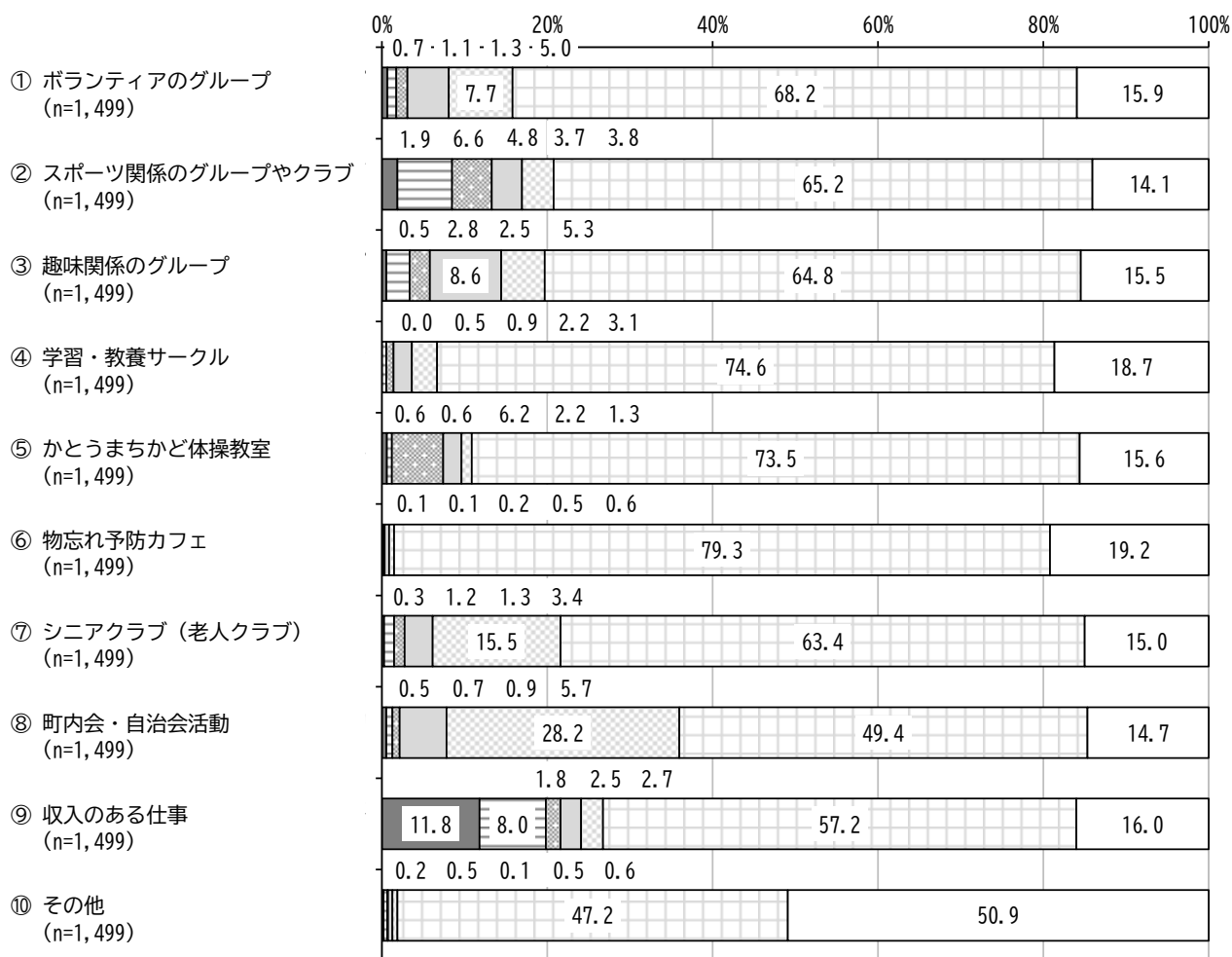
	合計(人)	他人から感謝された時	収入があつた時	若い世代と交流している時	その他	わからない	無回答
一般高齢者	1,055	30.4	21.4	17.2	2.7	0.3	0.7
要支援認定者・事業対象者	47	34.0	21.3	6.4	4.3	0.0	2.1
男性	476	30.5	22.1	15.5	2.9	0.4	0.4
女性	629	30.7	21.0	17.6	2.7	0.2	1.0
65～69歳	262	30.2	22.9	17.2	2.3	0.0	0.8
70～74歳	254	28.3	19.3	16.1	2.4	0.8	0.4
75～79歳	291	30.2	21.3	16.8	1.4	0.3	1.0
80～84歳	187	35.3	24.6	18.7	3.2	0.0	0.5
85歳以上	111	29.7	18.0	13.5	8.1	0.0	0.9
社圏域	566	32.5	20.8	16.4	3.7	0.2	1.1
滝野圏域	281	26.7	20.6	16.0	1.8	0.7	0.0
東条圏域	255	30.6	23.5	18.0	2.0	0.0	0.8

5. 地域での活動について

(1) 地域活動の参加状況

地域活動の参加状況について、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、「町内会・自治会活動」が 36.0%で最も高く、次いで「収入のある仕事」が 26.8%、「シニアクラブ(老人クラブ)」が 21.7%となっています。

【図表2-5-1 地域活動の参加状況】



■週4回以上 □週2～3回 □週1回 □月1～3回 □年に数回 □参加していない □無回答

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループについて、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、70～74 歳が 17.3%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 18.6%で最も高くなっています。

【図表2-4-2 ボランティアのグループ】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.7	1.1	1.3	5.0	7.8	68.3	15.8
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	1.4	1.4	5.6	6.9	66.7	18.1
男性	670	0.1	0.9	1.2	4.0	9.1	69.7	14.9
女性	829	1.1	1.2	1.4	5.8	6.6	67.1	16.8
65～69歳	365	0.5	0.8	1.6	3.8	8.8	71.8	12.6
70～74歳	352	0.3	1.4	1.4	6.8	7.4	68.5	14.2
75～79歳	373	0.5	0.8	0.5	6.2	7.0	67.3	17.7
80～84歳	242	1.2	1.2	1.2	3.7	9.5	64.5	18.6
85歳以上	167	1.2	1.2	2.4	3.0	5.4	67.7	19.2
社圏域	770	0.9	1.0	1.4	4.8	7.8	67.5	16.5
滝野圏域	381	0.0	1.0	1.0	5.2	5.8	73.0	13.9
東条圏域	345	0.9	1.2	1.4	5.2	9.9	64.6	16.8

② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブについて、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、80～84 歳が 21.8%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 22.0%で最も高くなっています。

【図表2-4-3 スポーツ関係のグループやクラブ】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	1.8	6.5	4.7	3.8	3.9	65.3	14.0
要支援認定者・事業対象者	72	4.2	5.6	6.9	1.4	1.4	63.9	16.7
男性	670	2.1	6.4	4.2	4.0	4.0	66.7	12.5
女性	829	1.7	6.8	5.3	3.4	3.6	63.9	15.3
65～69歳	365	0.5	6.3	4.9	3.3	4.4	69.3	11.2
70～74歳	352	1.7	6.5	4.0	4.8	4.0	65.9	13.1
75～79歳	373	2.4	4.3	7.0	4.3	3.5	63.5	15.0
80～84歳	242	3.7	7.4	2.9	3.7	4.1	62.0	16.1
85歳以上	167	1.2	11.4	4.2	0.6	2.4	62.9	17.4
社圏域	770	1.6	7.7	5.2	3.2	3.8	63.4	15.2
滝野圏域	381	1.3	6.3	3.7	3.4	3.1	71.4	10.8
東条圏域	345	3.2	4.1	5.2	4.9	4.6	62.6	15.4

③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループについて、『参加している』(「週4回以上」～「年に数回」の合計)では、年齢別にみると、75～79歳が22.5%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が22.7%で最も高くなっています。

【図表2-4-4 趣味関係のグループ】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.5	2.8	2.5	8.7	5.3	64.8	15.4
要支援認定者・事業対象者	72	1.4	1.4	2.8	6.9	4.2	66.7	16.7
男性	670	0.4	2.4	3.0	7.9	5.2	66.7	14.3
女性	829	0.6	3.1	2.1	9.2	5.3	63.3	16.4
65～69歳	365	0.8	0.8	2.7	7.7	6.3	68.8	12.9
70～74歳	352	0.6	4.3	1.7	8.5	5.4	65.1	14.5
75～79歳	373	0.3	2.4	2.9	10.7	6.2	62.5	15.0
80～84歳	242	0.4	3.7	1.7	7.0	3.7	63.2	20.2
85歳以上	167	0.6	3.6	3.6	8.4	3.0	63.5	17.4
社圏域	770	0.4	2.6	2.3	8.7	5.2	65.1	15.7
滝野圏域	381	0.3	3.1	2.6	7.3	4.5	68.8	13.4
東条圏域	345	1.2	2.6	2.6	9.9	6.4	60.3	17.1

④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルについて、『参加している』(「週4回以上」～「年に数回」の合計)では、年齢別にみると、65～69歳が7.2%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が7.5%で最も高くなっています。

【図表2-4-5 学習・教養サークル】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.0	0.5	0.9	2.2	2.9	74.9	18.6
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6	72.2	19.4
男性	670	0.0	0.4	0.9	1.3	1.9	77.6	17.8
女性	829	0.0	0.6	0.8	2.9	4.0	72.3	19.4
65～69歳	365	0.0	0.3	0.8	2.5	3.6	76.2	16.7
70～74歳	352	0.0	1.1	0.6	1.4	2.8	76.4	17.6
75～79歳	373	0.0	0.5	1.3	2.9	2.1	74.3	18.8
80～84歳	242	0.0	0.4	0.8	2.1	3.7	72.3	20.7
85歳以上	167	0.0	0.0	0.6	1.8	3.6	71.9	22.2
社圏域	770	0.0	0.6	0.5	2.3	4.0	73.9	18.6
滝野圏域	381	0.0	0.3	1.0	2.4	2.4	78.7	15.2
東条圏域	345	0.0	0.3	1.4	1.7	1.7	72.2	22.6

⑤ かとうまちかど体操教室

かとうまちかど体操教室について、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、85歳以上が16.8%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が15.3%で最も高くなっています。

【図表2-4-6 かとうまちかど体操教室】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.5	0.6	6.2	2.1	1.3	73.7	15.6
要支援認定者・事業対象者	72	2.8	0.0	6.9	4.2	1.4	69.4	15.3
男性	670	0.4	0.3	5.2	1.9	0.9	76.1	15.1
女性	829	0.7	0.8	7.0	2.4	1.6	71.4	16.0
65～69歳	365	0.3	0.3	5.2	1.6	1.1	77.8	13.7
70～74歳	352	0.3	0.6	5.4	1.1	0.9	77.0	14.8
75～79歳	373	0.3	0.3	7.8	3.2	1.1	71.3	16.1
80～84歳	242	1.2	1.2	5.0	2.1	2.1	70.2	18.2
85歳以上	167	1.8	1.2	8.4	3.6	1.8	66.5	16.8
社圏域	770	0.4	0.6	6.1	1.4	1.6	73.5	16.4
滝野圏域	381	0.8	0.8	4.7	1.8	0.3	79.5	12.1
東条圏域	345	0.9	0.3	8.1	4.3	1.7	67.0	17.7

⑥ 物忘れ予防カフェ

物忘れ予防カフェについて、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、65～69歳が2.1%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が1.9%で最も高くなっています。

【図表2-4-7 物忘れ予防カフェ】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.1	0.1	0.2	0.6	0.6	79.3	19.2
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.6	19.4
男性	670	0.0	0.0	0.1	0.9	0.6	80.7	17.6
女性	829	0.1	0.1	0.2	0.2	0.6	78.2	20.5
65～69歳	365	0.0	0.0	0.5	0.8	0.8	80.3	17.5
70～74歳	352	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	82.4	17.0
75～79歳	373	0.3	0.0	0.0	0.5	0.8	78.6	19.8
80～84歳	242	0.0	0.4	0.0	0.8	0.8	76.0	21.9
85歳以上	167	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	77.2	22.2
社圏域	770	0.1	0.0	0.1	0.9	0.8	78.7	19.4
滝野圏域	381	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	83.5	15.7
東条圏域	345	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	76.2	22.6

⑦ シニアクラブ(老人クラブ)

シニアクラブ(老人クラブ)について、『参加している』(「週4回以上」～「年に数回」の合計)では、年齢別にみると、80～84 歳が 25.2%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 27.3%で最も高くなっています。

【図表2-4-8 シニアクラブ(老人クラブ)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.3	1.3	1.3	3.3	15.5	63.6	14.8
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	0.0	1.4	5.6	15.3	59.7	18.1
男性	670	0.3	1.0	1.2	3.9	16.0	64.2	13.4
女性	829	0.2	1.3	1.3	3.0	15.1	62.7	16.3
65～69歳	365	0.3	1.1	1.9	2.2	13.7	67.7	13.2
70～74歳	352	0.3	2.3	1.1	3.7	14.5	65.3	12.8
75～79歳	373	0.3	0.0	1.1	2.9	16.4	64.6	14.7
80～84歳	242	0.0	1.2	0.8	5.8	17.4	55.0	19.8
85歳以上	167	0.6	1.8	1.2	3.0	16.8	59.3	17.4
社圏域	770	0.1	1.6	1.2	3.1	16.5	62.3	15.2
滝野圏域	381	0.8	1.0	0.5	3.4	9.2	72.4	12.6
東条圏域	345	0.0	0.6	2.3	4.1	20.3	55.7	17.1

⑧ 町内会・自治会活動

町内会・自治会活動について、『参加している』(「週4回以上」～「年に数回」の合計)では、年齢別にみると、65～69 歳が 39.4%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 38.3%で最も高くなっています。

【図表2-4-9 町内会・自治会活動】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
一般高齢者	1,424	0.6	0.8	0.9	5.8	28.4	49.1	14.5
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	0.0	0.0	4.2	23.6	54.2	18.1
男性	670	0.9	1.2	0.9	6.1	31.0	46.6	13.3
女性	829	0.2	0.4	0.8	5.3	25.8	51.6	15.8
65～69歳	365	0.8	1.1	1.6	6.3	29.6	49.9	10.7
70～74歳	352	0.6	1.1	1.4	5.4	27.8	50.9	12.8
75～79歳	373	0.0	0.5	0.3	5.9	28.4	49.3	15.5
80～84歳	242	0.4	0.4	0.0	5.4	28.5	45.0	20.2
85歳以上	167	1.2	0.0	0.6	4.8	24.6	51.5	17.4
社圏域	770	0.6	0.9	0.8	7.0	28.3	48.1	14.3
滝野圏域	381	0.5	0.3	0.5	4.7	24.7	55.9	13.4
東条圏域	345	0.3	0.9	1.4	3.8	31.9	44.9	16.8

⑨ 収入のある仕事

収入のある仕事について、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、70～74 歳が 31.0%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 31.8%で最も高くなっています。

【図表2-4-10 収入のある仕事】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計（人）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
一般高齢者	1,424	12.1	8.1	1.6	2.5	2.7	57.1	15.9
要支援認定者・事業対象者	72	6.9	5.6	4.2	1.4	1.4	62.5	18.1
男性	670	13.0	7.3	1.3	2.8	2.8	57.8	14.9
女性	829	10.9	8.6	2.2	2.2	2.5	56.8	16.9
65～69歳	365	14.8	5.5	2.2	2.2	3.0	58.9	13.4
70～74歳	352	13.9	9.4	2.6	2.8	2.3	54.3	14.8
75～79歳	373	7.8	11.3	0.8	1.9	3.2	60.3	14.7
80～84歳	242	11.2	5.0	1.2	2.5	2.5	56.2	21.5
85歳以上	167	10.8	7.8	2.4	3.6	1.8	54.5	19.2
社圏域	770	10.8	7.4	1.6	3.0	3.4	57.4	16.5
滝野圏域	381	11.3	7.1	0.8	1.8	2.1	63.8	13.1
東条圏域	345	14.8	10.1	3.2	2.0	1.7	50.1	18.0

⑩ その他

その他について、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の合計）では、年齢別にみると、75～79 歳と 85 歳以上が 2.4%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 2.4%で最も高くなっています。

【図表2-4-11 その他】

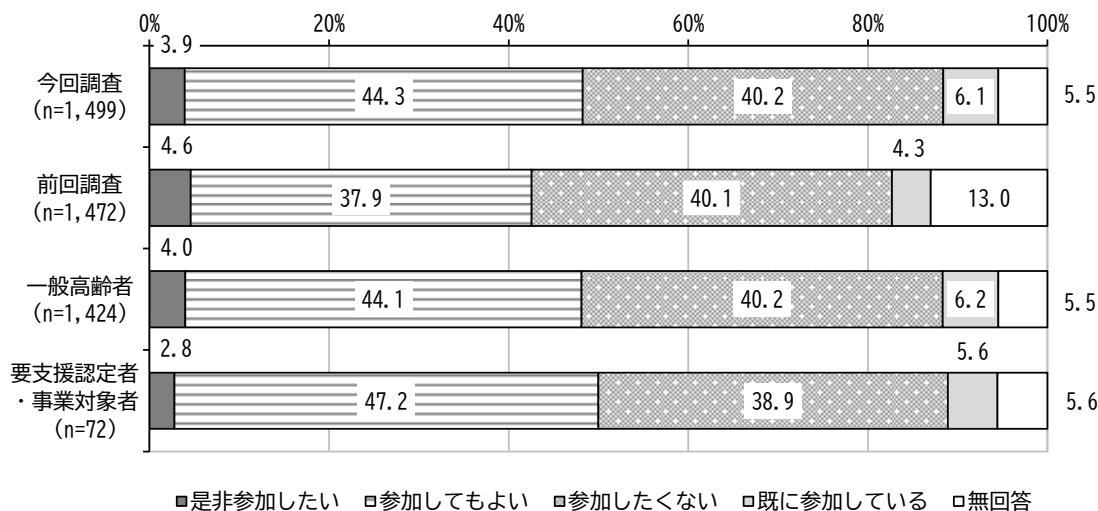
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計（人）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
一般高齢者	1,424	0.2	0.5	0.1	0.5	0.4	47.6	50.7
要支援認定者・事業対象者	72	0.0	0.0	0.0	1.4	4.2	41.7	52.8
男性	670	0.1	0.3	0.0	0.7	0.7	45.8	52.2
女性	829	0.2	0.6	0.1	0.4	0.5	48.4	49.8
65～69歳	365	0.0	0.3	0.0	1.1	0.8	51.5	46.3
70～74歳	352	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0	46.6	52.0
75～79歳	373	0.5	1.1	0.0	0.3	0.5	46.9	50.7
80～84歳	242	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	44.2	55.0
85歳以上	167	0.0	0.0	0.0	0.6	1.8	44.3	53.3
社圏域	770	0.4	0.6	0.0	0.6	0.5	47.5	50.3
滝野圏域	381	0.0	0.5	0.3	0.8	0.8	50.7	47.0
東条圏域	345	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	43.2	56.2

(2) 参加者として地域づくりに参加したいか

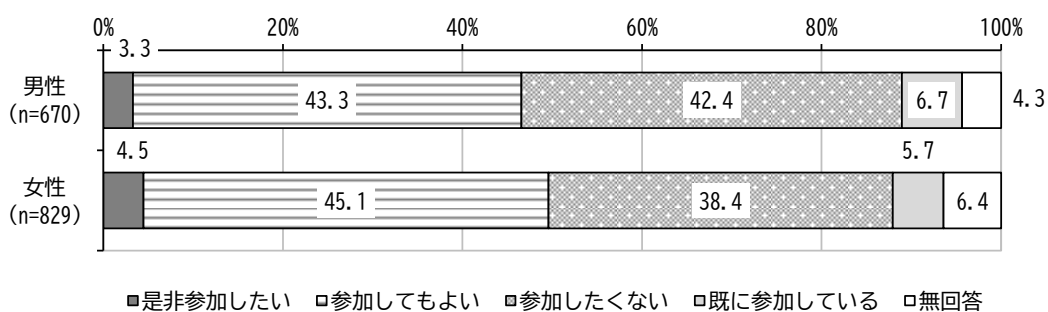
参加者として地域づくりに参加したいかについて、「参加してもよい」が 44.3%で最も高く、次いで「参加したくない」が 40.2%、「既に参加している」が 6.1%となっています。また、前回調査と比較して「参加してもよい」が 6.4 ポイント増加しています。

【図表2-5-12 参加者として地域づくりに参加したいか】



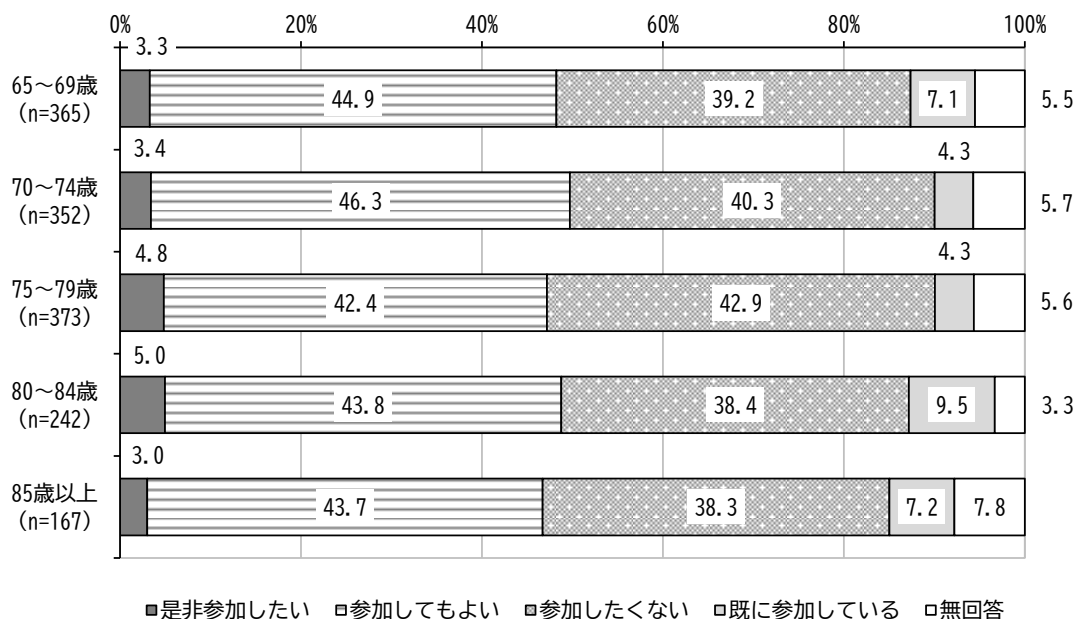
性別にみると、「参加してもよい」について、男性では 43.3%、女性では 45.1%となっており、女性のほうが 1.8 ポイント高くなっています。

【図表2-5-13 参加者として地域づくりに参加したいか(性別)】



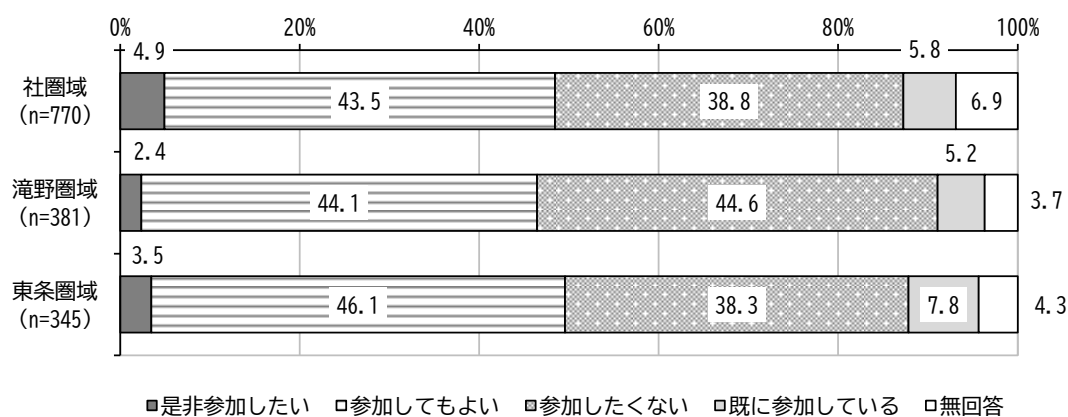
年齢別にみると、「是非参加したい」では、80～84 歳が 5.0%で最も高くなっています。

【図表2－5－14 参加者として地域づくりに参加したいか(年齢別)】



圏域別にみると、「是非参加したい」では、社圏域が 4.9%で最も高くなっています。

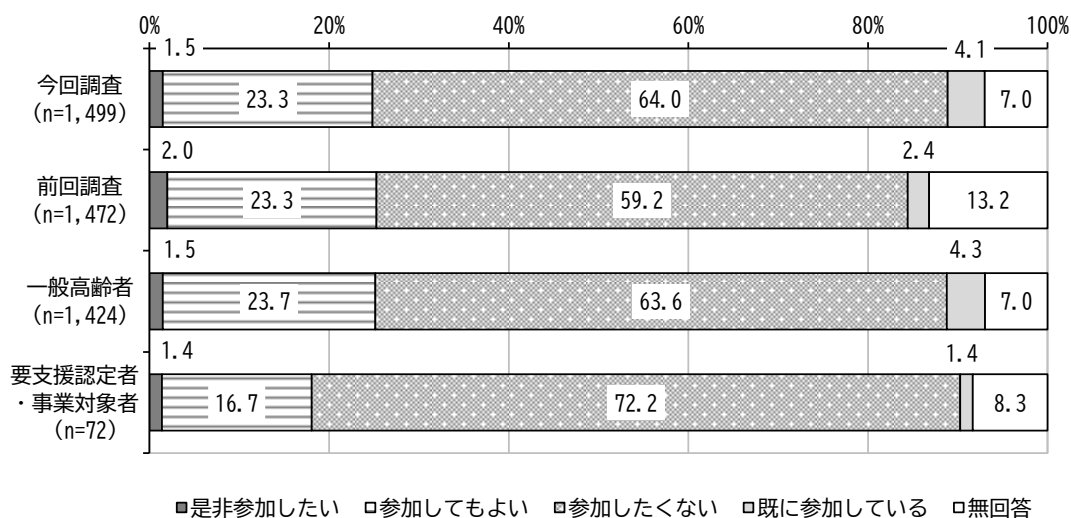
【図表2－5－15 参加者として地域づくりに参加したいか(圏域別)】



(3) 企画・運営として地域づくりに参加したいか

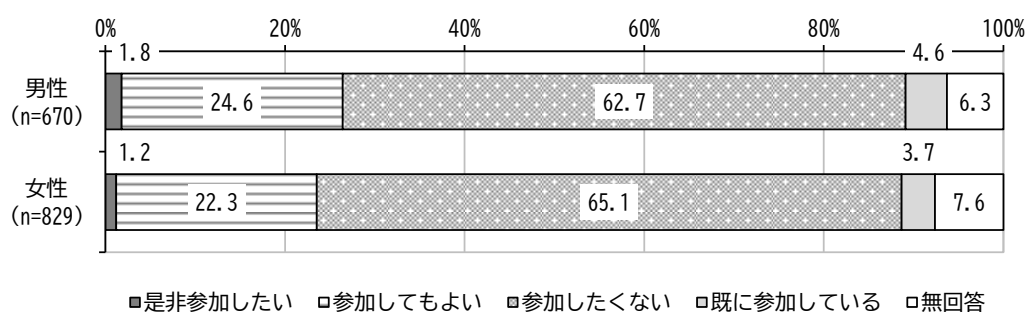
企画・運営として地域づくりに参加したいかについて、「参加したくない」が64.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が23.3%、「既に参加している」が4.1%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が4.8ポイント増加しています。

【図表2-5-16 企画・運営として地域づくりに参加したいか】



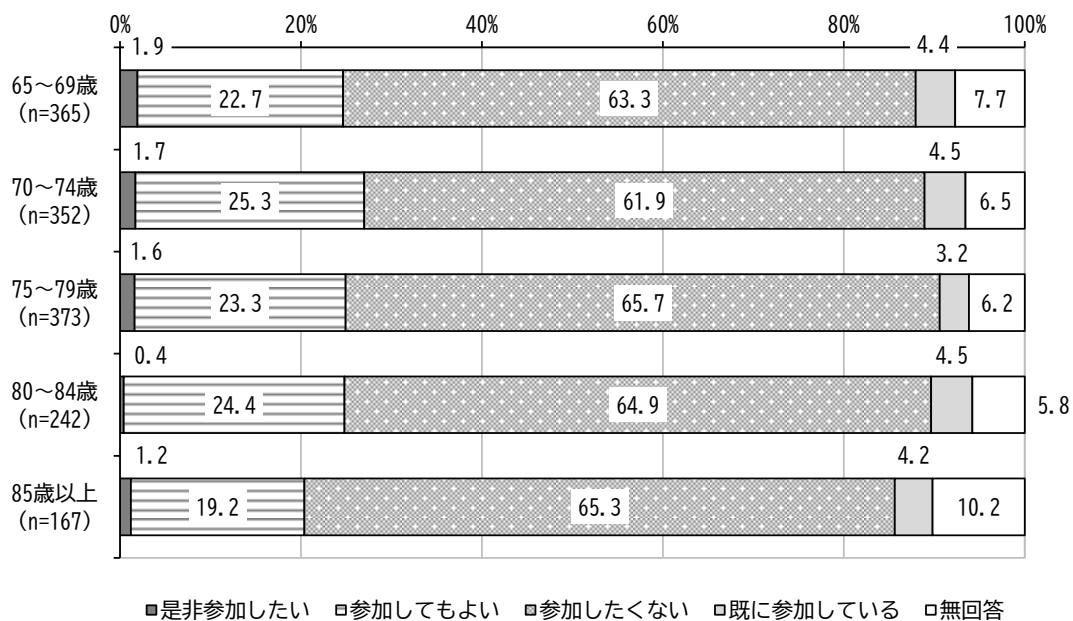
性別にみると、「参加してもよい」について、男性では24.6%、女性では22.3%となっており、男性のほうが2.3ポイント高くなっています。

【図表2-5-17 企画・運営として地域づくりに参加したいか(性別)】



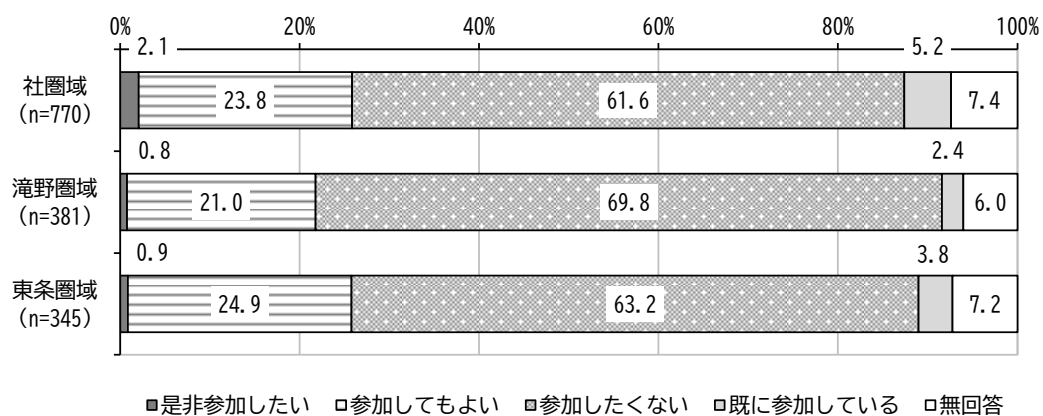
年齢別にみると、「参加してもよい」では、70～74 歳が 25.3%で最も高くなっています。

【図表2-5-18 企画・運営として地域づくりに参加したいか(年齢別)】



圏域別にみると、「参加してもよい」では、東条圏域が 24.9%で最も高くなっています。

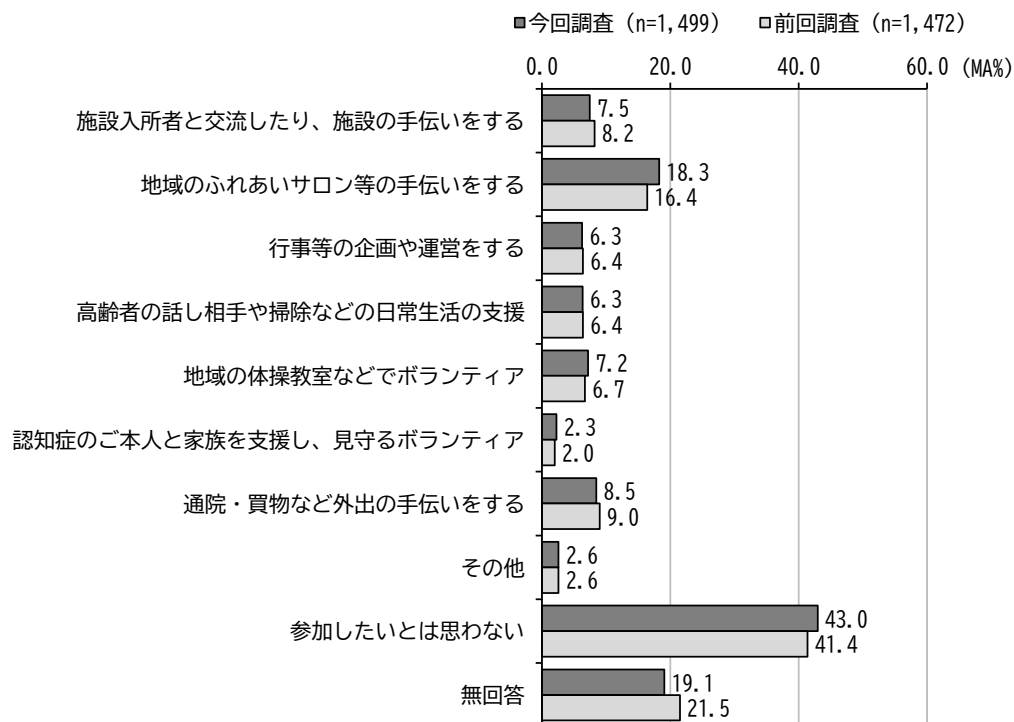
【図表2-5-19 企画・運営として地域づくりに参加したいか(圏域別)】



(4) 参加したいと思うボランティア

参加したいと思うボランティアについて、「参加したいとは思わない」が 43.0%で最も高く、次いで「地域のふれあいサロン等の手伝いをする」が 18.3%、「通院・買物など外出の手伝いをする」が 8.5%となっています。また、前回調査と比較して「参加したいとは思わない」が 1.6 ポイント増加しています。

【図表2-5-20 参加したいと思うボランティア】



「地域のふれあいサロン等の手伝いをする」では、年齢別にみると、70～74 歳が 20.7%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が 21.0%で最も高くなっています。

【図表2－5－21 参加したいと思うボランティア(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	施設入所者と交流したり、 施設の手伝いをする	地域のふれあいサロン等の 手伝いをする	行事等の企画や運営をする	高齢者の話し相手や掃除な どの日常生活の支援	地域の体操教室などでボラ ンティア	認知症のご本人と家族を支 援し、見守るボランティア	通院・買物など外出の手伝 いをする	その他	参加したいとは思わない	無回答
一般高齢者	1,424	7.4	18.5	6.4	6.4	7.0	2.2	8.6	2.6	42.6	19.3
要支援認定者・事業対象者	72	9.7	12.5	4.2	5.6	11.1	2.8	5.6	2.8	50.0	15.3
男性	670	7.0	17.3	8.7	6.4	7.5	2.1	7.9	2.2	44.9	17.3
女性	829	7.8	19.1	4.3	6.3	7.0	2.4	8.9	2.9	41.4	20.5
65～69歳	365	7.1	18.9	6.8	6.0	6.8	1.6	7.7	3.0	45.2	15.6
70～74歳	352	8.2	20.7	5.4	7.1	6.5	2.3	12.2	3.1	38.6	19.0
75～79歳	373	7.2	17.4	6.4	7.5	7.8	2.4	8.8	1.6	44.2	19.6
80～84歳	242	9.5	20.2	7.9	5.8	5.8	2.9	5.8	2.9	39.3	22.7
85歳以上	167	4.2	10.8	4.2	3.6	10.2	2.4	5.4	2.4	49.7	20.4
社圏域	770	7.3	21.0	6.5	5.8	7.8	1.9	8.2	2.5	40.8	20.3
滝野圏域	381	6.8	16.5	4.7	6.8	7.1	2.6	8.1	2.9	46.2	16.3
東条圏域	345	8.7	13.6	7.5	7.0	6.1	2.6	9.6	2.6	44.3	19.7

また、参加したいとは思わない理由について、カテゴリーに分類したところ、『体調不良・病気・体の不自由』が132件で最も多く、次いで『高齢』が78件、『仕事・家事で時間がない』が47件となっています。

【図表2-5-22 参加したいとは思わない理由】

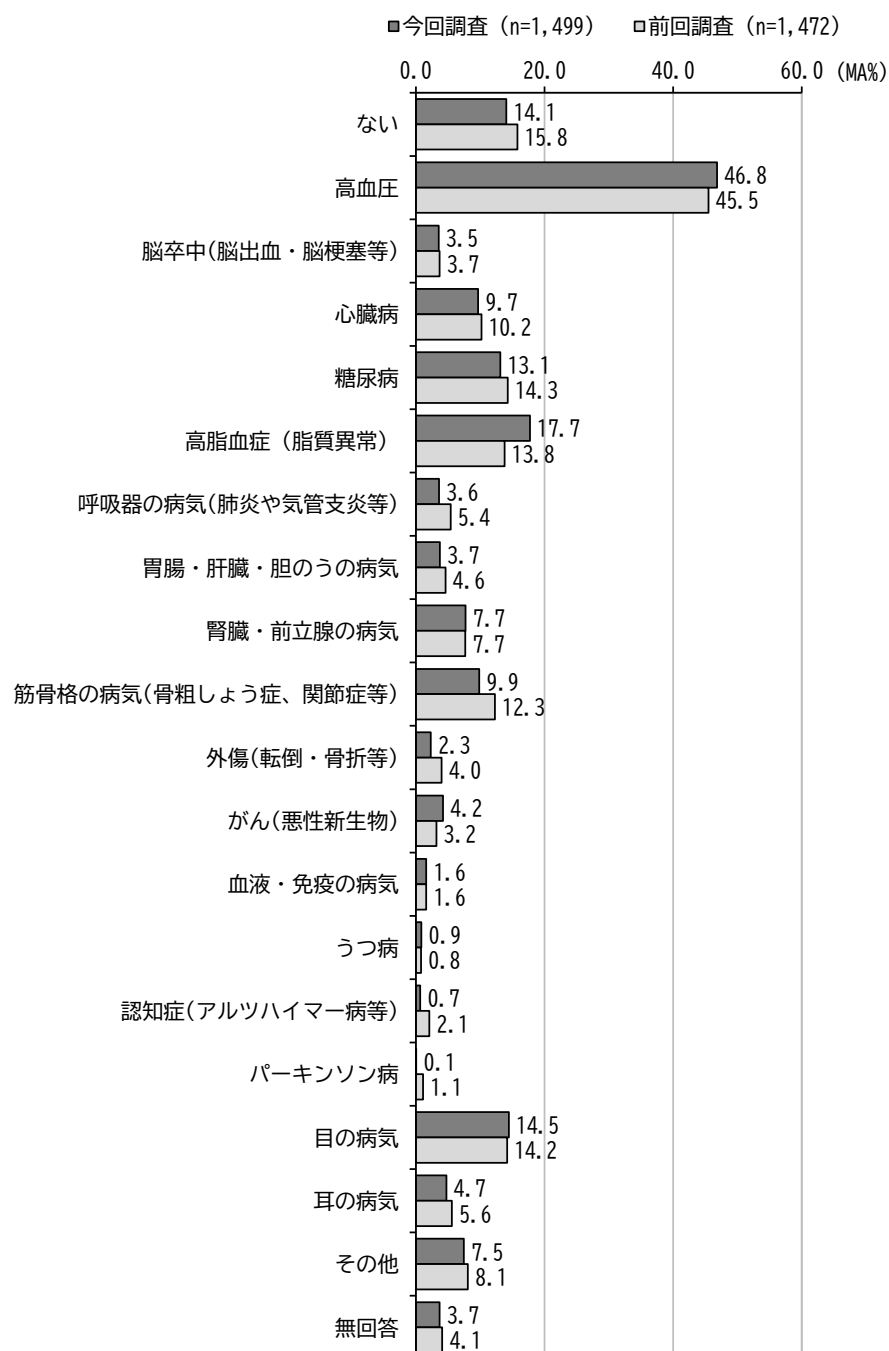
分類	内容
体調不良・病気・体の不自由（132件）	歩行困難
	腰痛・膝痛
	透析
	がん治療
	難聴・耳が聞こえにくい
	体力・気力がない など
高齢（78件）	高齢だから
	年齢的に無理 など
仕事・家事で時間がない（47件）	仕事が忙しい
	家事で手一杯
	農作業がある
	休みが少ない など
家族の介護で余裕がない（33件）	妻・夫・親の介護
	家族の世話 など
自分の生活・趣味を優先したい（31件）	自分の時間を大切にしたい
	趣味を優先したい
	自分のことで精一杯 など
人間関係が苦手・面倒（29件）	人付き合いが苦手
	人見知り
	人間関係が煩わしい など
面倒・やる気がない（27件）	面倒
	気が向かない
	やる気が出ない など
別の活動をしている・過去にやった（18件）	以前ボランティアをしていた
	別の活動をしている など
精神的な問題（11件）	精神病
	不安が強い など
参加方法がわからない（10件）	どうやって参加するかわからない
	経験がない など
その他（9件）	参加して嫌な思いをした
	入院中 など

6. 健康について

(1) 現在治療中、または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 46.8%で最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が 17.7%、「目の病気」が 14.5%となっています。また、前回調査と比較して「高血圧」が 1.3 ポイント増加しています。

【図表2-8-1 現在治療中、または後遺症のある病気】



「高血圧」では、年齢別にみると、80～84歳が52.5%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が48.3%で最も高くなっています。

【図表2-8-2 現在治療中、または後遺症のある病気(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

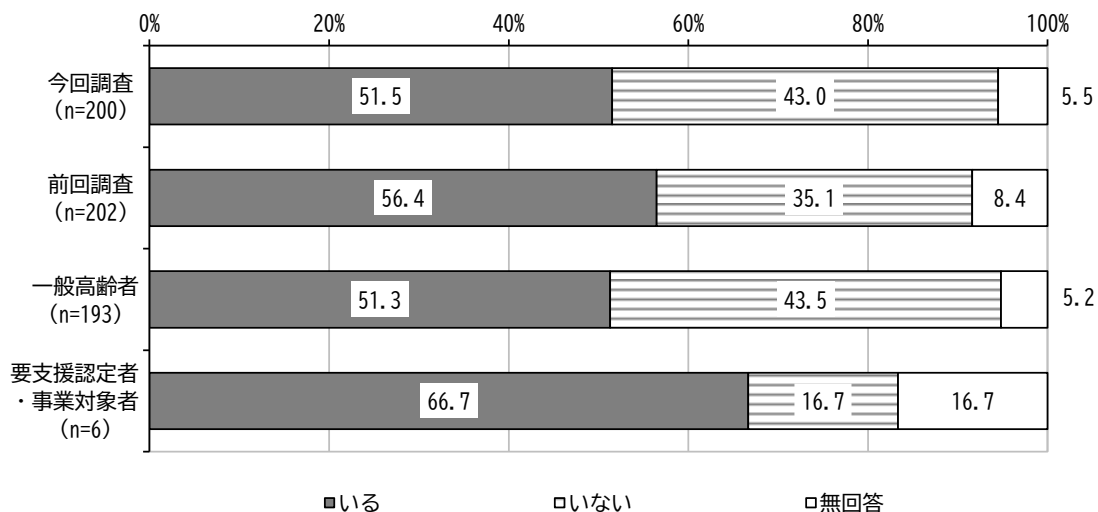
	合計(人)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
一般高齢者	1,424	14.4	46.8	3.5	9.6	13.5	18.1	3.5	3.8	7.8	9.9
要支援認定者・事業対象者	72	6.9	50.0	4.2	12.5	6.9	9.7	4.2	2.8	6.9	9.7
男性	670	13.6	47.0	3.7	10.3	14.9	16.4	4.0	3.7	9.7	8.2
女性	829	14.5	46.7	3.4	9.2	11.7	18.8	3.3	3.7	6.2	11.2
65～69歳	365	14.5	41.4	1.6	11.2	12.3	18.1	3.8	2.5	6.0	8.2
70～74歳	352	15.9	44.9	4.5	9.1	15.9	19.3	2.8	3.7	7.7	8.2
75～79歳	373	12.6	48.0	4.8	10.5	14.5	18.5	3.8	4.6	9.7	11.0
80～84歳	242	14.9	52.5	3.3	7.0	10.3	14.0	5.0	5.4	9.1	12.8
85歳以上	167	11.4	52.1	3.0	9.6	10.2	17.4	2.4	2.4	5.4	10.2
社圏域	770	12.3	48.3	3.8	10.4	11.8	18.1	4.2	4.3	8.6	10.1
滝野圏域	381	14.7	45.7	3.7	9.7	15.0	17.8	3.1	3.4	6.0	10.8
東条圏域	345	17.1	45.2	2.9	8.1	14.2	16.8	2.6	2.9	7.8	8.4

	合計(人)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
一般高齢者	1,424	2.1	4.1	1.6	0.7	0.6	0.1	14.3	4.6	7.4	3.7
要支援認定者・事業対象者	72	5.6	6.9	1.4	4.2	1.4	0.0	19.4	8.3	9.7	2.8
男性	670	1.5	5.4	1.2	1.2	1.0	0.1	13.0	2.8	7.3	3.6
女性	829	3.0	3.3	1.9	0.6	0.4	0.0	15.7	6.3	7.6	3.7
65～69歳	365	3.3	4.4	1.4	1.4	0.5	0.0	14.2	4.7	7.4	4.4
70～74歳	352	1.7	4.8	1.7	0.0	0.3	0.3	13.6	3.1	6.3	4.0
75～79歳	373	2.4	4.6	2.1	0.8	0.8	0.0	16.1	4.6	8.6	2.9
80～84歳	242	1.7	4.5	1.2	0.4	0.8	0.0	14.5	5.0	7.0	3.3
85歳以上	167	2.4	1.2	1.2	2.4	1.2	0.0	13.2	8.4	8.4	3.6
社圏域	770	2.5	4.3	2.5	1.4	0.8	0.1	14.0	4.7	7.1	4.4
滝野圏域	381	2.6	5.2	1.0	0.3	0.5	0.0	17.3	5.8	7.3	3.1
東条圏域	345	1.4	2.9	0.3	0.3	0.6	0.0	12.5	3.8	8.4	2.6

(2) かかりつけ医師はいるか

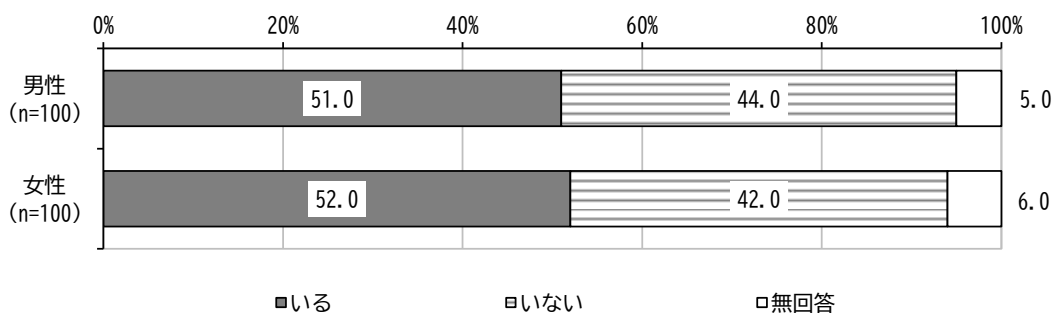
かかりつけ医師はいるかについて、「いる」が 51.5%、「いない」が 43.0%となっています。また、前回調査と比較して「いる」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表2-8-7 かかりつけ医師はいるか】



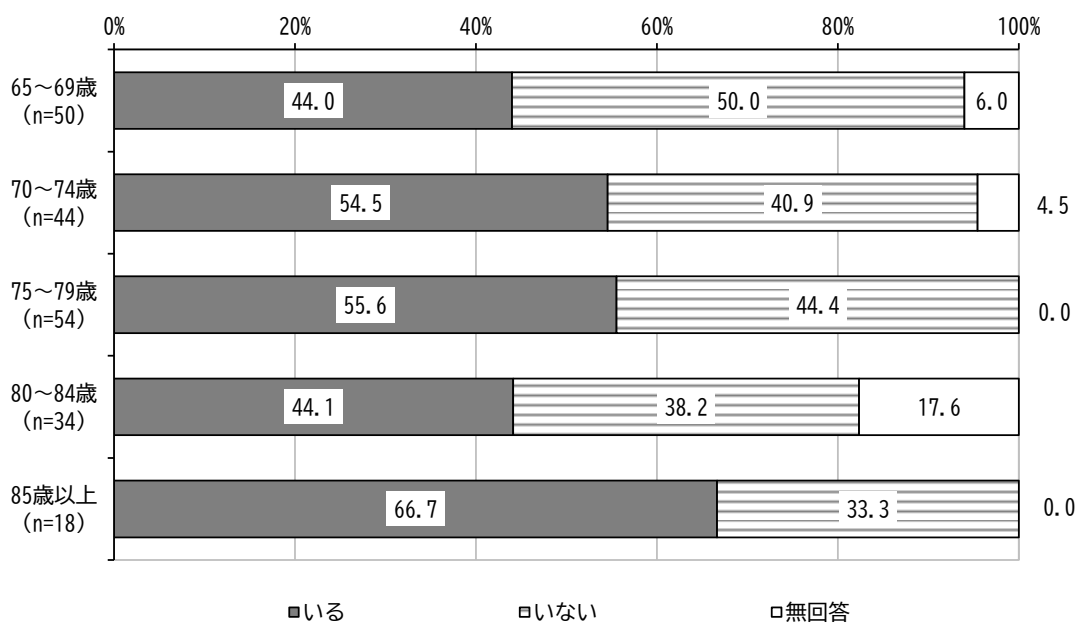
性別にみると、「いる」について、男性では 51.0%、女性では 52.0%となっており、女性のほうが 1.0 ポイント高くなっています。

【図表2-8-8 かかりつけ医師はいるか(性別)】



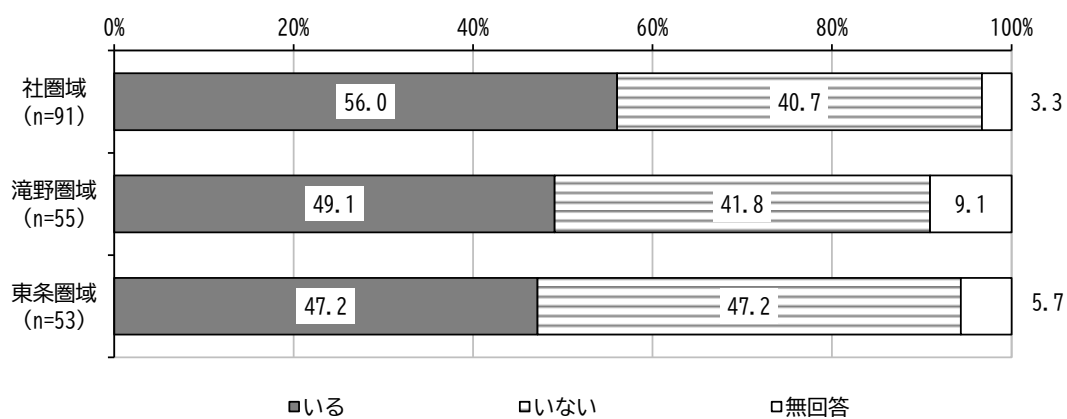
年齢別にみると、「いる」では、85 歳以上が 66.7%で最も高くなっています。

【図表2-8-9 かかりつけ医師はいるか(年齢別)】



圏域別にみると、「いる」では、社圏域が 56.0%で最も高くなっています。

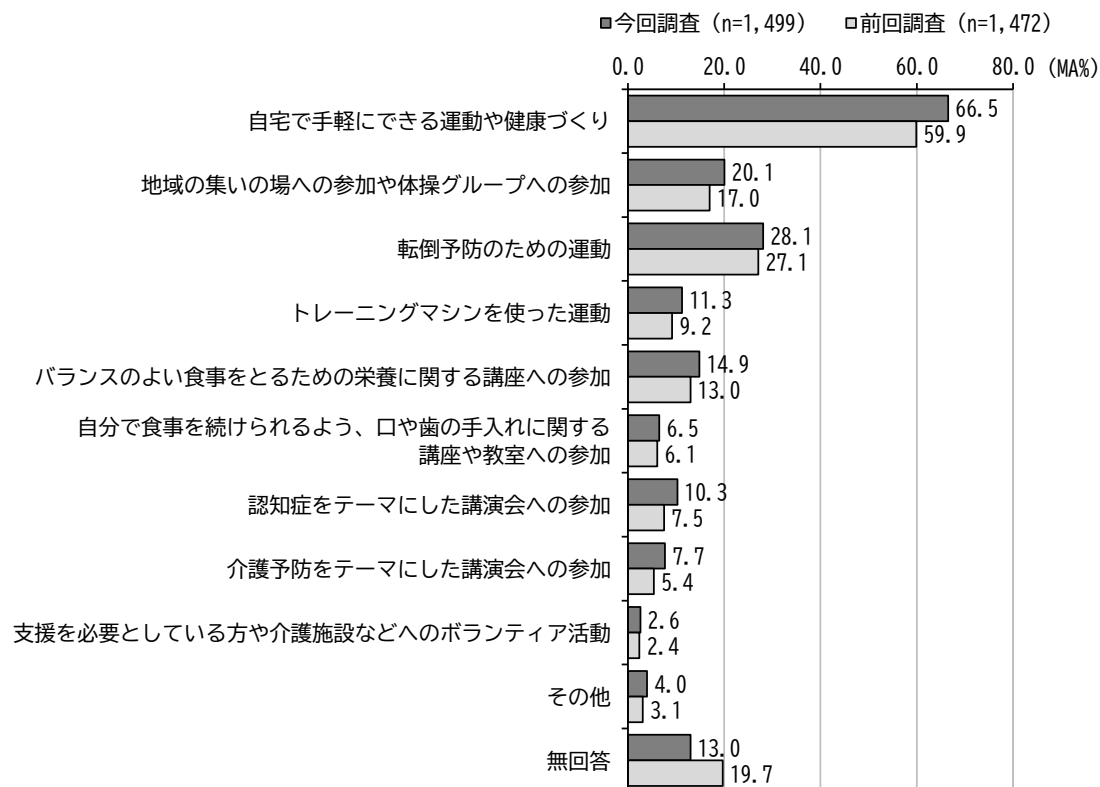
【図表2-8-10 かかりつけ医師はいるか(圏域別)】



(3) 取り組みたい介護予防

取り組みたい介護予防について、「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」が 66.5%で最も高く、次いで「転倒予防のための運動」が 28.1%、「地域の集いの場への参加や体操グループへの参加」が 20.1%となっています。また、前回調査と比較して「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」が 6.6 ポイント増加しています。

【図表2-8-11 取り組みたい介護予防】



「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」では、年齢別にみると、65～69 歳が 72.3%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が66.8%で最も高くなっています。

【図表2－8－12 取り組みたい介護予防(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

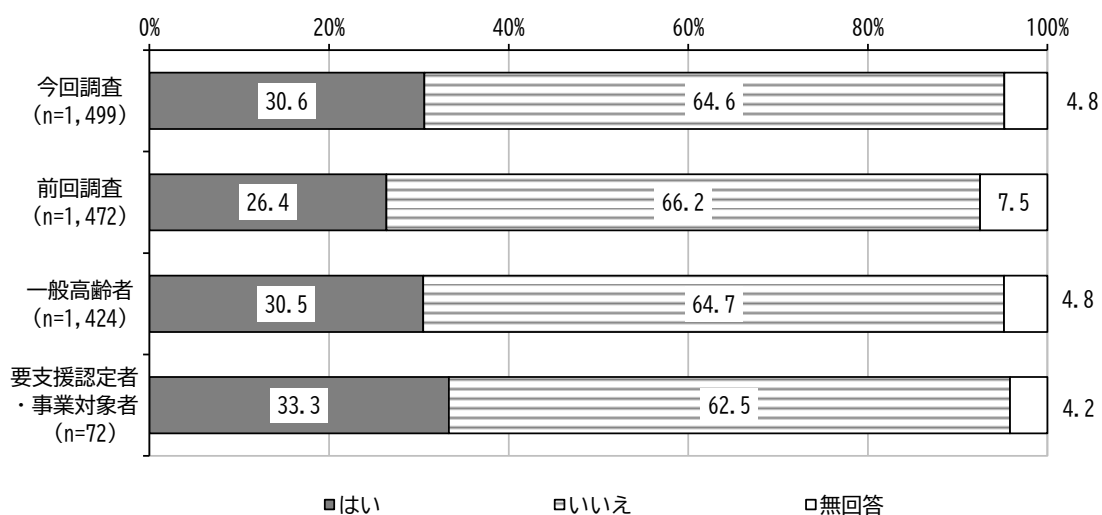
	合計（人）	健康づくり 自宅で手軽にできる運動や	地域の集いの場への参加や 体操グループへの参加	転倒予防のための運動	トレーニングマシンを使う 運動	バランスのよい食事をする ための栄養に関する講座への 参加	自分で食事を続けられるよ う、口や歯の手入れに関する 講座や教室への参加	認知症をテーマにした講演 会への参加	介護予防をテーマにした講 演会への参加	介護施設などへ必要としている方 やボランティア活動	その他	無回答
一般高齢者	1,424	66.4	19.9	28.1	11.4	14.9	6.6	10.5	7.7	2.6	4.0	13.5
要支援認定者・事業対象者	72	69.4	25.0	27.8	9.7	15.3	5.6	5.6	8.3	2.8	4.2	4.2
男性	670	67.2	18.7	27.2	11.6	14.8	7.3	10.4	7.5	1.8	4.3	12.4
女性	829	66.0	21.2	28.8	11.0	15.0	5.9	10.1	7.8	3.3	3.7	13.5
65～69歳	365	72.3	20.3	31.5	11.8	15.3	6.8	9.9	7.4	2.7	2.2	9.3
70～74歳	352	65.1	21.0	26.1	9.9	14.8	7.1	11.6	7.7	2.6	3.4	14.2
75～79歳	373	63.8	19.0	29.0	15.0	14.2	6.7	12.6	8.0	2.9	5.1	14.5
80～84歳	242	65.3	19.0	27.3	9.9	16.1	6.6	7.4	9.1	2.5	3.7	14.9
85歳以上	167	64.7	21.6	24.0	6.6	13.8	4.2	7.2	5.4	1.8	7.2	12.6
社圏域	770	66.8	20.5	27.9	12.2	14.4	7.0	9.5	7.1	2.9	3.4	14.4
滝野圏域	381	66.7	17.8	31.2	10.8	16.3	6.6	10.5	7.6	2.1	5.0	9.7
東条圏域	345	65.8	21.7	24.9	9.9	14.5	5.5	11.9	9.0	2.6	4.3	13.6

7. 認知症について

(1) 認知症に関する相談窓口を知っているか

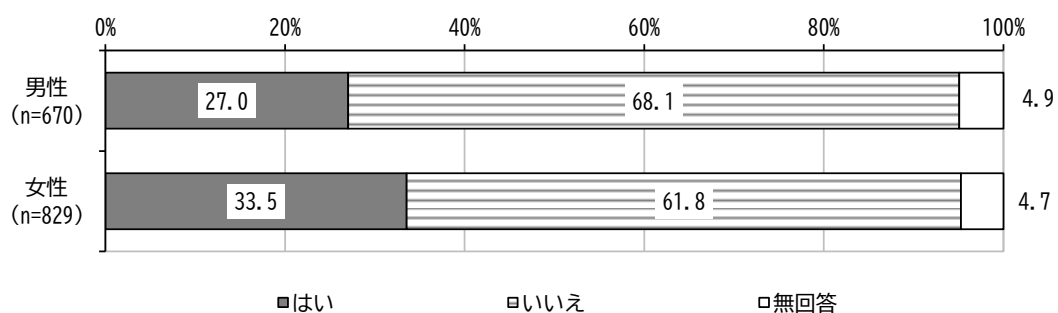
認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が30.6%、「いいえ」が64.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が4.2ポイント増加しています。

【図表2-9-5 認知症に関する相談窓口を知っているか】



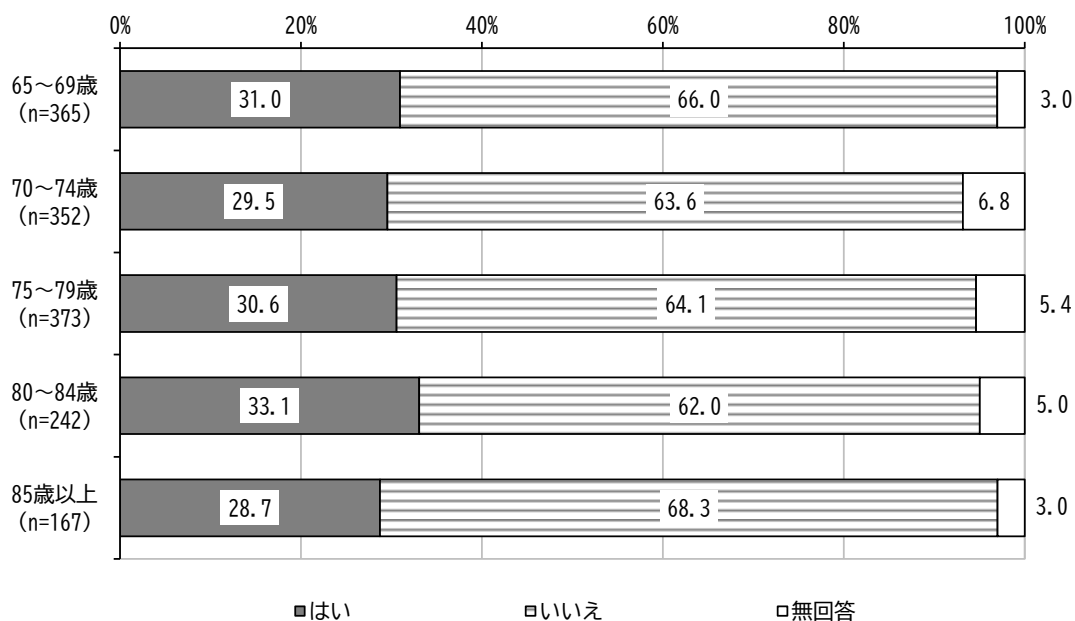
性別にみると、「はい」について、男性では27.0%、女性では33.5%となっており、女性のほうが6.5ポイント高くなっています。

【図表2-9-6 認知症に関する相談窓口を知っているか(性別)】



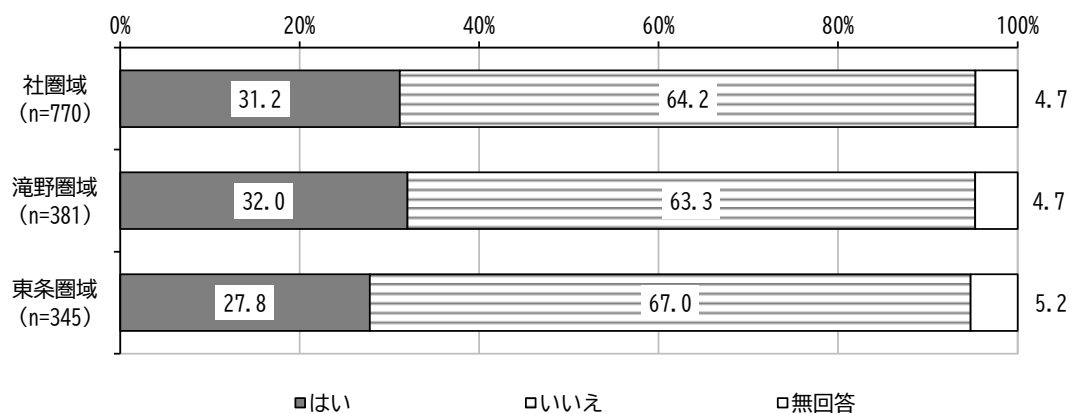
年齢別にみると、「はい」では、80～84 歳が 33.1%で最も高くなっています。

【図表2－9－7 認知症に関する相談窓口を知っているか(年齢別)】



圏域別にみると、「はい」では、滝野圏域が 32.0%で最も高くなっています。

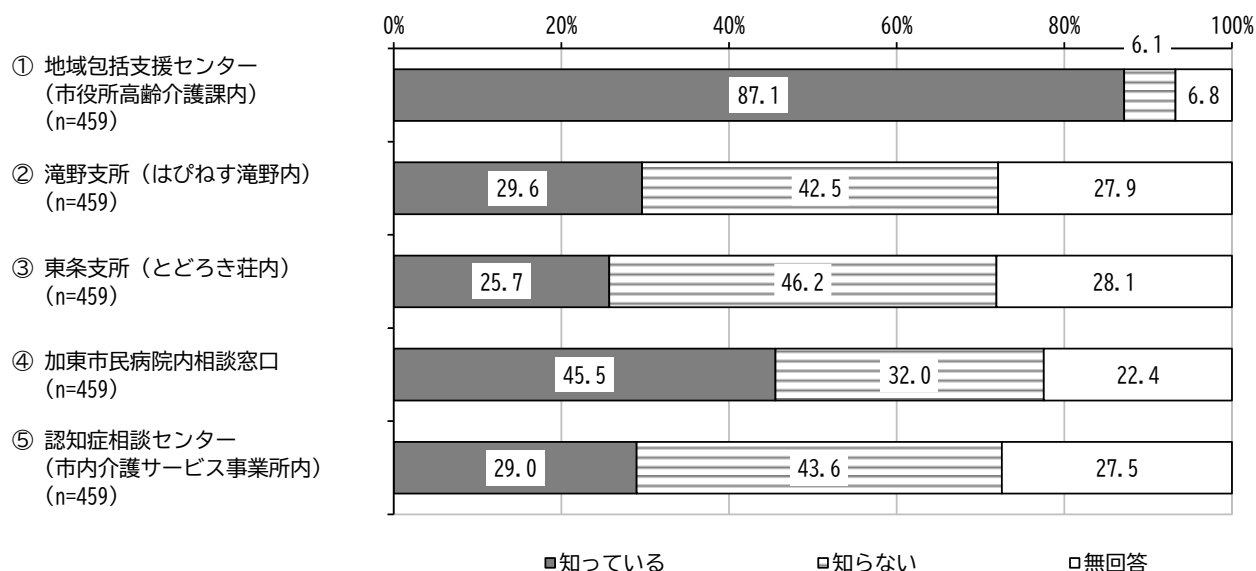
【図表2－9－8 認知症に関する相談窓口を知っているか(圏域別)】



(2) 市内の相談窓口の認知状況

市内の相談窓口の認知状況について、「知っている」では、「地域包括支援センター(市役所高齢介護課内)」が 87.1%で最も高く、次いで「加東市民病院内相談窓口」が 45.5%、「滝野支所(はびねす滝野内)」が 29.6%となっています。

【図表2-9-9 市内の相談窓口の認知状況】



① 地域包括支援センター(市役所高齢介護課内)

地域包括支援センター(市役所高齢介護課内)について、「知っている」では、年齢別にみると、80～84 歳が 90.0%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が 87.9%で最も高くなっています。

【図表2-9-10 地域包括支援センター(市役所高齢介護課内)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
一般高齢者	434	87.6	5.8	6.7
要支援認定者・事業対象者	24	79.2	12.5	8.3
男性	181	90.1	6.6	3.3
女性	278	85.3	5.8	9.0
65～69歳	113	85.8	8.0	6.2
70～74歳	104	84.6	7.7	7.7
75～79歳	114	89.5	4.4	6.1
80～84歳	80	90.0	1.3	8.8
85歳以上	48	85.4	10.4	4.2
社圏域	240	87.9	4.6	7.5
滝野圏域	122	85.2	7.4	7.4
東条圏域	96	87.5	8.3	4.2

② 滝野支所(はびねす滝野内)

滝野支所(はびねす滝野内)について、「知っている」では、年齢別にみると、80～84 歳が 33.8%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 54.1%で最も高くなっています。

【図表2-9-11 滝野支所(はびねす滝野内)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
一般高齢者	434	29.3	43.3	27.4
要支援認定者・事業対象者	24	37.5	29.2	33.3
男性	181	29.8	47.5	22.7
女性	278	29.5	39.2	31.3
65～69歳	113	26.5	46.9	26.5
70～74歳	104	32.7	44.2	23.1
75～79歳	114	28.9	44.7	26.3
80～84歳	80	33.8	28.8	37.5
85歳以上	48	25.0	45.8	29.2
社圏域	240	20.4	48.8	30.8
滝野圏域	122	54.1	27.0	18.9
東条圏域	96	21.9	46.9	31.3

③ 東条支所(とどろき荘内)

東条支所(とどろき荘内)について、「知っている」では、年齢別にみると、70～74 歳が 31.7%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 57.3%で最も高くなっています。

【図表2-9-12 東条支所(とどろき荘内)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
一般高齢者	434	25.6	46.5	27.9
要支援認定者・事業対象者	24	29.2	41.7	29.2
男性	181	26.0	50.8	23.2
女性	278	25.5	43.2	31.3
65～69歳	113	23.0	50.4	26.5
70～74歳	104	31.7	46.2	22.1
75～79歳	114	22.8	50.9	26.3
80～84歳	80	26.3	31.3	42.5
85歳以上	48	25.0	50.0	25.0
社圏域	240	16.7	50.8	32.5
滝野圏域	122	18.9	52.5	28.7
東条圏域	96	57.3	27.1	15.6

④ 加東市民病院内相談窓口

加東市民病院内相談窓口について、「知っている」では、年齢別にみると、75～79 歳が 50.0%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 48.4%で最も高くなっています。

【図表2-9-13 加東市民病院内相談窓口】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
一般高齢者	434	45.4	32.5	22.1
要支援認定者・事業対象者	24	45.8	25.0	29.2
男性	181	45.3	34.3	20.4
女性	278	45.7	30.6	23.7
65～69歳	113	44.2	33.6	22.1
70～74歳	104	48.1	36.5	15.4
75～79歳	114	50.0	26.3	23.7
80～84歳	80	40.0	27.5	32.5
85歳以上	48	41.7	39.6	18.8
社圏域	240	47.5	30.4	22.1
滝野圏域	122	48.4	31.1	20.5
東条圏域	96	36.5	37.5	26.0

⑤ 認知症相談センター(市内介護サービス事業所内)

認知症相談センター(市内介護サービス事業所内)について、「知っている」では、年齢別にみると、70～74 歳が 35.6%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 36.5%で最も高くなっています。

【図表2-9-14 認知症相談センター(市内介護サービス事業所内)】

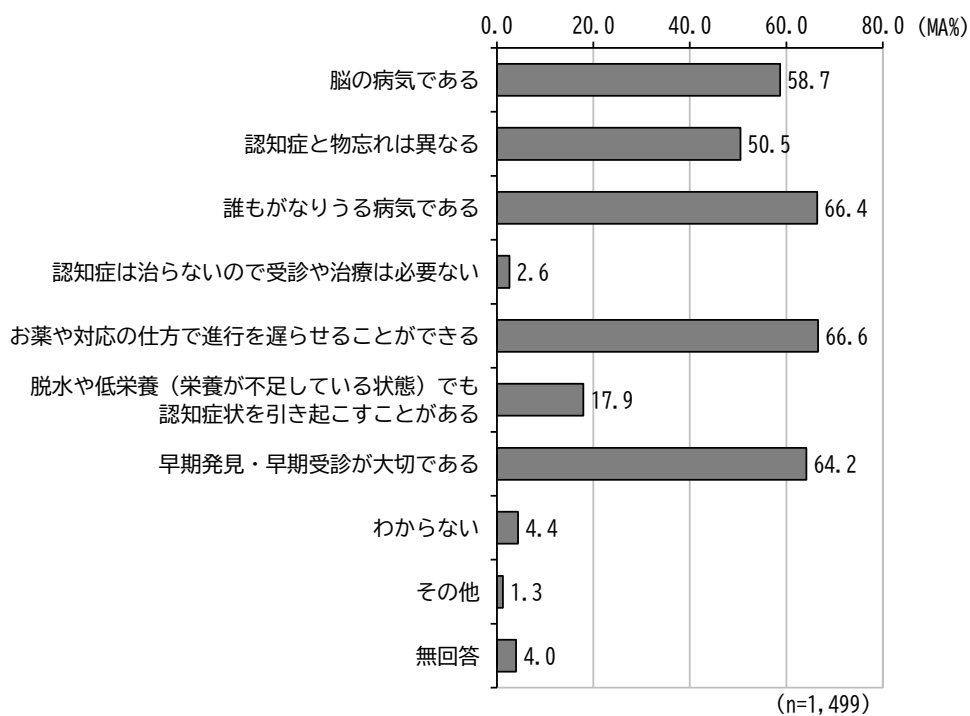
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
一般高齢者	434	29.5	43.3	27.2
要支援認定者・事業対象者	24	20.8	50.0	29.2
男性	181	30.9	45.3	23.8
女性	278	27.7	42.4	29.9
65～69歳	113	26.5	46.9	26.5
70～74歳	104	35.6	46.2	18.3
75～79歳	114	28.1	43.0	28.9
80～84歳	80	26.3	33.8	40.0
85歳以上	48	27.1	47.9	25.0
社圏域	240	27.1	43.8	29.2
滝野圏域	122	27.0	45.9	27.0
東条圏域	96	36.5	40.6	22.9

(3) 認知症に関してどのように理解しているか

認知症に関してどのように理解しているかについて、「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が66.6%で最も高く、次いで「誰もがなりうる病気である」が66.4%、「早期発見・早期受診が大切である」が64.2%となっています。

【図表2-9-15 認知症に関してどのように理解しているか】



「お薬や対応の仕方で進行を遅らせることができる」では、年齢別にみると、85 歳以上が 68.3%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 68.4%で最も高くなっています。

【図表2-9-16 認知症に関してどのように理解しているか(属性別)】

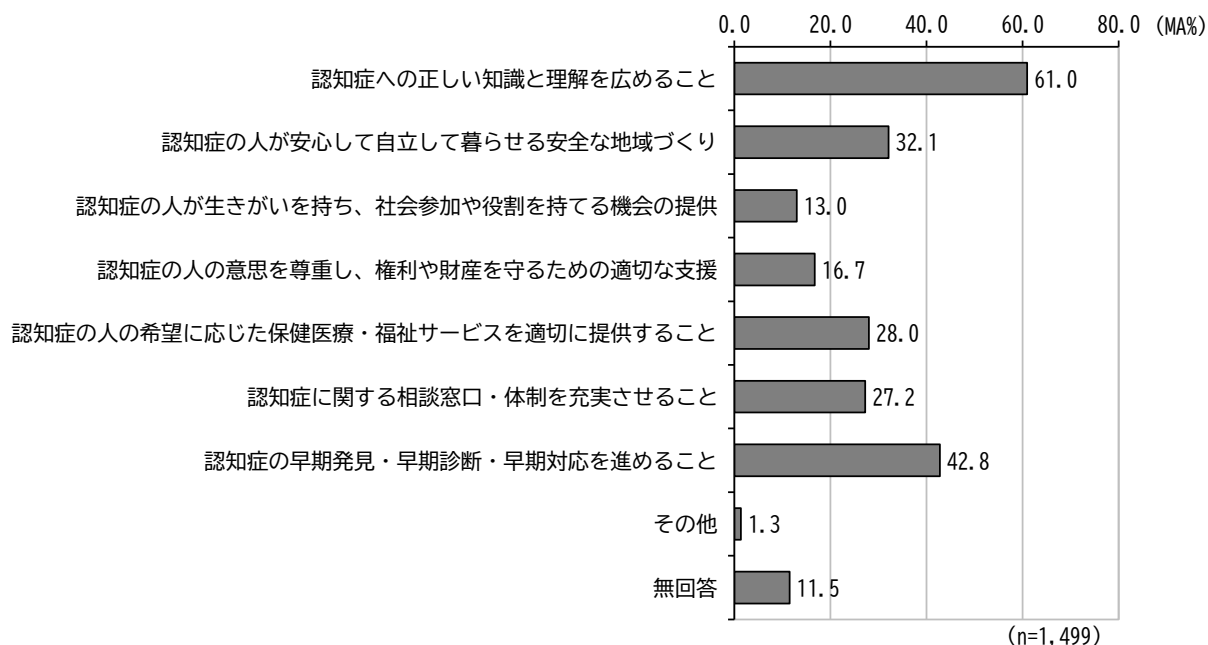
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	脳の病気である	認知症と物忘れは異なる	誰もがなりうる病気である	認知症は治らないので受診や治療は必要ない	お薬や対応の仕方で進行を遅らせることができる	脱水や低栄養(栄養が不足している状態)でも認知症を引き起こすことがある	早期発見・早期受診が大切	わからない	その他	無回答
一般高齢者	1,424	58.5	50.7	66.4	2.5	66.6	18.1	64.0	4.4	1.1	4.1
要支援認定者・事業対象者	72	63.9	47.2	63.9	5.6	66.7	15.3	66.7	5.6	4.2	1.4
男性	670	57.3	48.2	65.2	2.7	65.8	16.3	62.1	4.3	1.6	4.2
女性	829	59.8	52.4	67.3	2.5	67.2	19.3	65.9	4.5	1.0	3.9
65～69歳	365	59.7	50.4	66.6	2.2	64.9	18.1	64.7	5.8	0.8	4.1
70～74歳	352	59.4	51.1	70.2	2.3	68.2	20.2	63.6	4.3	0.9	4.3
75～79歳	373	57.1	49.9	68.1	2.4	67.8	19.0	65.4	3.8	1.9	3.8
80～84歳	242	59.5	50.0	61.2	1.7	63.6	15.7	64.9	2.5	1.2	5.0
85歳以上	167	57.5	51.5	61.7	6.0	68.3	13.8	60.5	6.0	1.8	2.4
社圏域	770	58.4	50.9	65.7	2.1	66.1	17.3	64.8	4.4	1.3	4.8
滝野圏域	381	57.2	50.7	64.0	3.9	65.9	17.1	64.0	4.2	0.5	3.4
東条圏域	345	61.2	49.6	70.1	2.3	68.4	20.6	62.9	4.6	2.0	2.9

(4) 認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なこと

認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なことについて、「認知症への正しい知識と理解を広めること」が 61.0%で最も高く、次いで「認知症の早期発見・早期診断・早期対応を進めること」が 42.8%、「認知症の人が安心して自立して暮らせる安全な地域づくり」が 32.1%となっています。

【図表2-9-17 認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なこと】



「認知症への正しい知識と理解を広めること」では、年齢別にみると、65～69 歳が 64.7%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が62.3%で最も高くなっています。

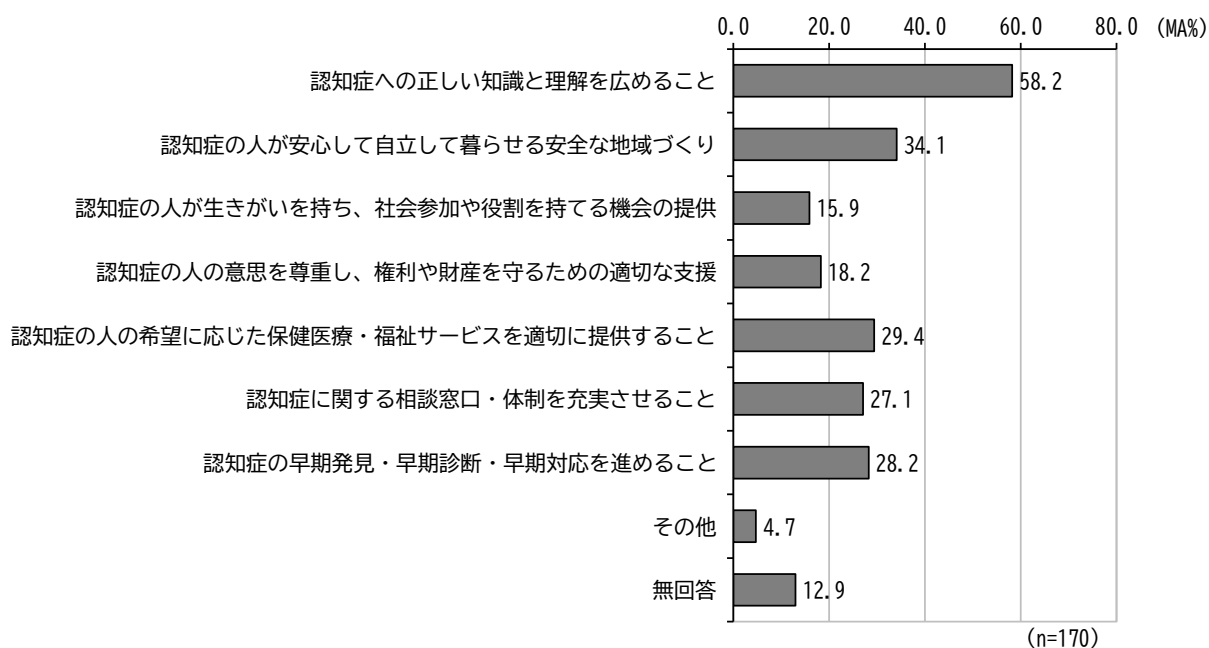
【図表2-9-18 認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なこと(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	認知症への正しい知識と理解を広めること	認知症の人が安心して地域で暮らせること	認知症の人が生きがいを持って社会参加や役割を持てる機会を提供	認知症の人の権利や財産を尊重し、適切な支援	認知症の人の希望に合った適切な医療・福祉サービスを提供すること	認知症に関する相談窓口・体制を充実させること	認知症の早期発見・早期診断・早期対応を進めること	その他	無回答
一般高齢者	1,424	61.0	32.2	13.3	16.6	28.0	26.8	42.8	1.3	11.6
要支援認定者・事業対象者	72	59.7	30.6	8.3	18.1	29.2	36.1	40.3	1.4	9.7
男性	670	61.8	31.9	12.5	17.9	27.2	24.8	41.2	2.1	11.9
女性	829	60.3	32.2	13.4	15.8	28.7	29.2	44.0	0.7	11.1
65～69歳	365	64.7	33.4	11.5	17.0	26.8	30.4	44.4	1.9	9.6
70～74歳	352	58.5	30.7	11.4	17.9	26.4	29.0	43.5	0.0	11.6
75～79歳	373	58.4	30.8	14.7	16.6	30.0	26.5	44.5	1.6	11.3
80～84歳	242	62.0	32.6	16.9	14.0	28.9	24.8	37.6	1.2	14.0
85歳以上	167	62.3	34.1	10.2	18.0	28.1	21.6	41.3	2.4	12.0
社圏域	770	61.7	32.7	13.9	16.8	29.0	27.0	42.2	1.0	10.8
滝野圏域	381	58.3	34.6	12.1	17.3	26.5	29.7	42.3	1.3	11.5
東条圏域	345	62.3	27.8	12.2	15.9	27.8	24.9	44.3	2.0	13.0

認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なことについて、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる人のみ再集計したところ、「認知症への正しい知識と理解を広めること」が58.2%で最も高く、次いで「認知症の人が安心して自立して暮らせる安全な地域づくり」が34.1%、「認知症の人の希望に応じた保健医療・福祉サービスを適切に提供すること」が29.4%となっています。

【図表2-9-19 認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすために重要なこと
(認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる人)】

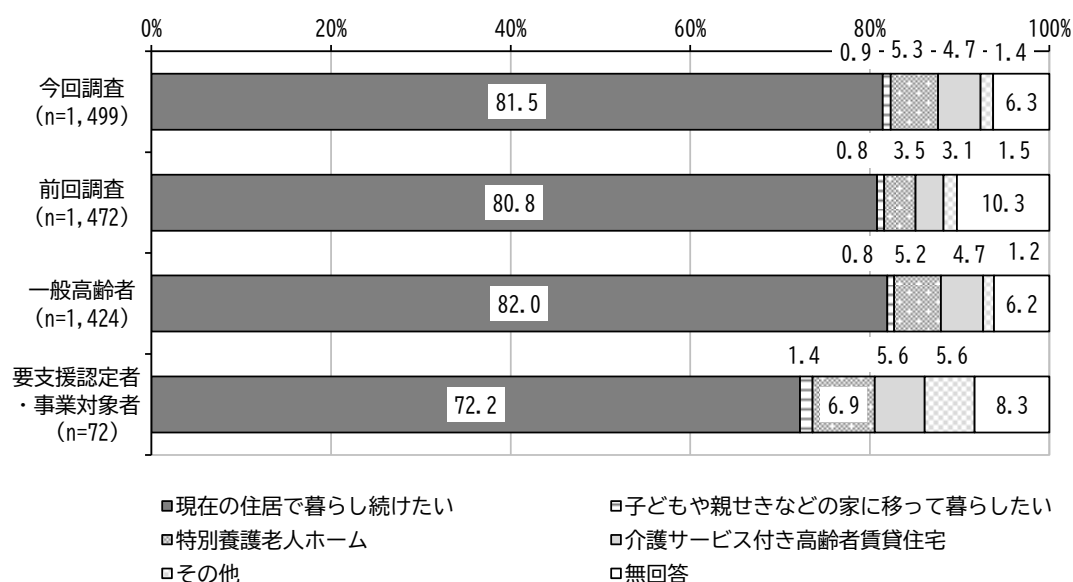


8. 今後の生活と福祉や介護保険制度について

(1) 今後の住まい

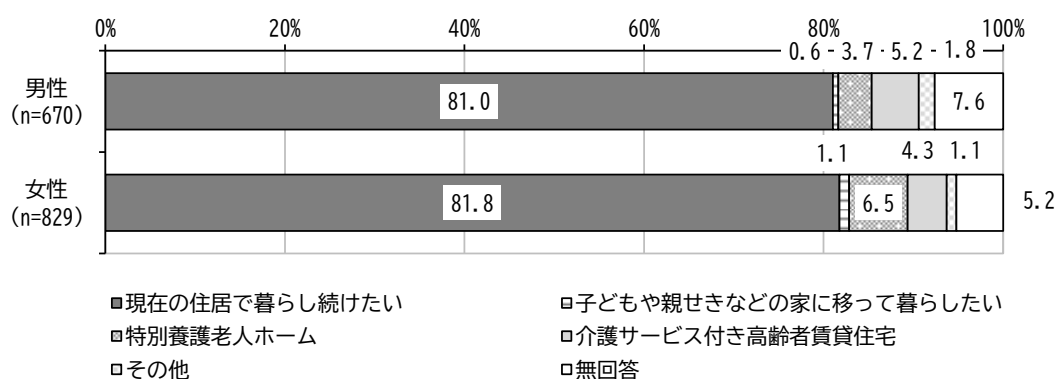
今後の住まいについて、「現在の住居で暮らし続けたい」が 81.5%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 5.3%、「介護サービス付き高齢者賃貸住宅」が 4.7%となっています。

【図表2-10-1 今後の住まい】



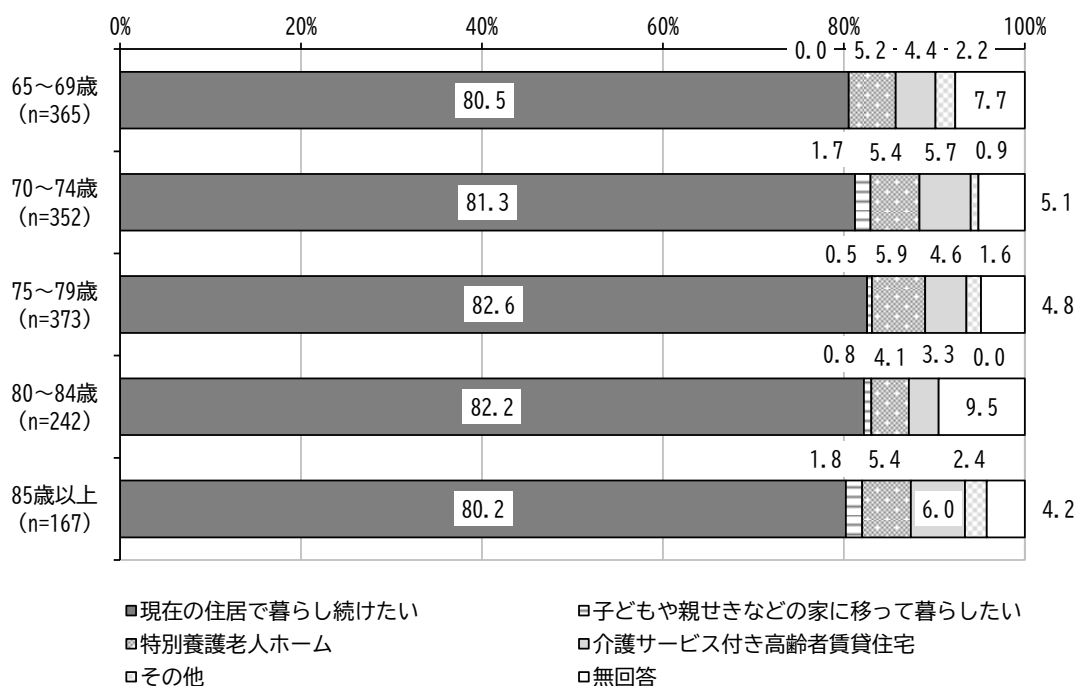
性別にみると、男性・女性ともに「現在の住居で暮らし続けたい」が最も高くなっています。

【図表2-10-2 今後の住まい(性別)】



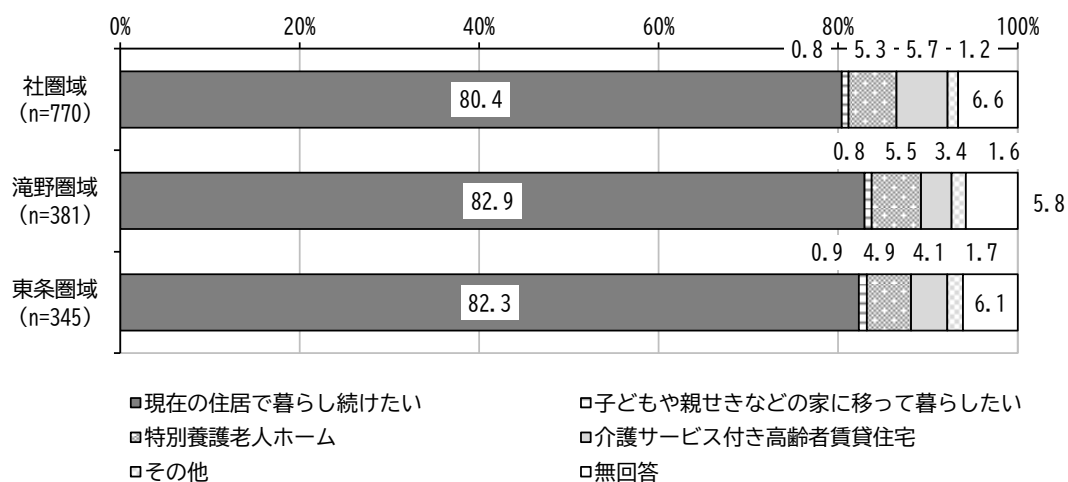
年齢別にみると、「現在の住居で暮らし続けたい」では、75～79 歳が 82.6%で最も高くなっています。

【図表2－10－3 今後の住まい(年齢別)】



圏域別にみると、「現在の住居で暮らし続けたい」では、滝野圏域が 82.9%で最も高くなっています。

【図表2－10－4 今後の住まい(圏域別)】

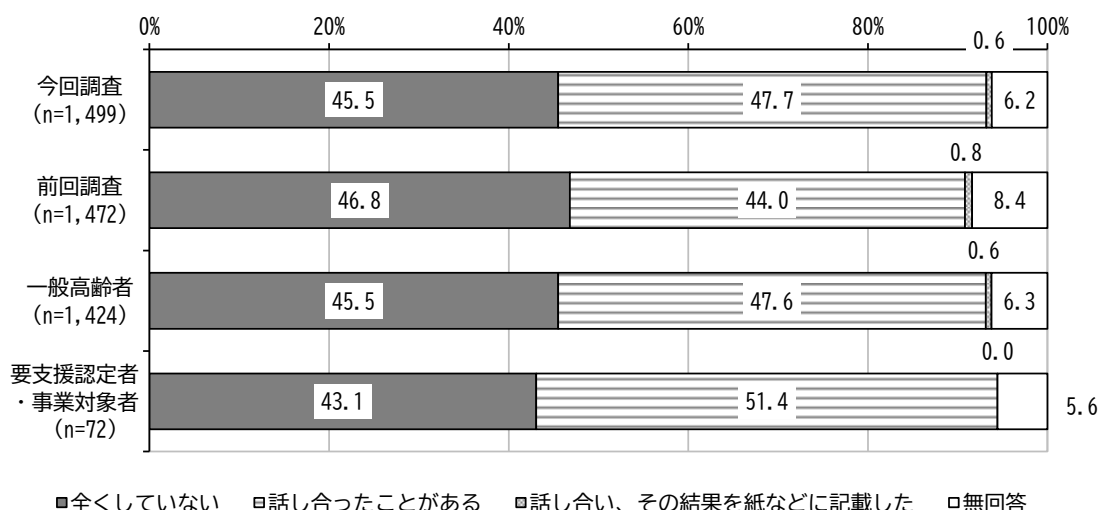


(2) 今後の住まいや生活に関して誰かと話したか

問 10	(2)	今後の住まいや生活について誰かと話をしていますか。(1つに○)
------	-----	---------------------------------

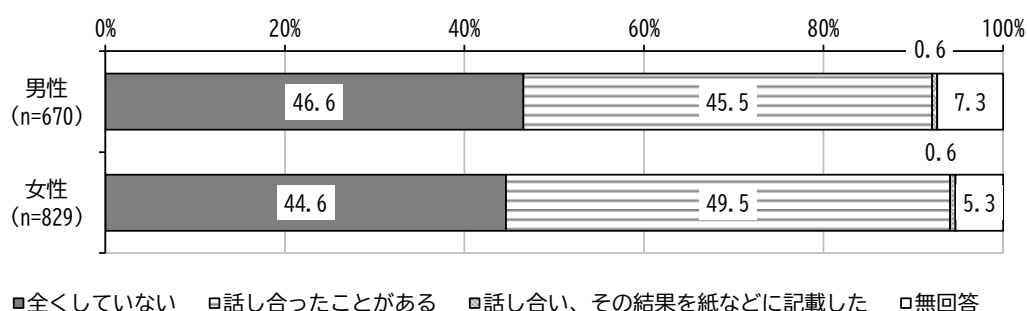
今後の住まいや生活について誰かと話したかについて、「話し合ったことがある」が 47.7%で最も高く、次いで「全くしていない」が 45.5%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が 0.6%となっています。また、前回調査と比較して「話し合ったことがある」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表2-10-5 今後の住まいや生活に関して誰かと話したか】



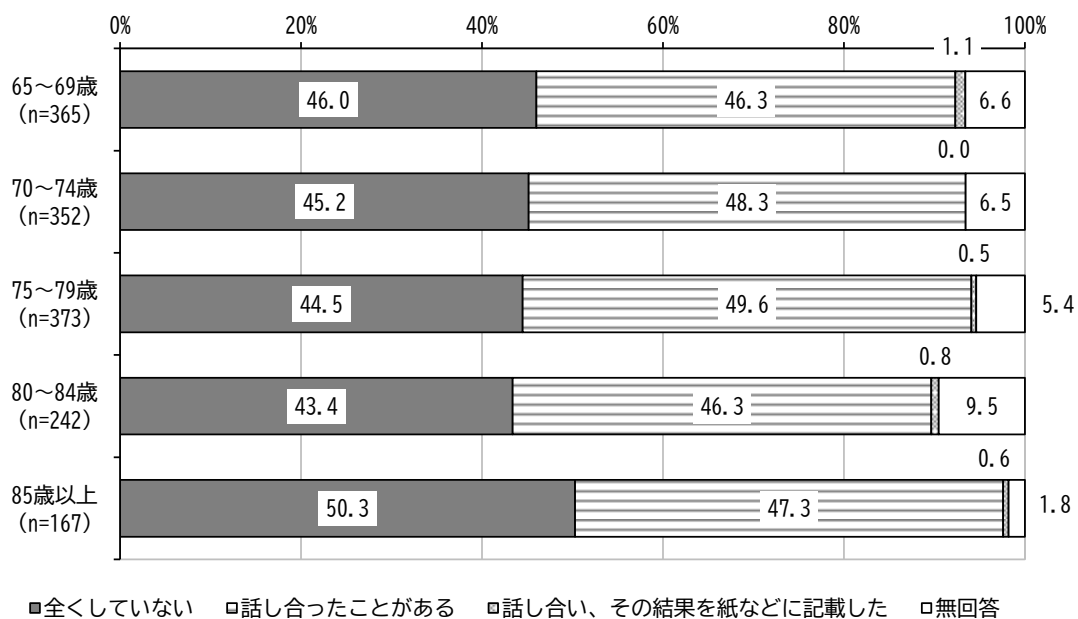
性別にみると、「話し合ったことがある」について、男性では 45.5%、女性では 49.5%となっており、女性のほうが 4.0 ポイント高くなっています。

【図表2-10-6 今後の住まいや生活に関して誰かと話したか(性別)】



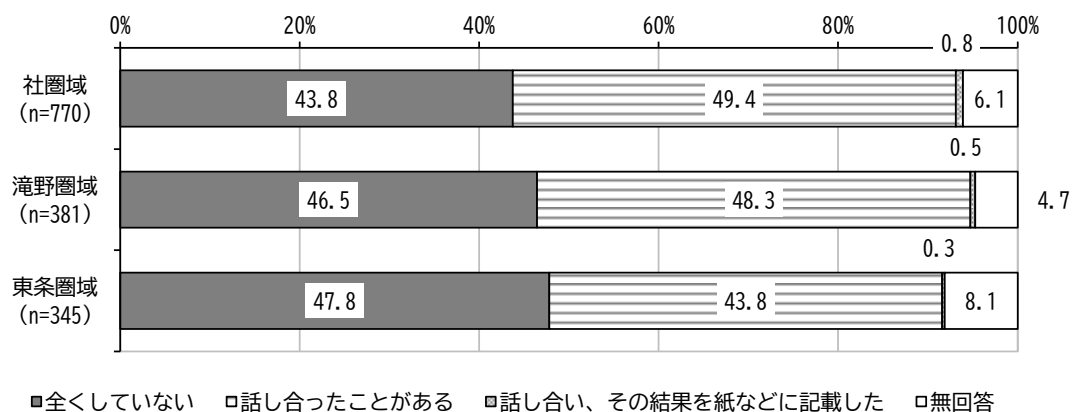
年齢別にみると、「話し合ったことがある」では、75～79 歳が 49.6%で最も高くなっています。

【図表2－10－7 今後の住まいや生活に関して誰かと話したか(年齢別)】



圏域別にみると、「話し合ったことがある」では、社圏域が 49.4%で最も高くなっています。

【図表2－10－8 今後の住まいや生活に関して誰かと話したか(圏域別)】

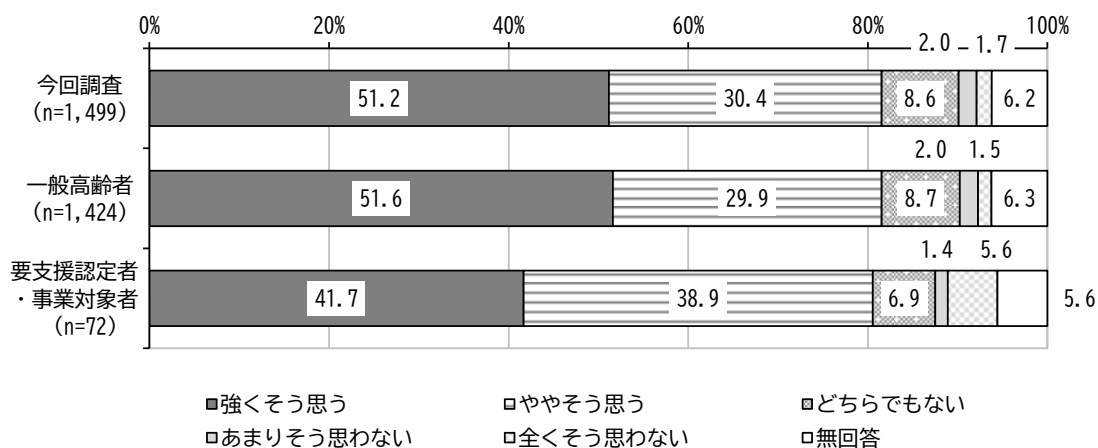


(3) 今後もできる限り、自立した生活を続けたいか

問 10	(3)	今後もできる限り、介護保険のサービスに頼らずに、自立した生活を続けたいと思いますか。(1つに○)
------	-----	--

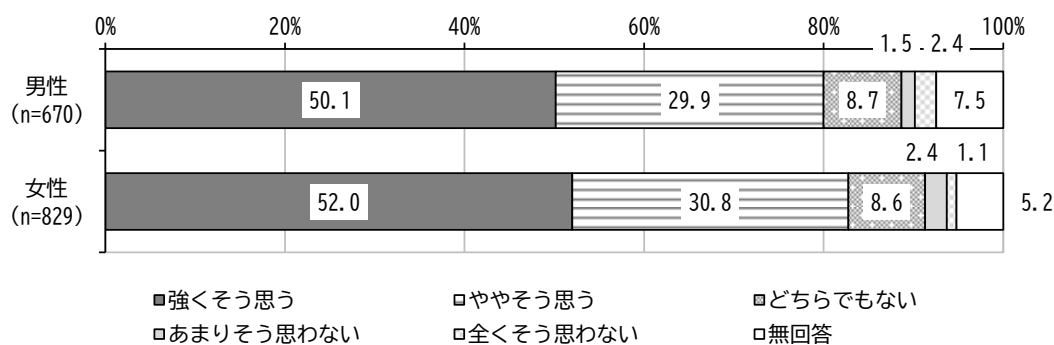
今後もできる限り、自立した生活を続けたいかについて、「強くそう思う」が51.2%で最も高く、次いで「ややそう思う」が30.4%、「どちらでもない」が8.6%となっています。

【図表2-10-9 今後もできる限り、自立した生活を続けたいか】



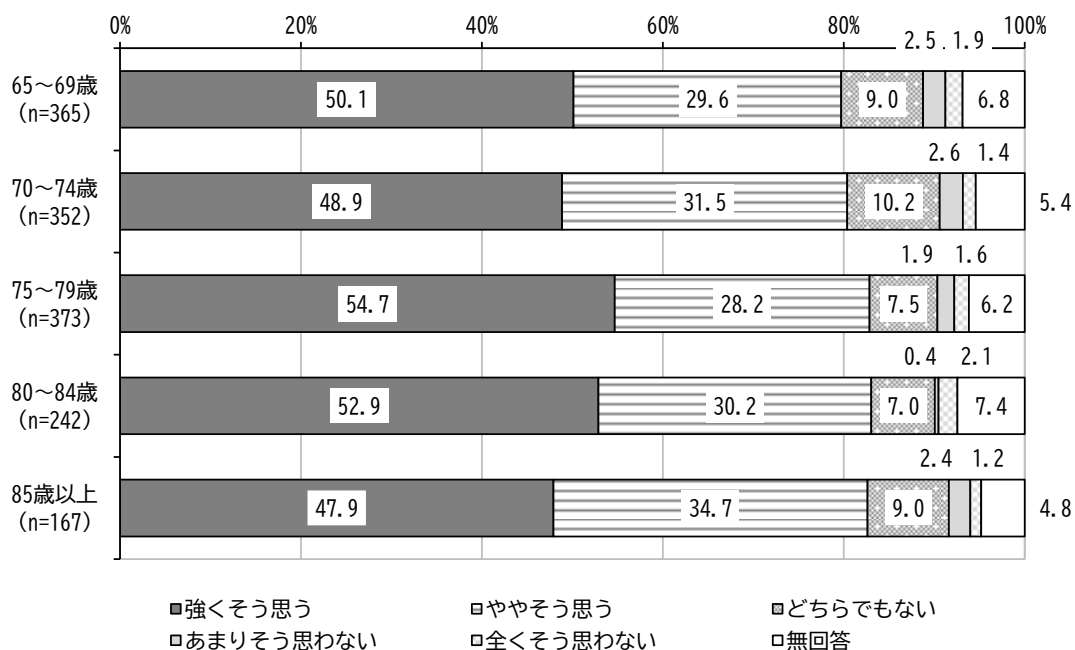
性別にみると、「強くそう思う」について、男性では50.1%、女性では52.0%となっており、女性のほうが1.9ポイント高くなっています。

【図表2-10-10 今後もできる限り、自立した生活を続けたいか(性別)】



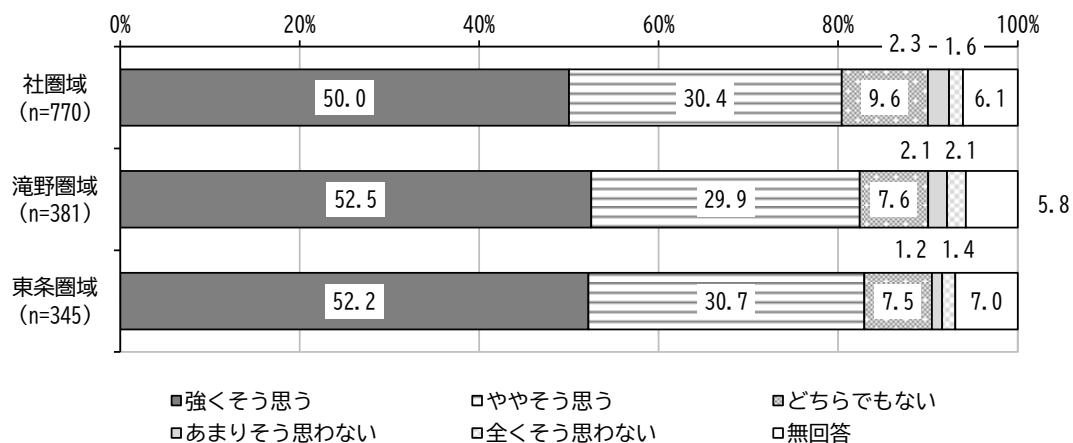
年齢別にみると、「強くそう思う」では、75～79 歳が 54.7%で最も高くなっています。

【図表2－10－11 今後もできる限り、自立した生活が続けたいか(年齢別)】



圏域別にみると、「強くそう思う」では、滝野圏域が 52.5%で最も高くなっています。

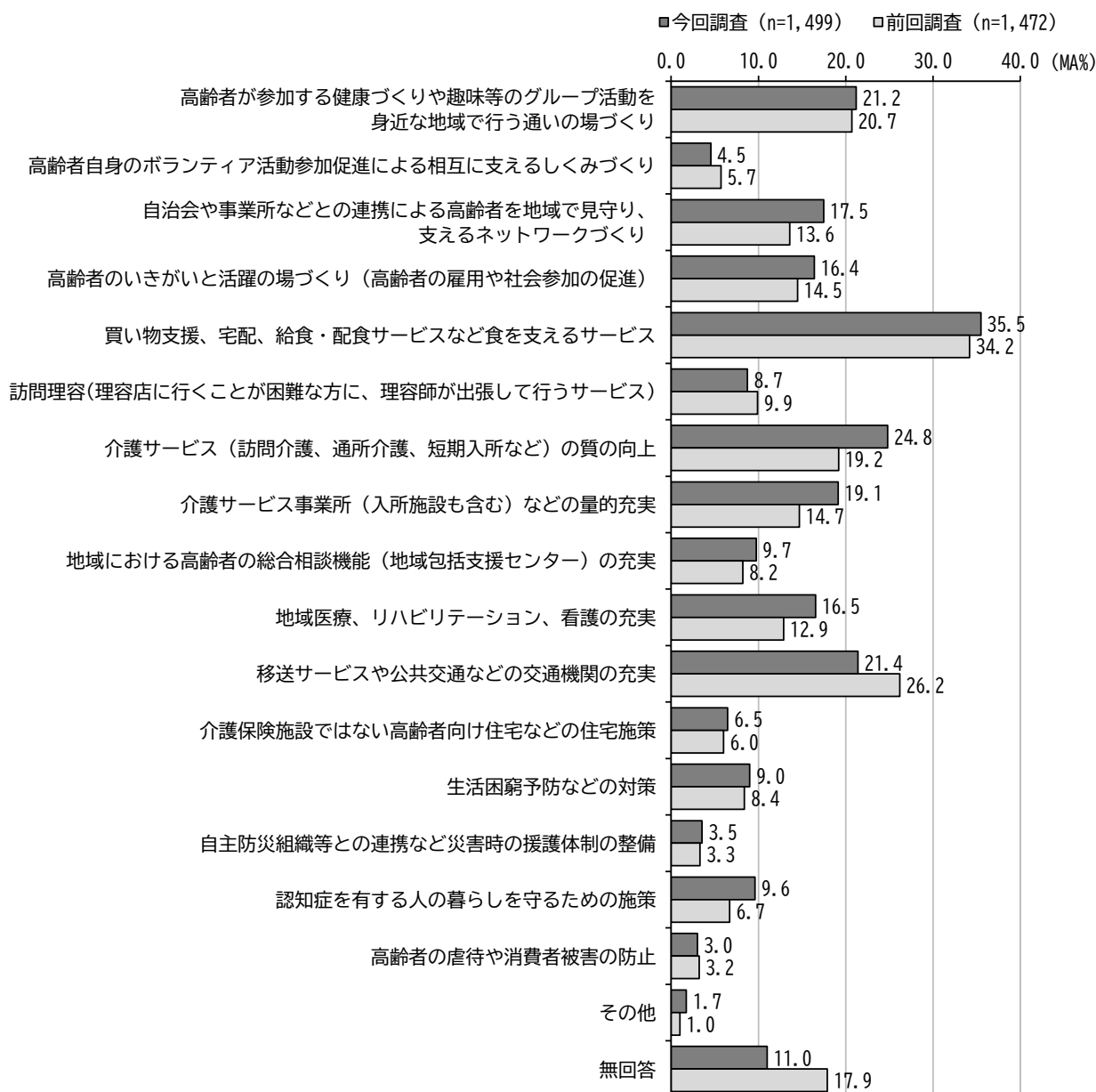
【図表2－10－12 今後もできる限り、自立した生活が続けたいか(圏域別)】



(4) これからの加東市において、特に重要な施策

これからの加東市において、特に重要な施策について、「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」が 35.5%で最も高く、次いで「介護サービス(訪問介護、通所介護、短期入所など)の質の向上」が 24.8%、「移送サービスや公共交通などの交通機関の充実」が 21.4%となっています。また、前回調査と比較して「移送サービスや公共交通などの交通機関の充実」が 4.8 ポイント減少しています。

【図表2-10-13 これからの加東市において、特に重要な施策】



「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」では、年齢別にみると、85 歳以上が 38.3%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 40.9%で最も高くなっています。

【図表2-10-14 これからの加東市において、特に重要な施策(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	高齢者が参加する健康づくりな 地域でのグループ活動づくり	高齢者自身のボランティア活動 参加促進による相互に支えあ くみづく	高齢者や事業者などとの連携に よる高齢者を地域で見守り、支 えるネットワークづくり	高齢者のいきがいと活躍の場づ くり（高齢者の雇用や社会参加 の促進）	買い物支援、宅配、給食・配食 サービスなど食を支えるサービ ス	訪問介護（理容店に行くことが 困難な方に、理容師が出張して 行うサービス）	介護サービス（訪問介護、通所 介護、短期入所など）の質の向 上	介護サービス事業所（入所施設 も含む）などの量的充実	地域における高齢者の総合相談 の充実（地域包括支援センター）	地域医療、リハビリテーション の充実
一般高齢者	1,424	21.3	4.6	17.8	16.4	35.3	9.0	24.9	19.0	9.7	16.3
要支援認定者・事業対象者	72	19.4	2.8	11.1	15.3	41.7	4.2	23.6	23.6	11.1	22.2
男性	670	21.0	3.9	18.7	15.2	35.4	7.9	25.2	17.8	9.1	16.6
女性	829	21.4	5.1	16.5	17.4	35.6	9.4	24.5	20.3	10.3	16.5
65～69歳	365	18.4	5.8	19.7	13.4	34.8	7.7	21.9	18.4	12.3	16.7
70～74歳	352	16.5	4.3	18.2	19.3	36.1	7.4	27.0	19.0	8.5	16.5
75～79歳	373	24.7	3.8	15.5	17.4	34.3	10.7	24.4	19.8	9.1	15.5
80～84歳	242	23.1	6.6	15.3	20.2	35.5	8.7	22.3	19.8	7.0	16.9
85歳以上	167	26.9	1.2	18.6	9.0	38.3	9.6	31.1	18.6	12.0	18.0
社圏域	770	20.4	4.8	17.8	15.5	33.6	8.2	26.2	19.0	10.9	17.9
滝野圏域	381	19.9	4.2	16.3	17.1	40.9	10.5	26.0	19.2	8.7	16.5
東条圏域	345	24.3	4.3	18.0	17.7	33.9	8.1	20.6	19.7	8.4	13.6

	合計（人）	移送サービスや公共交通などの 交通機関の充実	介護保険施設ではない高齢者向 け住宅などの住宅施策	生活困窮予防などの対策	自主防災組織等との連携など災 害時の援護体制の整備	認知症を有する人の暮らしを守 るための施策	高齢者の虐待や消費者被害の防 止	その他	無回答
一般高齢者	1,424	21.6	6.5	8.8	3.5	9.5	3.0	1.8	10.9
要支援認定者・事業対象者	72	16.7	5.6	11.1	4.2	12.5	1.4	0.0	12.5
男性	670	21.3	5.5	10.0	2.8	9.9	2.7	2.4	11.0
女性	829	21.5	7.2	8.2	4.1	9.4	3.3	1.2	11.0
65～69歳	365	19.5	8.8	11.2	3.8	8.2	4.1	1.9	11.8
70～74歳	352	21.0	7.7	8.2	4.5	10.8	3.1	2.0	11.6
75～79歳	373	22.5	5.6	8.6	3.8	8.0	3.2	1.6	9.9
80～84歳	242	22.3	3.3	8.3	2.1	10.7	1.2	1.2	13.6
85歳以上	167	22.8	5.4	7.8	2.4	12.0	2.4	1.8	6.6
社圏域	770	19.5	7.4	9.5	3.1	8.7	3.1	1.8	11.4
滝野圏域	381	23.9	5.0	9.7	3.4	12.3	2.4	1.3	9.7
東条圏域	345	22.9	6.1	7.0	4.6	8.7	3.2	2.0	11.3

9. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 認知機能の低下

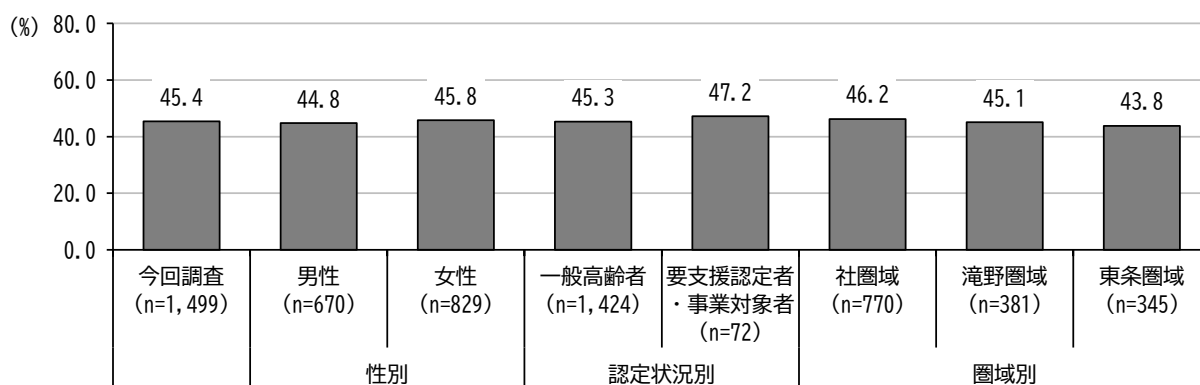
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2-11-20 認知機能の低下を判定するための項目】

設問	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか。	「はい」

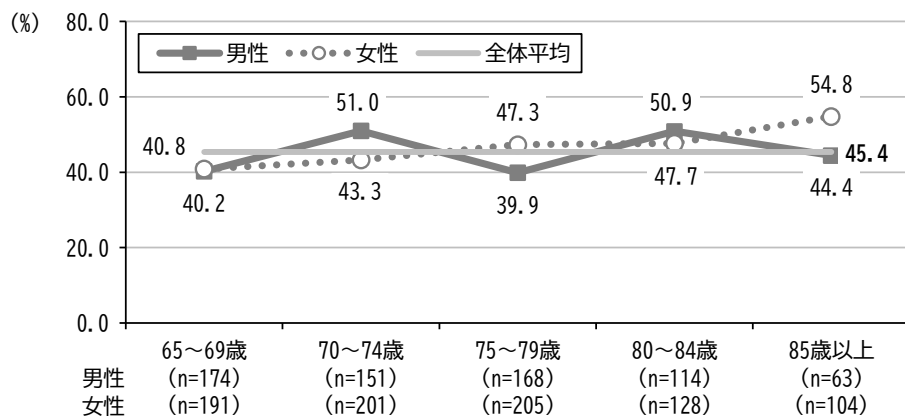
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 45.4%となっており、一般高齢者が 45.3%、要支援認定者・事業対象者 47.2%となっています。また、圏域別にみると、社圏域では 46.2%、滝野圏域では 45.1%、東条圏域では 43.8%となっており、社圏域が最も高くなっています。

【図表2-11-21 認知機能の低下 該当者の割合】



性別・年齢別にみると、男性では70～74歳が51.0%で該当者の割合が最も高く、女性では85歳以上が54.8%で該当者の割合が最も高くなっています。

【図表2-11-22 認知機能の低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



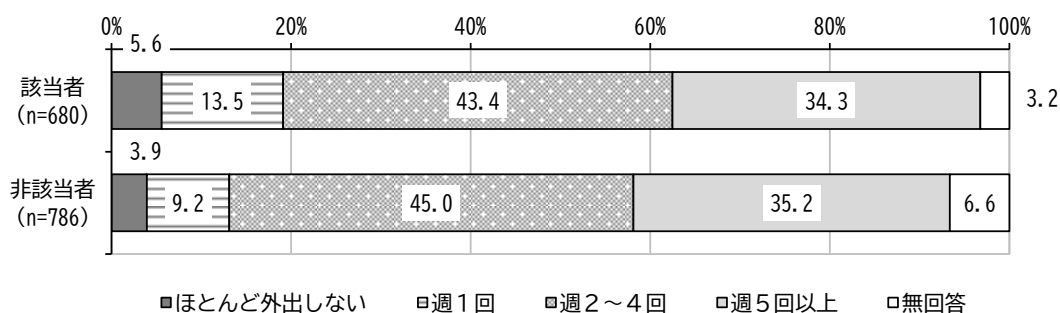
【図表2-11-23 認知機能の低下 該当項目数別人数:該当者分類(かとうまちかど体操教室参加状況別)】

単位：(人)

		合計	(該当項目) 1	(非該当項目) 0	不明
全体		1,499	680	786	33
参加状況	月1回以上	144	73	70	1
	年に数回	19	10	8	1
	参加していない	1,102	485	597	20

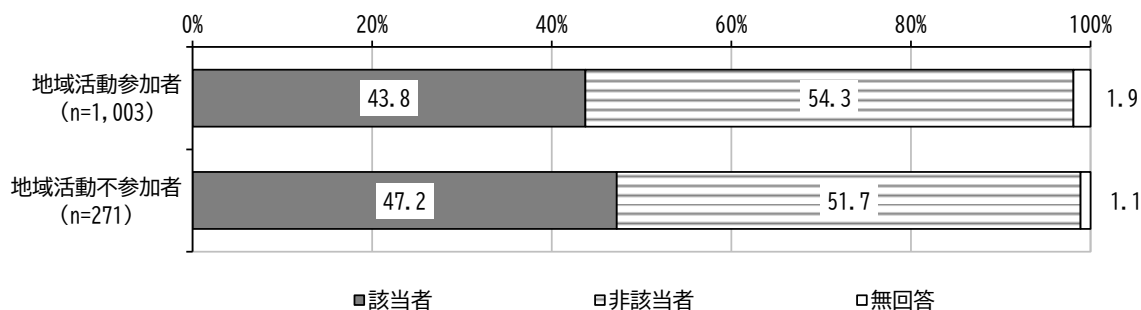
『週1回以上』(「週1回」と「週2～4回」と「週5回以上」の合計)外出している人の割合は、認知機能の低下該当者では91.2%、認知機能の低下非該当者では89.4%となっており、認知機能の低下該当者のほうが低くなっています。

【図表2-11-24 認知機能の低下別にみる外出の状況】



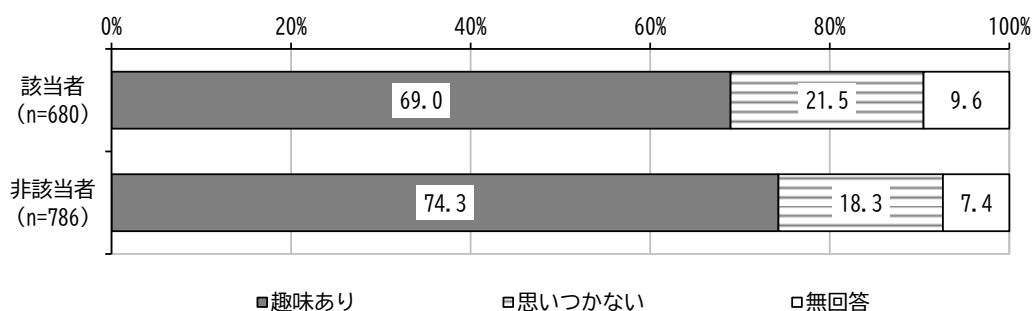
認知機能の低下該当者について、地域活動参加者では 43.8%、地域活動不参加者では 47.2%となっており、地域活動参加者のほうが低くなっています。

【図表2-11-25 地域活動参加状況別にみる認知機能の低下該当者】



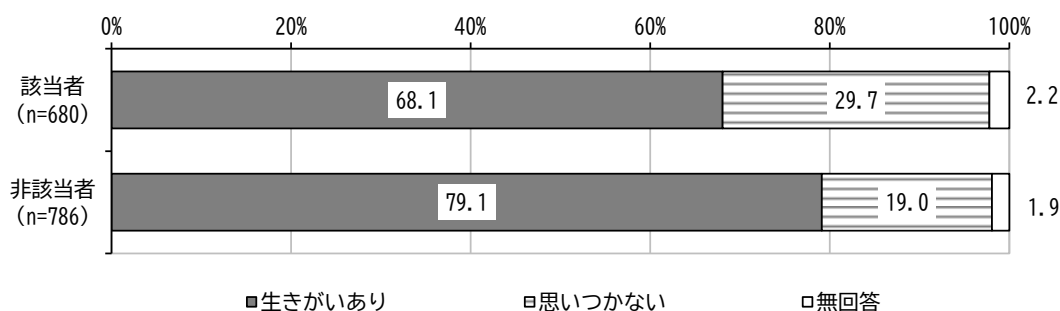
趣味がある人の割合は、認知機能の低下該当者では 69.0%、認知機能の低下非該当者では 74.3%となっており、認知機能の低下該当者のほうが低くなっています。

【図表2-11-26 認知機能の低下別にみる趣味の有無】



生きがいがある人の割合は、認知機能の低下該当者では 68.1%、認知機能の低下非該当者では 79.1%となっており、認知機能の低下該当者のほうが低くなっています。

【図表2-11-27 認知機能の低下別にみる生きがいの有無】



(2) 転倒リスク

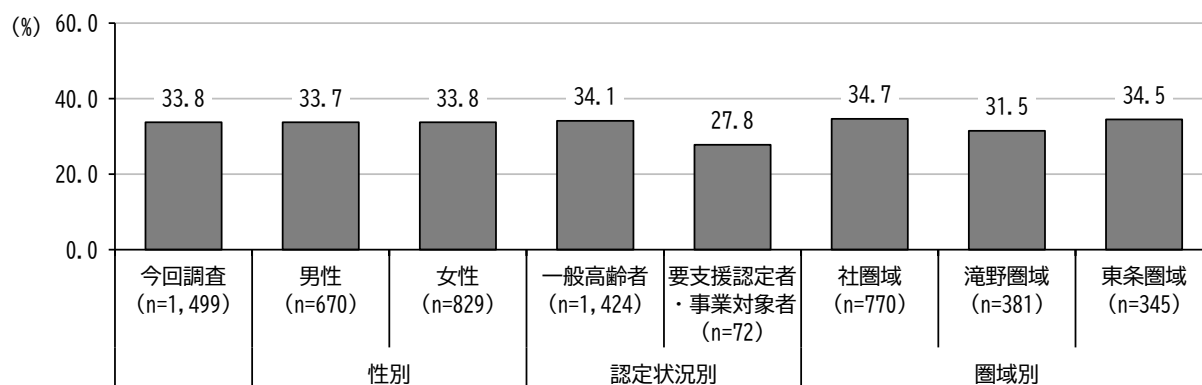
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表2-11-34 転倒リスクを判定するための項目】

設問	該当する選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

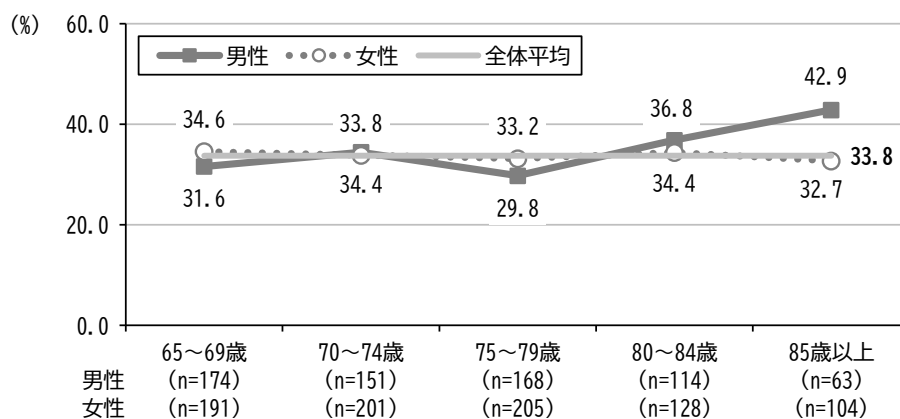
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で 33.8%となっており、一般高齢者が 34.1%、要支援認定者・事業対象者 27.8%となっています。また、圏域別にみると、社圏域では 34.7%、滝野圏域では 31.5%、東条圏域では 34.5%となっており、社圏域が最も高くなっています。

【図表2-11-35 転倒リスク 該当者の割合】



性別・年齢別にみると、男性では 85 歳以上が 42.9%で該当者の割合が最も高く、女性では 65～69 歳が 34.6%で該当者の割合が最も高くなっています。

【図表2-11-36 転倒リスク 該当者の割合(性別・年齢別)】



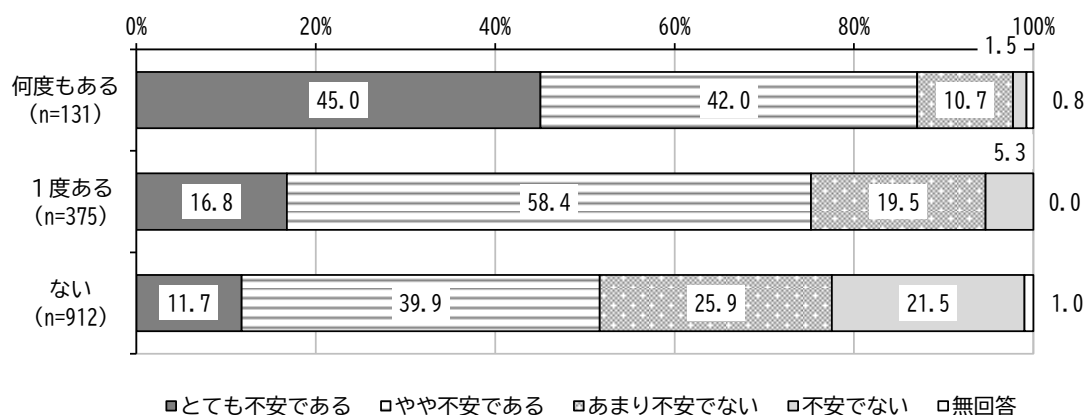
【図表2-11-37 転倒リスク 該当項目数別人数:該当者分類(かとうまちかど体操教室参加状況別)】

単位: (人)

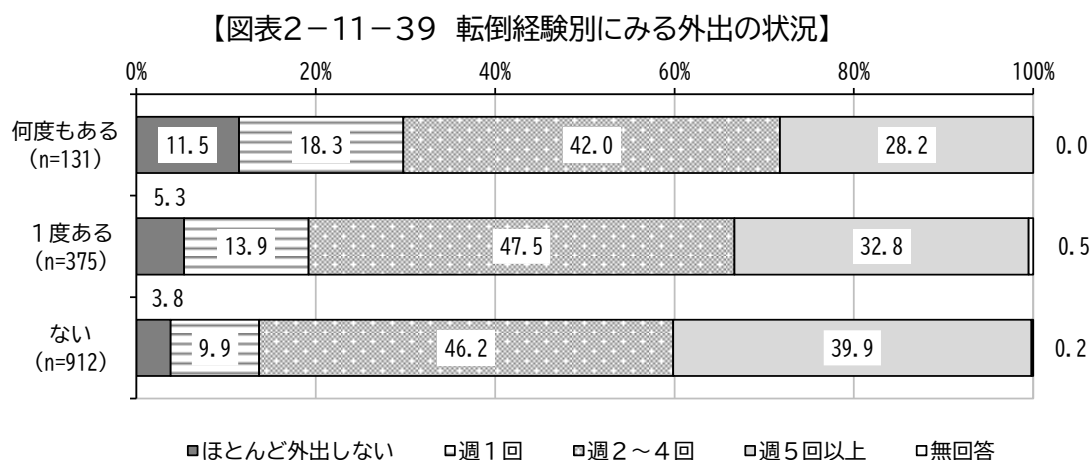
		合計	(該当者 1項目)	(非該当者 0項目)	不明
全体		1,499	506	912	81
参加状況	月1回以上	144	52	81	11
	年に数回	19	7	9	3
	参加していない	1,102	373	675	54

転倒に対して『不安である』(「とても不安である」と「不安である」の合計)人の割合は、転倒経験が増加するごとに高くなっています。

【図表2-11-38 転倒経験別にみる転倒に対する不安】

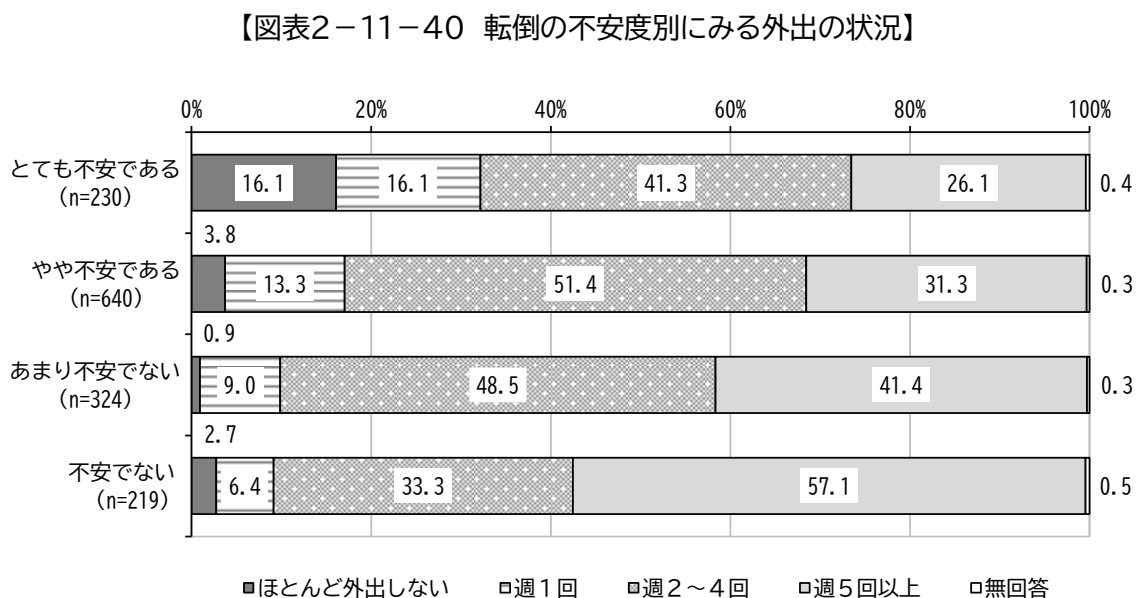


『週1回以上』(「週1回」と「週2～4回」と「週5回以上」の合計)外出している人の割合は、転倒経験が増加するごとに低くなっています。特に「週5回以上」外出している人の割合は、転倒経験が「何度もある」では28.2%、転倒経験が「ない」では39.9%となっており、差が大きくなっています。



「週5回以上」外出している人の割合は、転倒経験が増加するごとに低くなっています。

また、「ほとんど外出しない」人の割合は、転倒に対して「とても不安である」では16.1%となっており、他の不安度と比較して高くなっています。

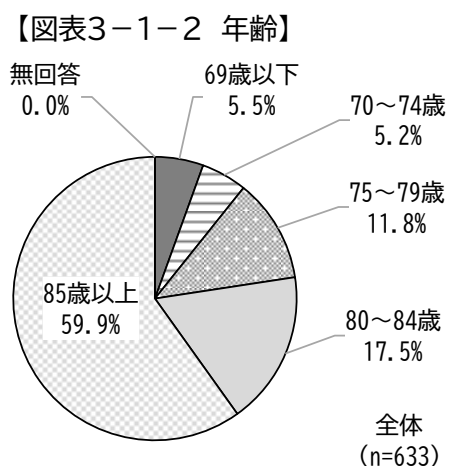


第3章 要介護認定者調査の結果

1. 回答者の属性

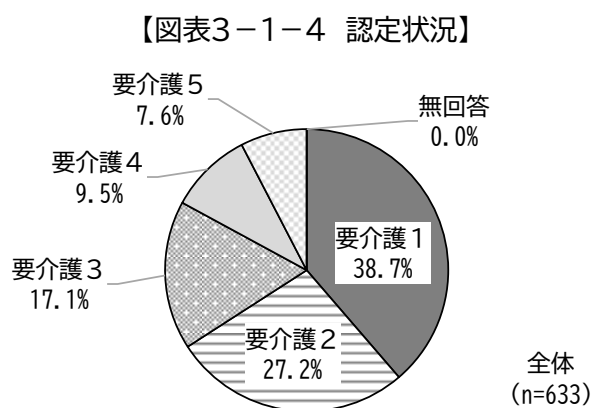
(1) 年齢

年齢について、「85 歳以上」が 59.9%で最も高く、次いで「80～84 歳」が 17.5%、「75～79 歳」が 11.8%となっています。



(2) 認定状況

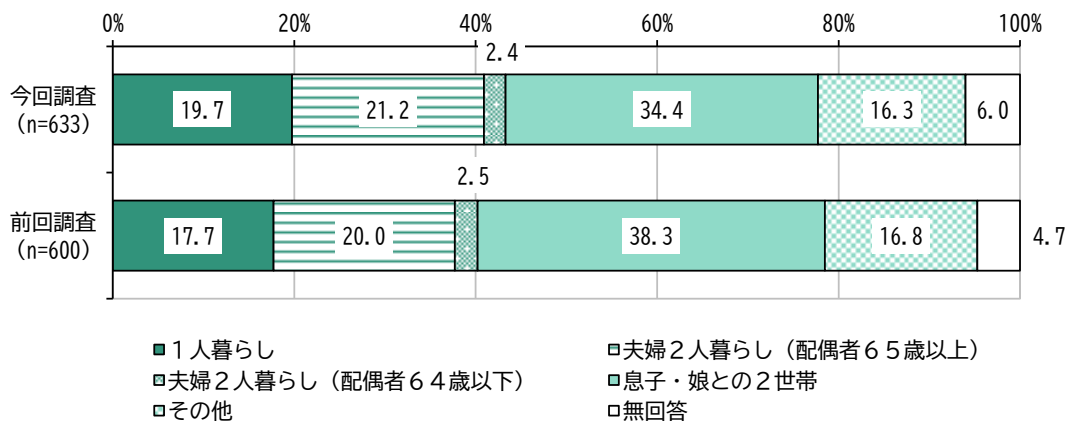
認定状況について、「要介護1」が 38.7%で最も高く、次いで「要介護2」が 27.2%、「要介護3」が 17.1%となっています。



(3) 世帯構成

世帯構成について、「息子・娘との2世帯」が 34.4%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が 21.2%、「1人暮らし」が 19.7%となっています。

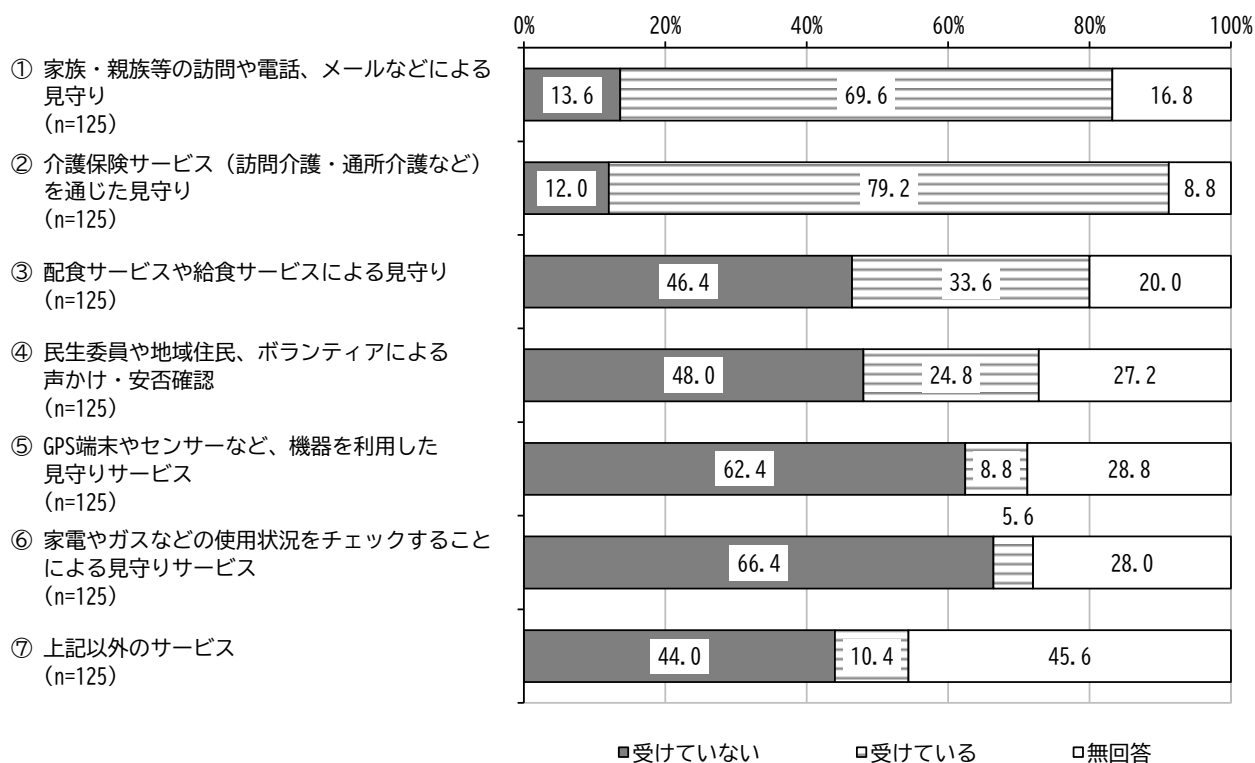
【図表3-1-6 世帯構成】



(4) 見守りや安否確認サービスの利用状況

見守りや安否確認サービスの利用状況について、「受けている」では、「介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り」が 79.2%で最も高く、次いで「家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り」が 69.6%、「配食サービスや給食サービスによる見守り」が 33.6%となっています。

【図表3-1-7 見守りや安否確認サービスの利用状況】



① 家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り

家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守りについて、性別にみると、「受けている」について、男性では55.6%、女性では75.3%となっており、女性のほうが19.7ポイント高くなっています。

【図表3-1-8 家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	22.2	55.6	22.2
女性	89	10.1	75.3	14.6
要介護1	56	12.5	71.4	16.1
要介護2	38	18.4	65.8	15.8
要介護3	20	5.0	70.0	25.0
要介護4	7	28.6	57.1	14.3
要介護5	4	0.0	100.0	0.0
社圏域	66	18.2	63.6	18.2
滝野圏域	38	10.5	73.7	15.8
東条圏域	21	4.8	81.0	14.3

② 介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り

介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守りについて、性別にみると、「受けている」について、男性では69.4%、女性では83.1%となっており、女性のほうが13.7ポイント高くなっています。

【図表3-1-9 介護保険サービス(訪問介護・通所介護など)を通じた見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	16.7	69.4	13.9
女性	89	10.1	83.1	6.7
要介護1	56	14.3	75.0	10.7
要介護2	38	15.8	76.3	7.9
要介護3	20	0.0	90.0	10.0
要介護4	7	14.3	85.7	0.0
要介護5	4	0.0	100.0	0.0
社圏域	66	13.6	78.8	7.6
滝野圏域	38	10.5	81.6	7.9
東条圏域	21	9.5	76.2	14.3

③ 配食サービスや給食サービスによる見守り

配食サービスや給食サービスによる見守りについて、性別にみると、「受けている」について、男性では36.1%、女性では32.6%となっており、男性のほうが3.5ポイント高くなっています。

【図表3-1-10 配食サービスや給食サービスによる見守り】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	44.4	36.1	19.4
女性	89	47.2	32.6	20.2
要介護1	56	48.2	32.1	19.6
要介護2	38	36.8	42.1	21.1
要介護3	20	50.0	30.0	20.0
要介護4	7	57.1	14.3	28.6
要介護5	4	75.0	25.0	0.0
社圏域	66	40.9	39.4	19.7
滝野圏域	38	57.9	26.3	15.8
東条圏域	21	42.9	28.6	28.6

④ 民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認

民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認について、性別にみると、「受けている」について、男性では25.0%、女性では24.7%となっています。

【図表3-1-11 民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	47.2	25.0	27.8
女性	89	48.3	24.7	27.0
要介護1	56	48.2	26.8	25.0
要介護2	38	50.0	23.7	26.3
要介護3	20	45.0	20.0	35.0
要介護4	7	42.9	14.3	42.9
要介護5	4	50.0	50.0	0.0
社圏域	66	47.0	25.8	27.3
滝野圏域	38	44.7	28.9	26.3
東条圏域	21	57.1	14.3	28.6

⑤ GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービス

GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービスについて、性別にみると、「受けている」について、男性では 8.3%、女性では 9.0%となっています。

【図表3-1-12 GPS 端末やセンサーなど、機器を利用した見守りサービス】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	61.1	8.3	30.6
女性	89	62.9	9.0	28.1
要介護1	56	71.4	3.6	25.0
要介護2	38	55.3	15.8	28.9
要介護3	20	50.0	15.0	35.0
要介護4	7	57.1	0.0	42.9
要介護5	4	75.0	0.0	25.0
社圏域	66	60.6	10.6	28.8
滝野圏域	38	68.4	2.6	28.9
東条圏域	21	57.1	14.3	28.6

⑥ 家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービス

家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービスについて、性別にみると、「受けている」について、男性・女性ともに 5.6%となっています。

【図表3-1-13 家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービス】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	66.7	5.6	27.8
女性	89	66.3	5.6	28.1
要介護1	56	73.2	5.4	21.4
要介護2	38	60.5	7.9	31.6
要介護3	20	60.0	5.0	35.0
要介護4	7	57.1	0.0	42.9
要介護5	4	75.0	0.0	25.0
社圏域	66	63.6	7.6	28.8
滝野圏域	38	71.1	0.0	28.9
東条圏域	21	66.7	9.5	23.8

⑦ 上記以外のサービス

上記以外のサービスについて、性別にみると、「受けている」について、男性では 25.0%、女性では 4.5%となっており、男性のほうが 20.5 ポイント高くなっています。

【図表3-1-14 上記以外のサービス】

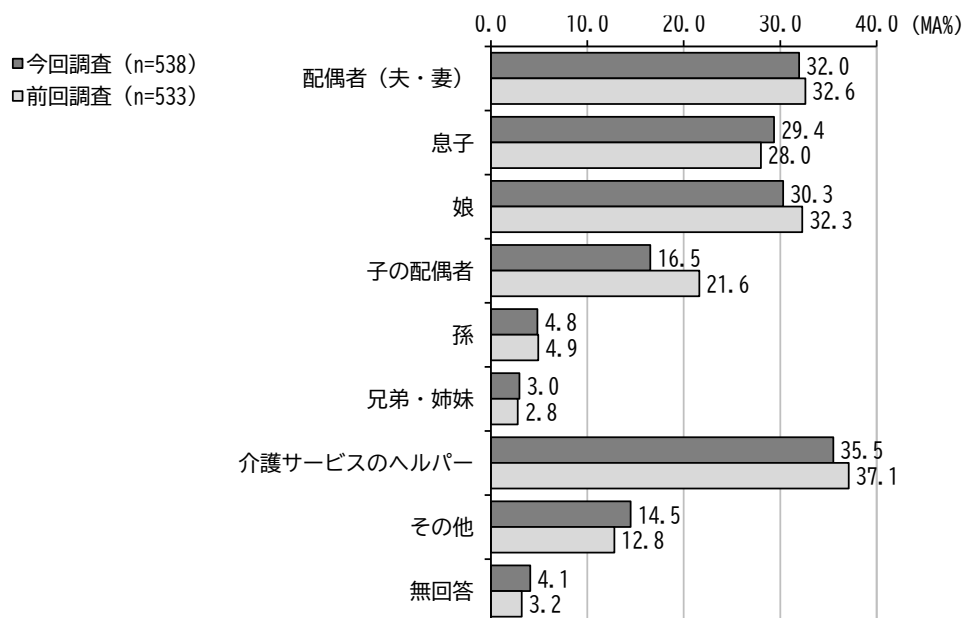
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

	合計 (人)	受けて いない	受けて いる	無回 答
男性	36	27.8	25.0	47.2
女性	89	50.6	4.5	44.9
要介護1	56	46.4	5.4	48.2
要介護2	38	44.7	13.2	42.1
要介護3	20	40.0	15.0	45.0
要介護4	7	28.6	14.3	57.1
要介護5	4	50.0	25.0	25.0
社圏域	66	43.9	12.1	43.9
滝野圏域	38	47.4	5.3	47.4
東条圏域	21	38.1	14.3	47.6

(5) 主な介護者

主な介護者について、「介護サービスのヘルパー」が 35.5%で最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 32.0%、「娘」が 30.3%となっています。また、前回調査と比較して「介護サービスのヘルパー」が 1.6 ポイント減少しています。

【図表3-1-21 主な介護者】



「介護サービスのヘルパー」では、認定状況別にみると、要介護5が 40.9%で最も高く、圏域別にみると、社圏域が 36.9%で最も高くなっています。

【図表3-1-22 主な介護者(属性別)】

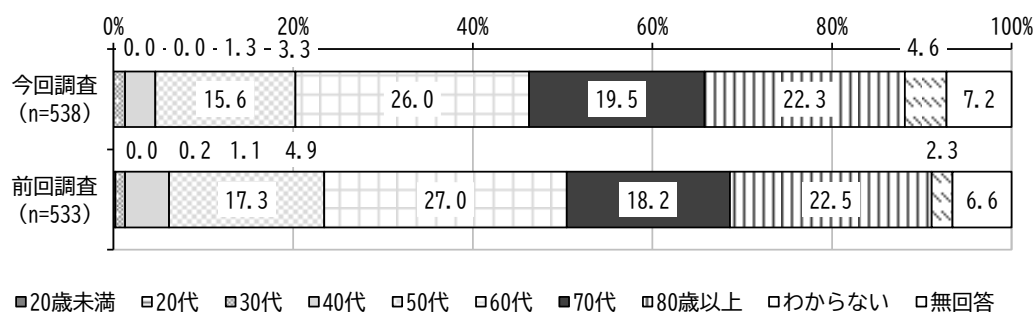
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
男性	205	50.7	20.5	19.0	9.3	5.4	2.9	31.2	16.6	5.4
女性	333	20.4	34.8	37.2	21.0	4.5	3.0	38.1	13.2	3.3
要介護1	196	33.2	26.0	31.1	17.3	4.6	3.6	32.1	8.7	5.1
要介護2	146	33.6	31.5	27.4	16.4	4.1	4.1	32.9	14.4	3.4
要介護3	98	27.6	32.7	31.6	18.4	6.1	2.0	40.8	17.3	3.1
要介護4	54	27.8	31.5	31.5	13.0	5.6	1.9	40.7	20.4	3.7
要介護5	44	36.4	27.3	31.8	13.6	4.5	0.0	40.9	27.3	4.5
社圏域	271	29.9	27.3	30.6	15.1	5.5	3.0	36.9	14.4	5.2
滝野圏域	133	36.8	26.3	30.8	13.5	5.3	3.0	36.1	15.0	3.0
東条圏域	134	31.3	36.6	29.1	22.4	3.0	3.0	32.1	14.2	3.0

（６）主な介護者の年齢

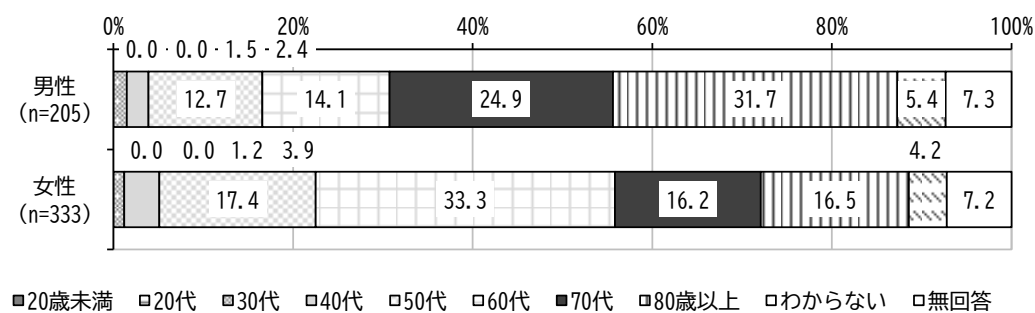
主な介護者の年齢について、「60 代」が 26.0%で最も高く、次いで「80 歳以上」が 22.3%、「70 代」が 19.5%となっています。また、前回調査と比較して「60 代」が 1.0 ポイント減少しています。

【図表3－1－27 主な介護者の年齢】



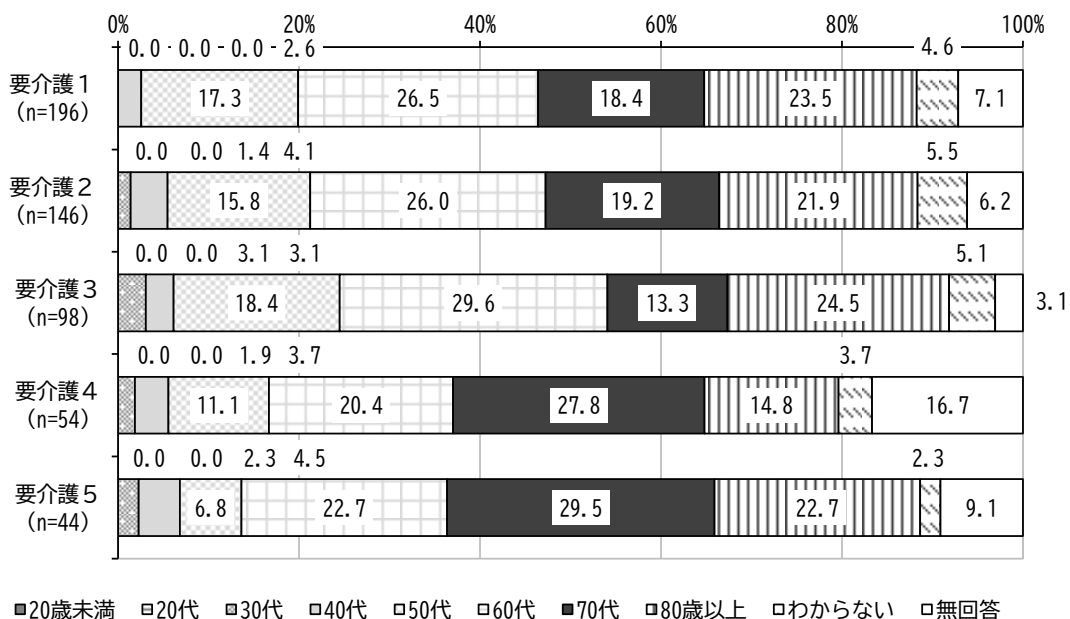
性別にみると、男性では、「80 歳以上」が 31.7%で最も高く、女性では、「60 代」が 33.3%で最も高くなっています。

【図表3－1－28 主な介護者の年齢(性別)】



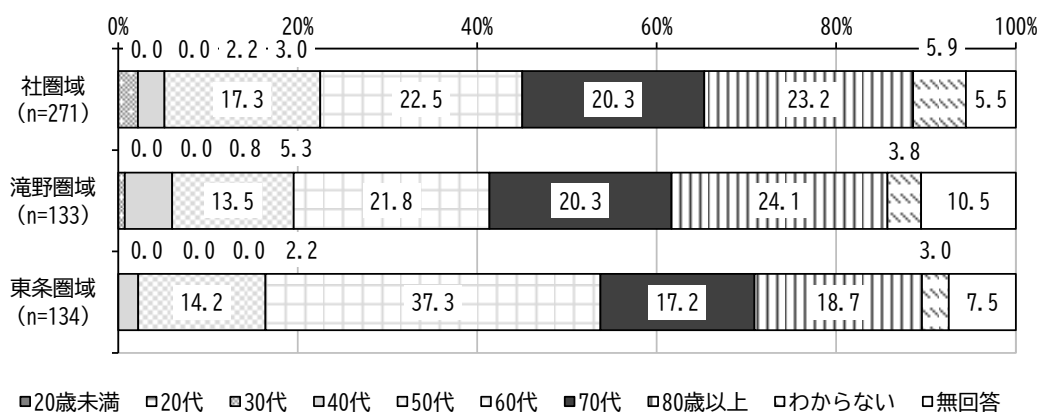
認定状況別にみると、「80 歳以上」では、要介護3が 24.5%で最も高くなっています。

【図表3-1-29 主な介護者の年齢(認定状況別)】



圏域別にみると、「80 歳以上」では、滝野圏域が 24.1%で最も高くなっています。

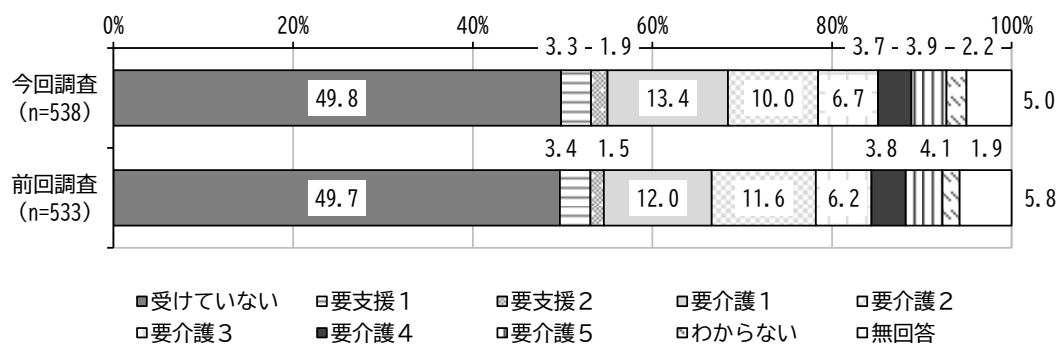
【図表3-1-30 主な介護者の年齢(圏域別)】



(7) 主な介護者の認定状況

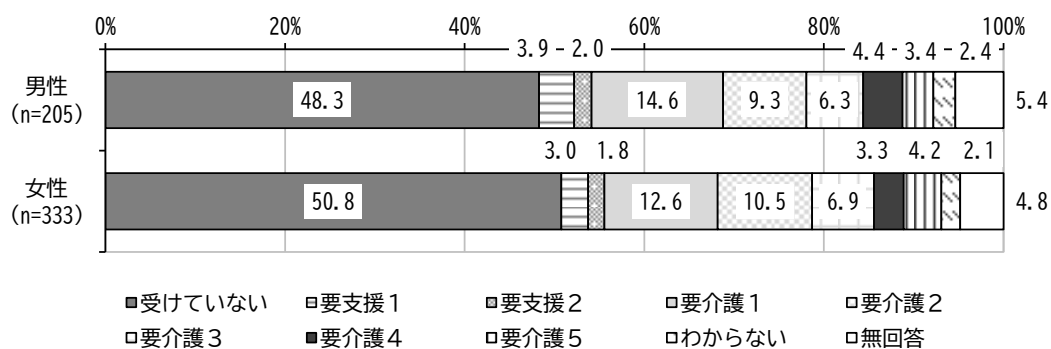
主な介護者の認定状況について、「受けていない」が49.8%で最も高く、次いで「要介護1」が13.4%、「要介護2」が10.0%となっています。

【図表3-1-31 主な介護者の認定状況】



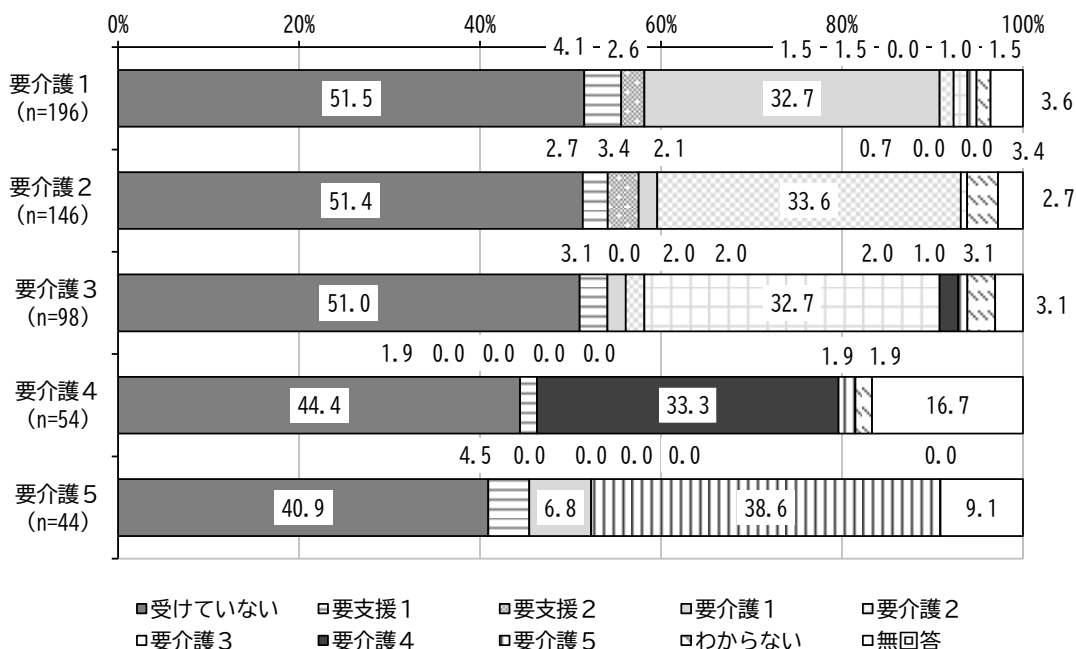
性別にみると、男性・女性ともに「受けていない」が最も高くなっています。

【図表3-1-32 主な介護者の認定状況(性別)】



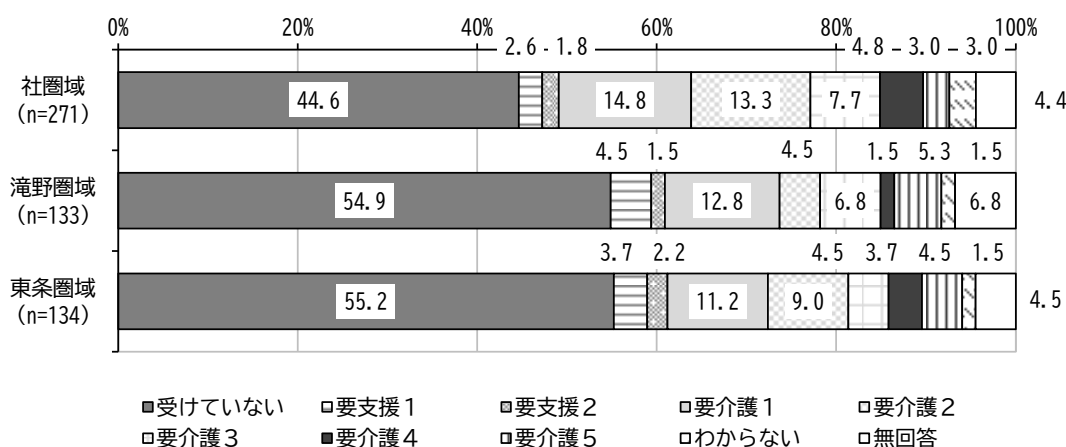
主な介護者が介護認定を「受けていない」割合が最も高い、回答者の要介護度は、要介護1で51.5%となっています。

【図表3-1-33 主な介護者の認定状況(認定状況別)】



圏域別にみると、「受けていない」では、東条圏域が55.2%で最も高くなっています。

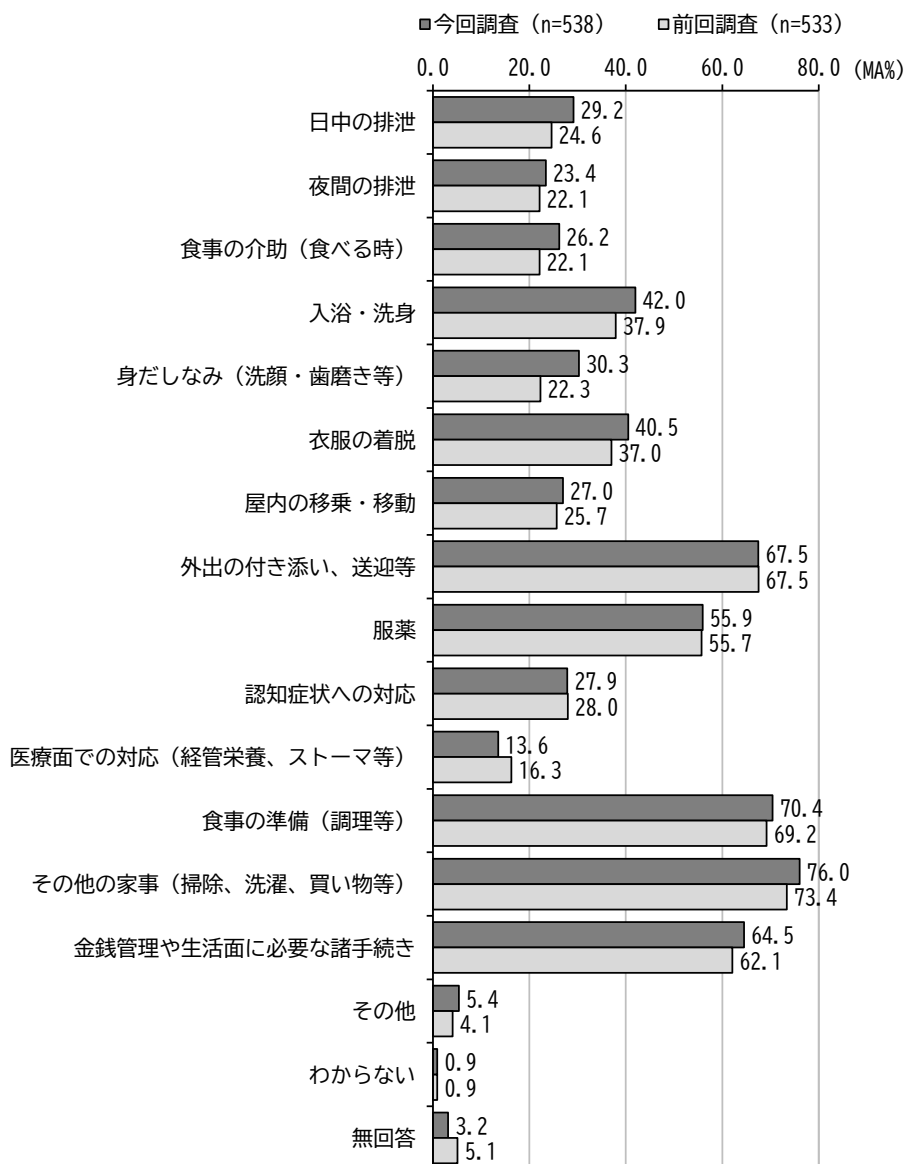
【図表3-1-34 主な介護者の認定状況(圏域別)】



(8) 主な介護者が行っている介護等

主な介護者が行っている介護等について、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 76.0%で最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」が 70.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 67.5%となっています。また、前回調査と比較して「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 2.6 ポイント増加しています。

【図表3-1-35 主な介護者が行っている介護等】



「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」では、認定状況別にみると、要介護5が 25.0%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が17.3%で最も高くなっています。

【図表3-1-36 主な介護者が行っている介護等(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
男性	205	34.1	31.2	24.9	46.8	34.1	48.8	22.9	65.9	58.5	24.9
女性	333	26.1	18.6	27.0	39.0	27.9	35.4	29.4	68.5	54.4	29.7
要介護1	196	7.1	9.2	9.7	36.2	15.3	24.0	12.2	75.0	40.3	20.4
要介護2	146	20.5	15.8	21.9	42.5	26.0	34.9	21.9	65.8	56.2	32.2
要介護3	98	41.8	28.6	29.6	52.0	40.8	51.0	34.7	65.3	69.4	37.8
要介護4	54	70.4	57.4	50.0	46.3	48.1	68.5	53.7	55.6	68.5	27.8
要介護5	44	77.3	59.1	77.3	38.6	65.9	75.0	59.1	59.1	79.5	25.0
社圏域	271	27.7	22.9	23.6	45.8	31.0	40.6	25.8	67.9	56.5	29.5
滝野圏域	133	30.8	26.3	29.3	38.3	29.3	42.1	30.1	66.2	55.6	21.1
東条圏域	134	30.6	21.6	28.4	38.1	29.9	38.8	26.1	67.9	55.2	31.3

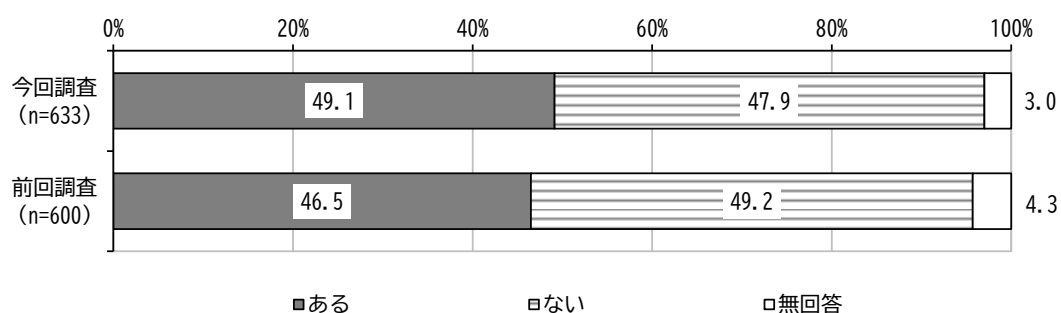
	合計(人)	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	わからない	無回答
男性	205	14.1	71.7	73.2	62.0	3.4	2.0	3.9
女性	333	13.2	69.7	77.8	66.1	6.6	0.3	2.7
要介護1	196	11.7	66.8	76.5	60.7	1.0	1.0	1.5
要介護2	146	8.2	71.2	76.0	67.1	10.3	2.1	4.8
要介護3	98	19.4	76.5	80.6	63.3	6.1	0.0	2.0
要介護4	54	14.8	70.4	68.5	68.5	5.6	0.0	3.7
要介護5	44	25.0	70.5	72.7	70.5	6.8	0.0	6.8
社圏域	271	12.5	70.1	75.3	63.5	4.1	0.7	3.7
滝野圏域	133	17.3	68.4	72.9	63.9	3.8	0.8	3.0
東条圏域	134	11.9	73.1	80.6	67.2	9.7	1.5	2.2

2. 健康について

(1) この1年間に医療機関に入院したことがあるか

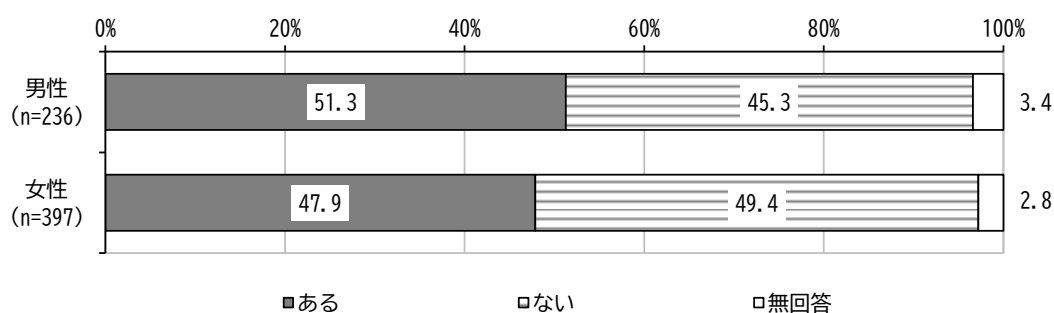
この1年間に医療機関に入院したことがあるかについて、「ある」が 49.1%、「ない」が 47.9%となっています。また、前回調査と比較して「ある」が 2.6 ポイント増加しています。

【図表3-3-20 この1年間に医療機関に入院したことがあるか】



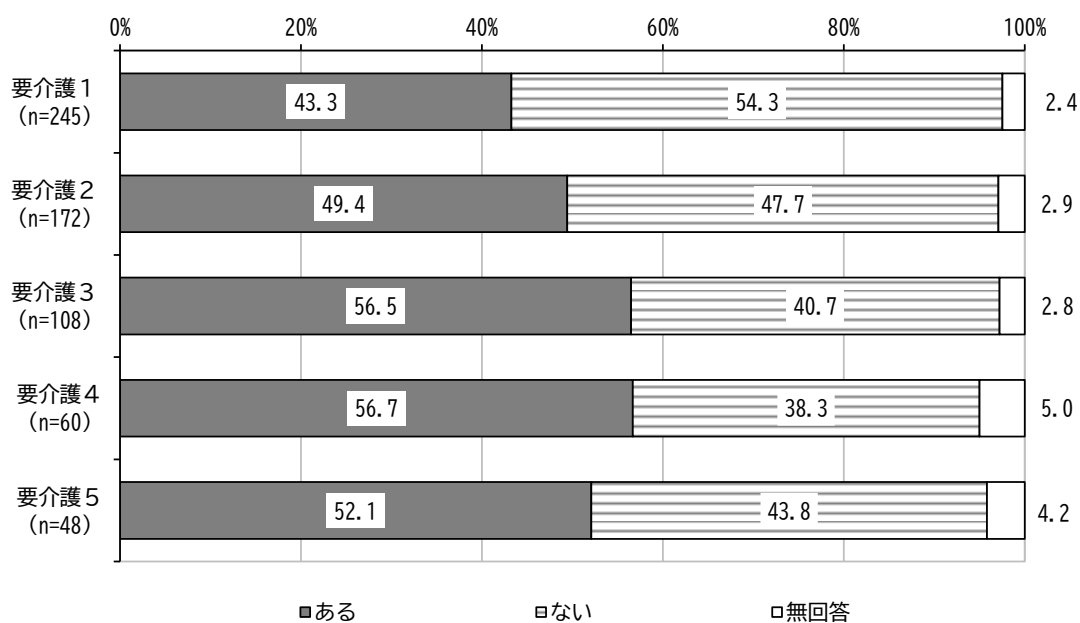
性別にみると、「ある」について、男性では 51.3%、女性では 47.9%となっており、男性のほうが 3.4 ポイント高くなっています。

【図表3-3-21 この1年間に医療機関に入院したことがあるか(性別)】



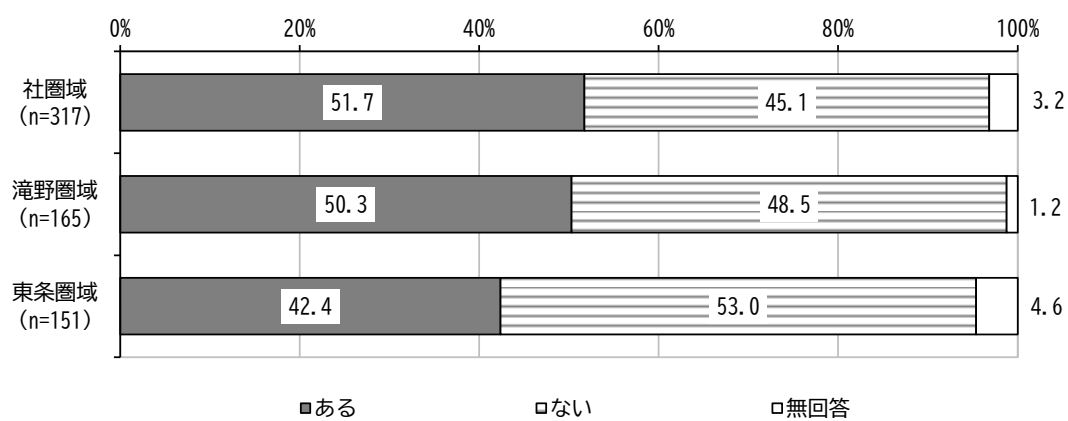
認定状況別にみると、「ある」では、要介護4が56.7%で最も高くなっています。

【図表3-3-22 この1年間に医療機関に入院したことがあるか(認定状況別)】



圏域別にみると、「ある」では、社圏域が51.7%で最も高くなっています。

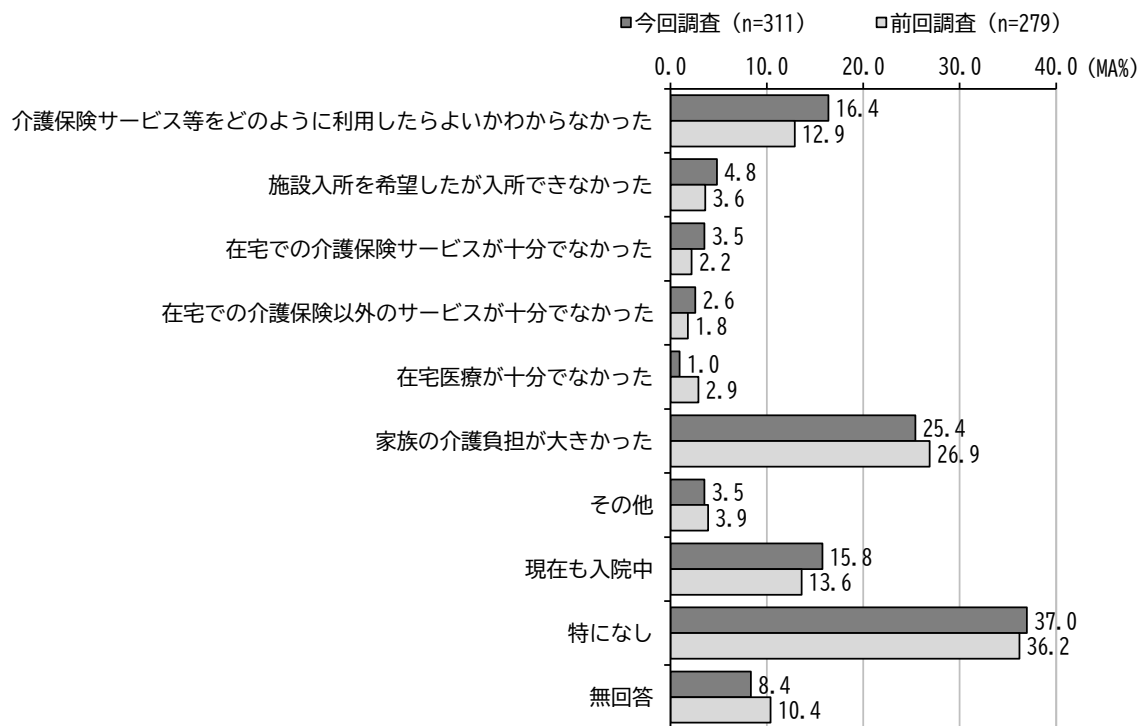
【図表3-3-23 この1年間に医療機関に入院したことがあるか(圏域別)】



（２）退院後、介護保険サービスへの移行・連携に関する困りごと

退院後、介護保険サービスへの移行・連携に関する困りごとについて、「特になし」が 37.0%で最も高く、次いで「家族の介護負担が大きかった」が 25.4%、「介護保険サービス等をどのように利用したらよいかわからなかった」が 16.4%となっています。

【図表3－3－24 退院後、介護保険サービスへの移行・連携に関する困りごと】



「家族の介護負担が大きかった」では、認定状況別にみると、要介護3が 32.8%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 29.7%で最も高くなっています。

【図表3-3-25 退院後、介護保険サービスへの移行・連携に関する困りごと(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

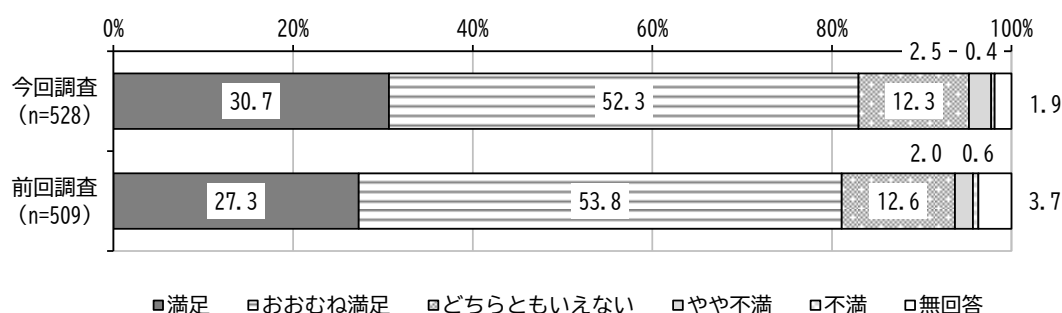
	合計 (人)	介護保険サービス等 から利用した かわの	施設入所を希望 したが入所 できなかった	在宅での介護保 険サービス が十分でなかつ た	在宅での介護保 険以外のた サービスが十分 でなかった	在宅医療が十分 でなかった	家族の介護負担 が大きかつ	その他	現在も入院中	特になし	無回答
男性	121	17.4	3.3	2.5	2.5	0.8	27.3	3.3	18.2	38.0	6.6
女性	190	15.8	5.8	4.2	2.6	1.1	24.2	3.7	14.2	36.3	9.5
要介護1	106	14.2	1.9	3.8	1.9	1.9	19.8	4.7	8.5	46.2	9.4
要介護2	85	18.8	7.1	2.4	4.7	1.2	27.1	3.5	16.5	27.1	10.6
要介護3	61	19.7	4.9	6.6	1.6	0.0	32.8	0.0	16.4	36.1	6.6
要介護4	34	14.7	5.9	0.0	0.0	0.0	20.6	8.8	26.5	32.4	8.8
要介護5	25	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	32.0	0.0	28.0	40.0	0.0
社圏域	164	18.3	4.9	5.5	4.3	0.6	25.0	4.3	13.4	38.4	8.5
滝野圏域	83	15.7	2.4	1.2	1.2	2.4	22.9	3.6	19.3	34.9	10.8
東条圏域	64	12.5	7.8	1.6	0.0	0.0	29.7	1.6	17.2	35.9	4.7

3. 介護保険制度と介護保険サービスについて

(1) 居宅介護サービスの満足度

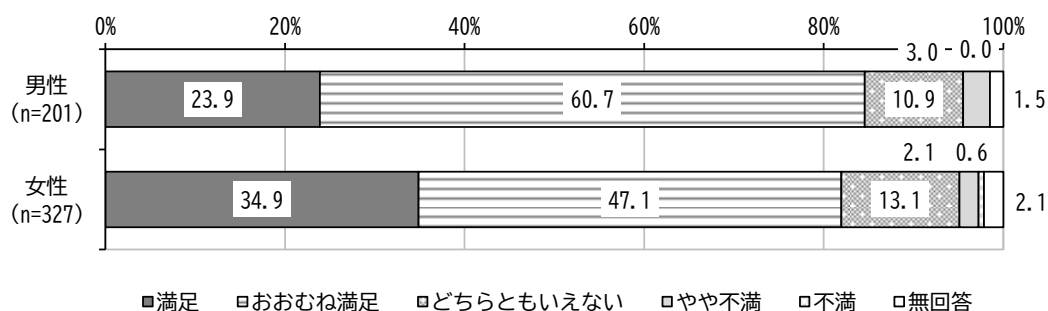
居宅介護サービスの満足度について、「おおむね満足」が52.3%で最も高く、次いで「満足」が30.7%、「どちらともいえない」が12.3%となっています。また、前回調査と比較して「満足」が3.4ポイント増加しています。

【図表3-4-5 居宅介護サービスの満足度】



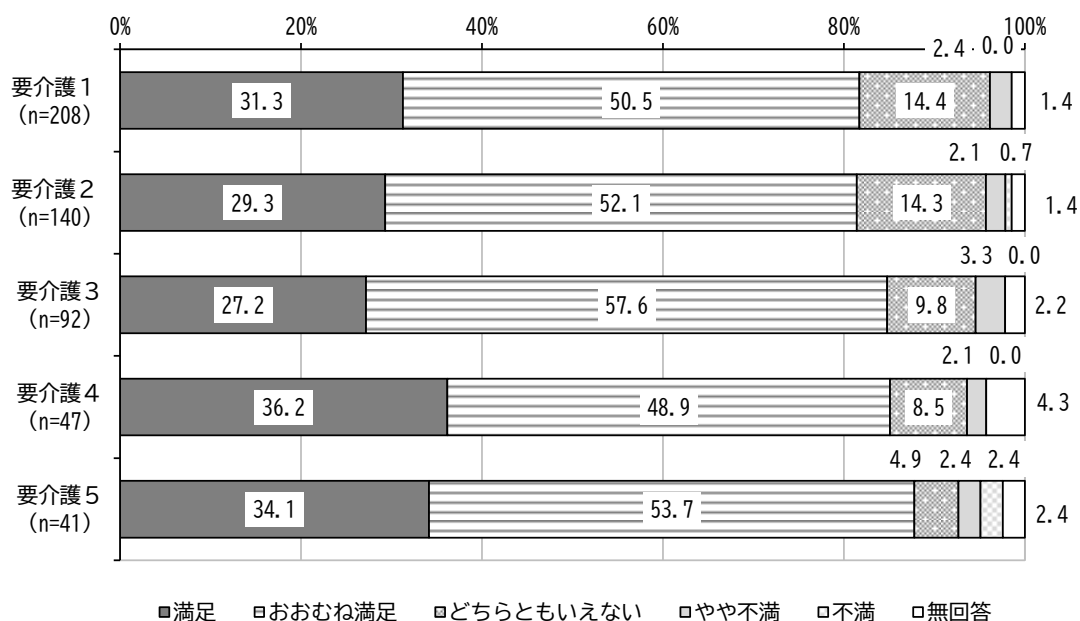
性別にみると、「満足」について、男性では23.9%、女性では34.9%となっており、女性のほうが11.0ポイント高くなっています。

【図表3-4-6 居宅介護サービスの満足度(性別)】



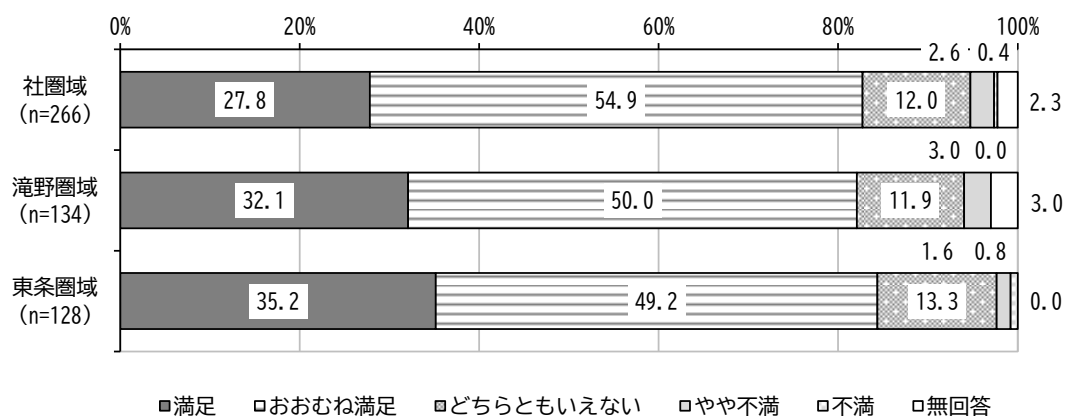
認定状況別にみると、「満足」では、要介護4が36.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-7 居宅介護サービスの満足度(認定状況別)】



圏域別にみると、「満足」では、東条圏域が35.2%で最も高くなっています。

【図表3-4-8 居宅介護サービスの満足度(圏域別)】

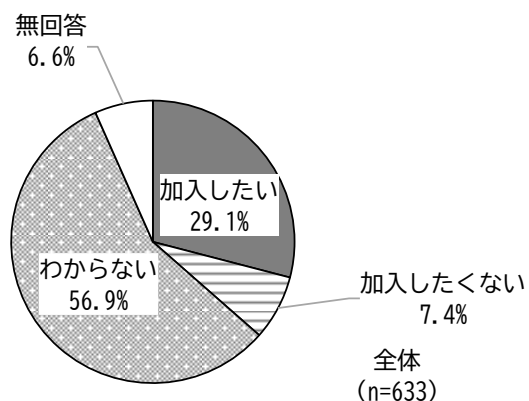


4. 認知症高齢者賠償責任保険制度について

(1) 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいか

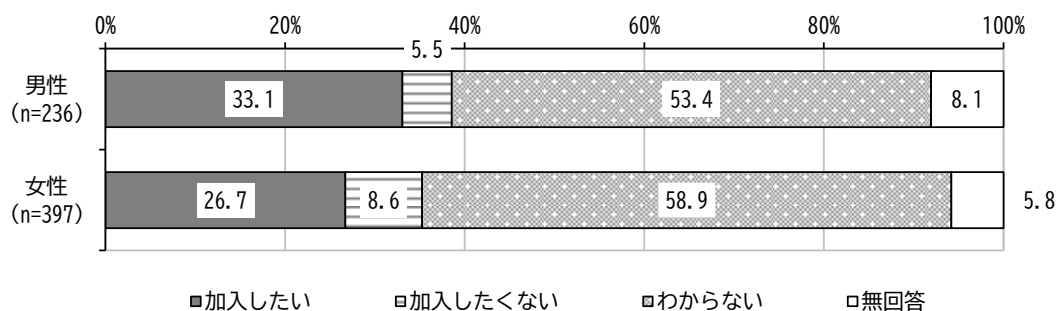
認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいかについて、「わからない」が 56.9%で最も高く、次いで「加入したい」が 29.1%、「加入したくない」が 7.4%となっています。

【図表3-6-1 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいか】



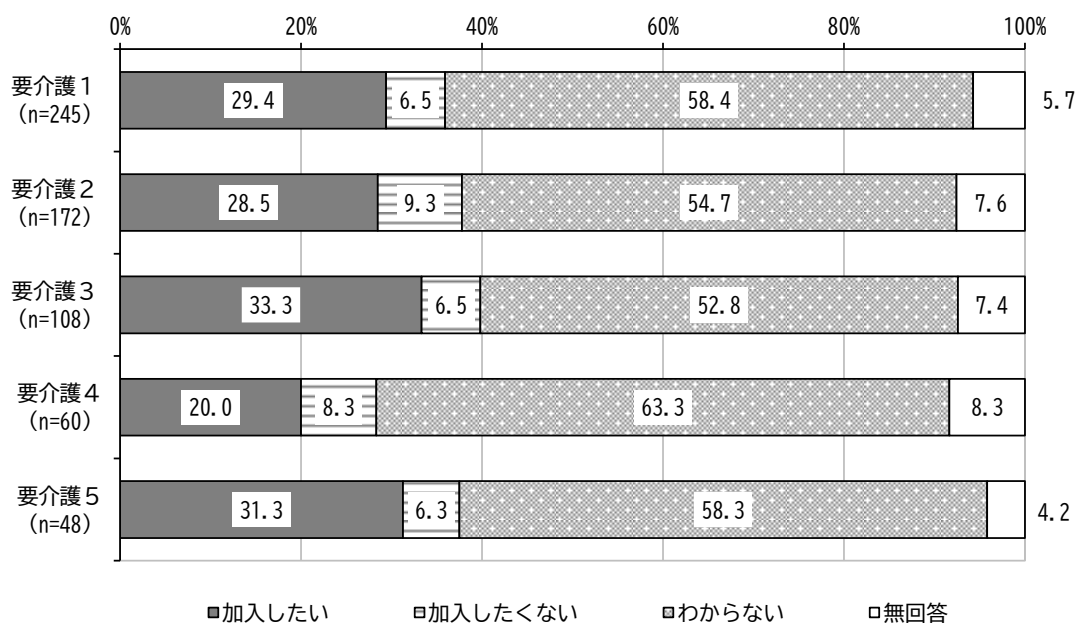
性別にみると、「加入したい」について、男性では 33.1%、女性では 26.7%となっており、男性のほうが 6.4 ポイント高くなっています。

【図表3-6-2 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいか(性別)】



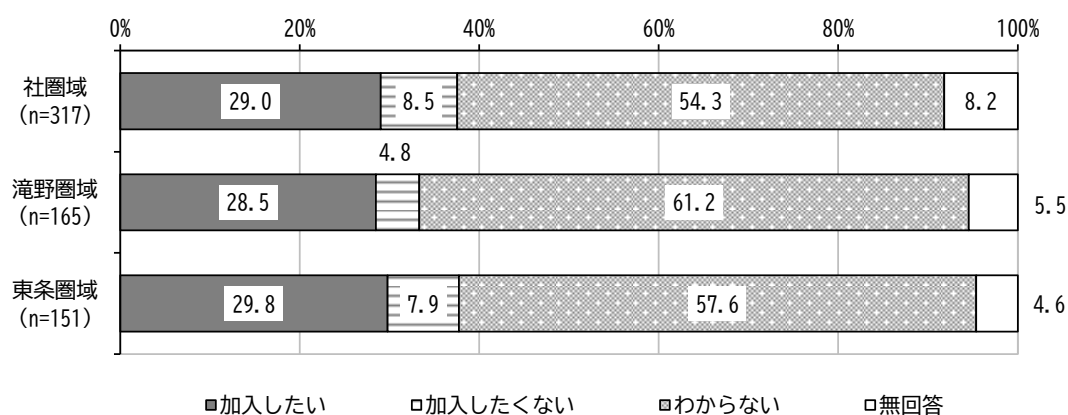
認定状況別にみると、「加入したい」では、要介護3が33.3%で最も高くなっています。

【図表3－6－3 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいか(認定状況別)】



圏域別にみると、「加入したい」では、東条圏域が29.8%で最も高くなっています。

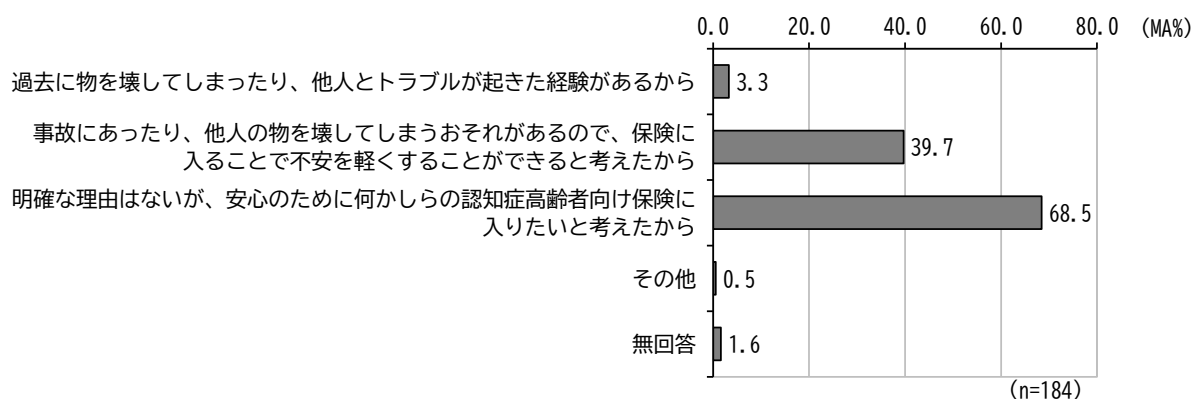
【図表3－6－4 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したいか(圏域別)】



(2) 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したい理由

認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したい理由について、「明確な理由はないが、安心のために何かしらの認知症高齢者向け保険に入りたいと考えたから」が 68.5%で最も高く、次いで「事故にあったり、他人の物を壊してしまうおそれがあるので、保険に入ることによって不安を軽くできると考えたから」が 39.7%、「過去に物を壊してしまったり、他人とトラブルが起きた経験があるから」が 3.3%となっています。

【図表3-6-5 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したい理由】



「明確な理由はないが、安心のために何かしらの認知症高齢者向け保険に入りたいと考えたから」では、認定状況別にみると、要介護1が 80.6%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が 76.6%で最も高くなっています。

【図表3-6-6 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したい理由(属性別)】

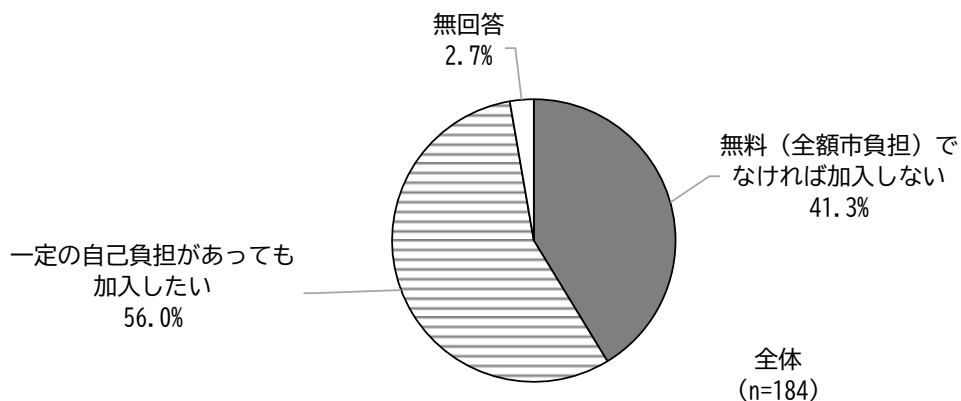
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	過去に物を壊してしまったり、他人とトラブル	事故にあったり、他人の物を壊してしまうおそれがあるので、保険に入ることによって不安を軽くできると考えたから	明確な理由はないが、安心のために何かしらの認知症高齢者向け保険に入りたいと考えたから	その他	無回答
男性	78	3.8	41.0	64.1	0.0	2.6
女性	106	2.8	38.7	71.7	0.9	0.9
要介護1	72	0.0	27.8	80.6	1.4	0.0
要介護2	49	6.1	42.9	63.3	0.0	4.1
要介護3	36	5.6	44.4	58.3	0.0	2.8
要介護4	12	8.3	58.3	50.0	0.0	0.0
要介護5	15	0.0	60.0	66.7	0.0	0.0
社圏域	92	3.3	32.6	66.3	1.1	3.3
滝野圏域	47	0.0	38.3	76.6	0.0	0.0
東条圏域	45	6.7	55.6	64.4	0.0	0.0

(3) 認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考え

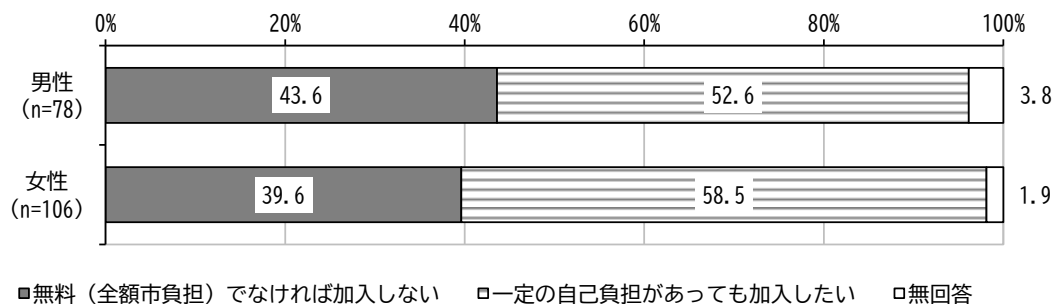
認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考えについて、「無料(全額市負担)でなければ加入しない」が41.3%、「一定の自己負担があっても加入したい」が56.0%となっています。

【図表3-6-7 認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考え】



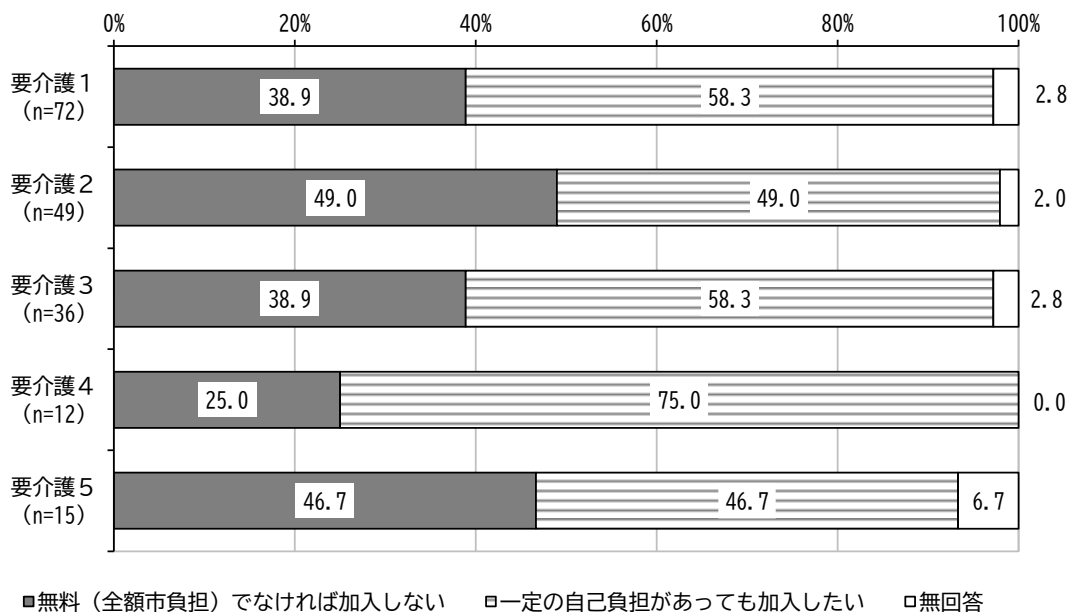
性別にみると、「無料(全額市負担)でなければ加入しない」について、男性では43.6%、女性では39.6%となっており、男性のほうが4.0ポイント高くなっています。

【図表3-6-8 認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考え(性別)】



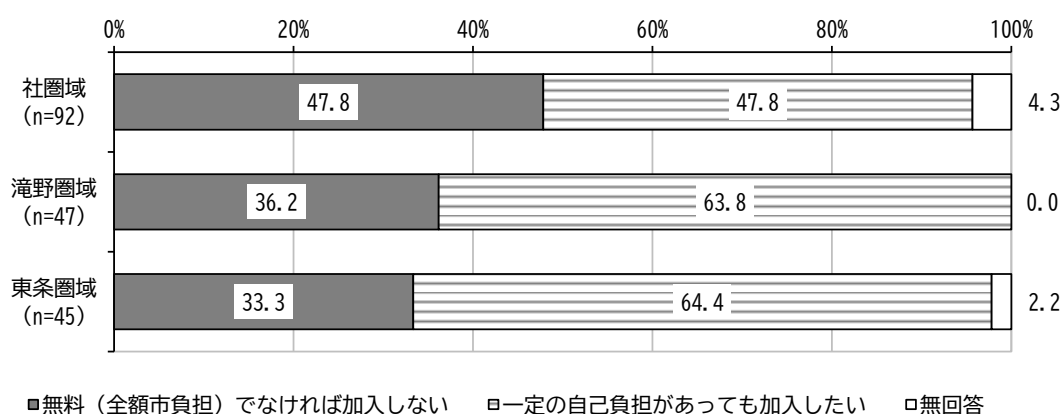
認定状況別にみると、「無料(全額市負担)でなければ加入しない」では、要介護2が 49.0%で最も高くなっています。

【図表3-6-9 認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考え(認定状況別)】



圏域別にみると、「無料(全額市負担)でなければ加入しない」では、社圏域が 47.8%で最も高くなっています。

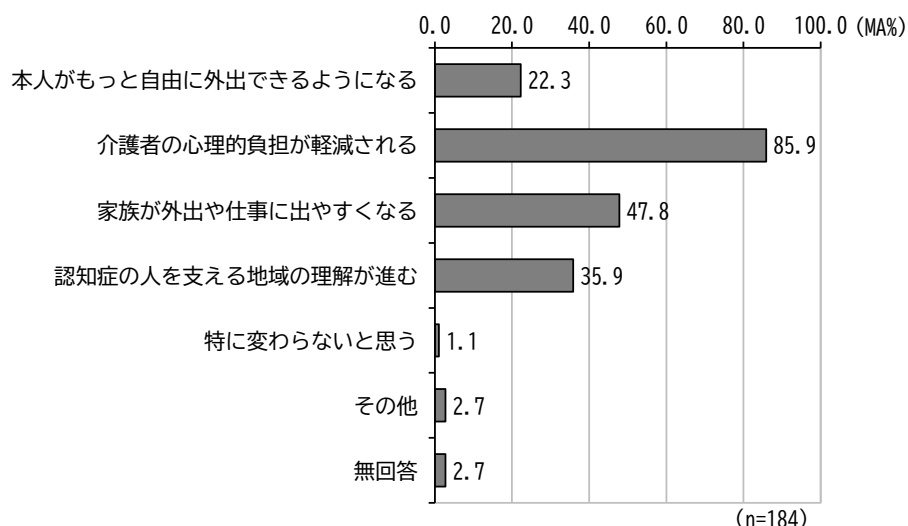
【図表3-6-10 認知症高齢者賠償責任保険制度の個人負担についての考え(圏域別)】



(4) 認知症高齢者賠償責任保険制度加入により期待される効果

認知症高齢者賠償責任保険制度加入により期待される効果について、「介護者の心理的負担が軽減される」が 85.9%で最も高く、次いで「家族が外出や仕事に出やすくなる」が 47.8%、「認知症の人を支える地域の理解が進む」が 35.9%となっています。

【図表3-6-11 認知症高齢者賠償責任保険制度加入により期待される効果】



「介護者の心理的負担が軽減される」では、認定状況別にみると、要介護5が 93.3%で最も高く、圏域別にみると、東条圏域が 88.9%で最も高くなっています。

【図表3-6-12 認知症高齢者賠償責任保険制度加入により期待される効果(属性別)】

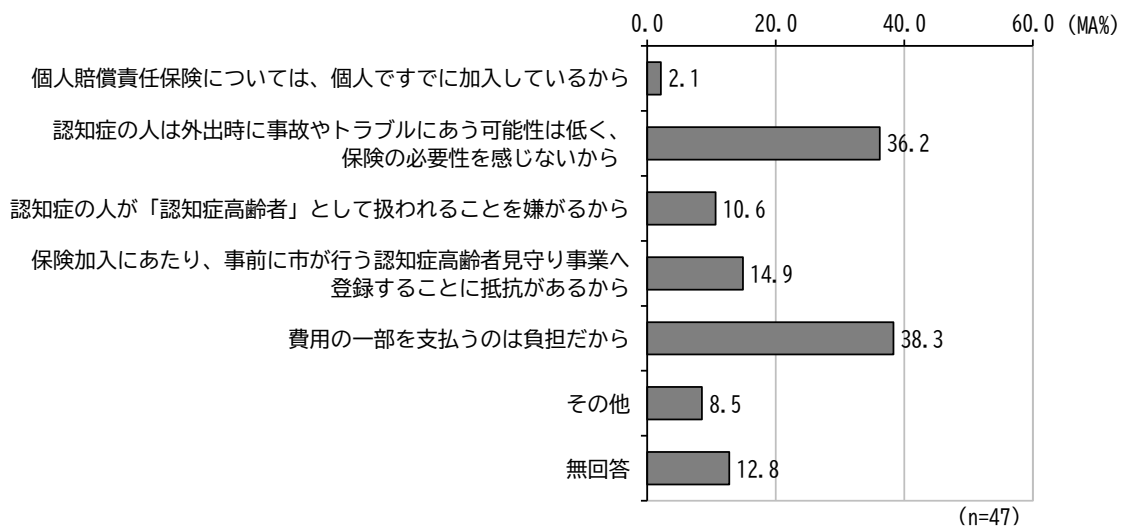
※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	本人が もっと 自由に 外出で きるよ うにな る	介護者 の心理 的負担 が軽減 される	家族が 外出や 仕事に 出やす くなる	認知症 の人を 支える 地域の 理解が 進む	特に 変わら ないと思 う	その他	無 回答
男性	78	23.1	83.3	47.4	43.6	0.0	2.6	1.3
女性	106	21.7	87.7	48.1	30.2	1.9	2.8	3.8
要介護1	72	26.4	83.3	41.7	36.1	1.4	2.8	2.8
要介護2	49	20.4	83.7	57.1	24.5	2.0	2.0	4.1
要介護3	36	16.7	88.9	44.4	38.9	0.0	2.8	2.8
要介護4	12	8.3	91.7	66.7	58.3	0.0	0.0	0.0
要介護5	15	33.3	93.3	40.0	46.7	0.0	6.7	0.0
社圏域	92	30.4	83.7	52.2	37.0	0.0	1.1	3.3
滝野圏域	47	17.0	87.2	38.3	36.2	0.0	2.1	4.3
東条圏域	45	11.1	88.9	48.9	33.3	4.4	6.7	0.0

(5) 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したくない理由

認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したくない理由について、「費用の一部を支払うのは負担だから」が 38.3%で最も高く、次いで「認知症の人は外出時に事故やトラブルにあう可能性は低く、保険の必要性を感じないから」が 36.2%、「保険加入にあたり、事前に市が行う認知症高齢者見守り事業へ登録することに抵抗があるから」が 14.9%となっています。

【図表3-6-13 認知症高齢者賠償責任保険制度に加入したくない理由】

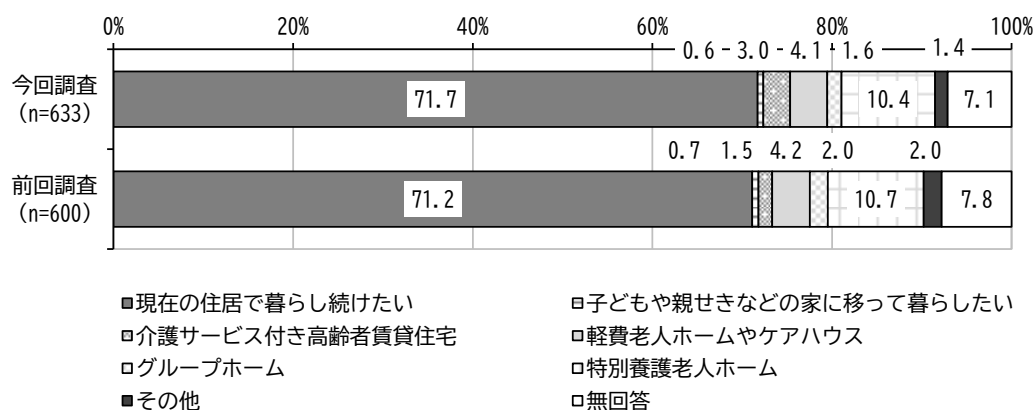


5. 今後の生活と福祉や介護保険制度について

(1) 今後の住まい

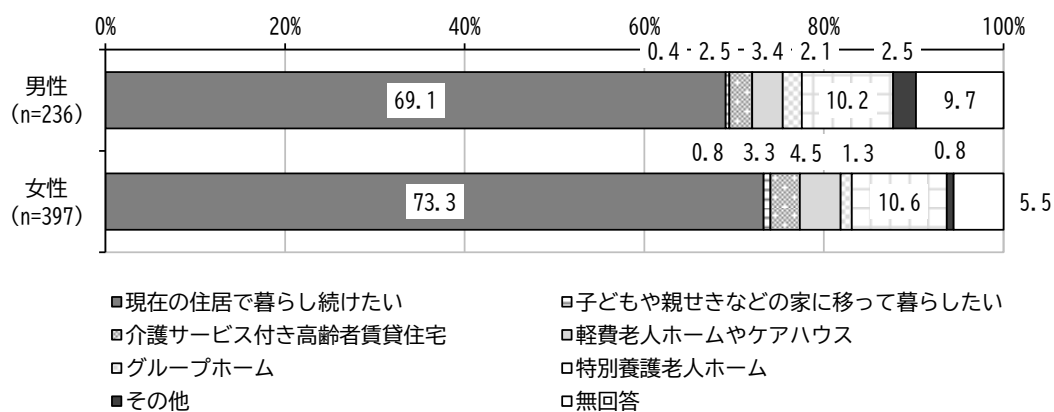
今後の住まいについて、「現在の住居で暮らし続けたい」が 71.7%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 10.4%、「軽費老人ホームやケアハウス」が 4.1%となっています。

【図表3-7-1 今後の住まい】



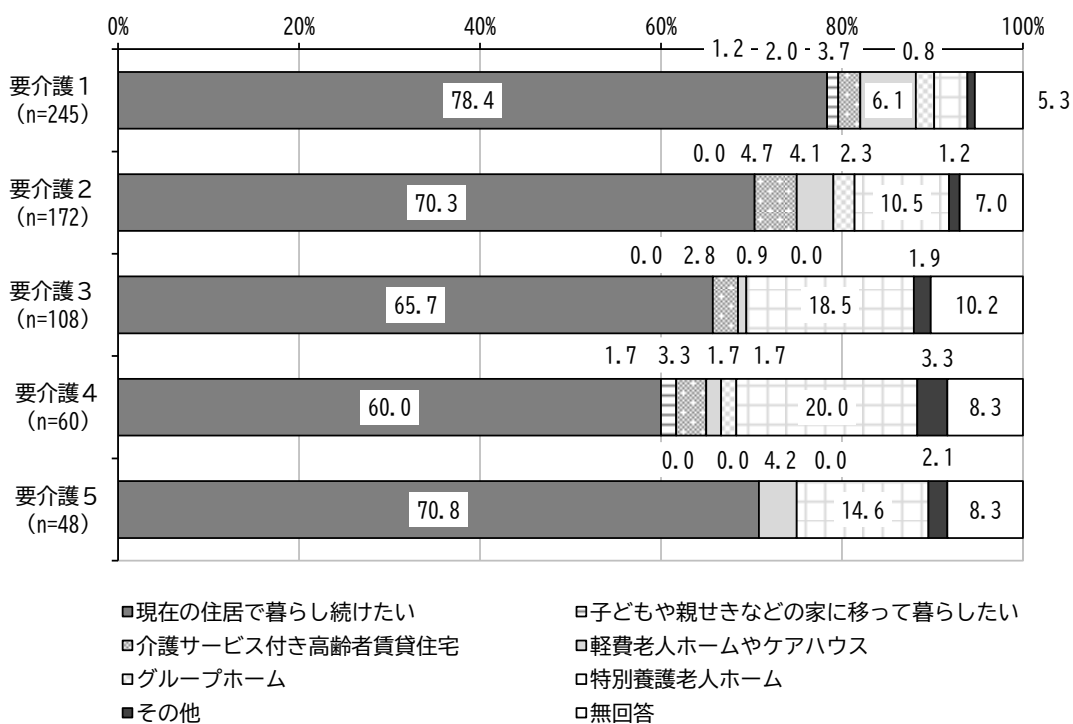
性別にみると、「現在の住居で暮らし続けたい」について、男性では 69.1%、女性では 73.3%となっており、女性のほうが 4.2 ポイント高くなっています。

【図表3-7-2 今後の住まい(性別)】



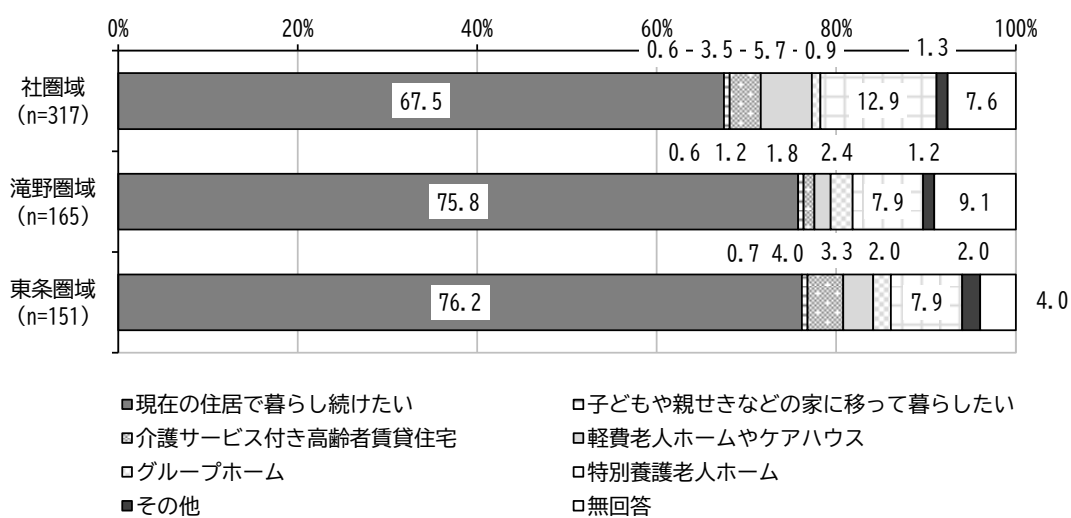
認定状況別にみると、「現在の住居で暮らし続けたい」では、要介護1が78.4%で最も高くなっています。

【図表3-7-3 今後の住まい(認定状況別)】



圏域別にみると、「現在の住居で暮らし続けたい」では、東条圏域が76.2%で最も高くなっています。

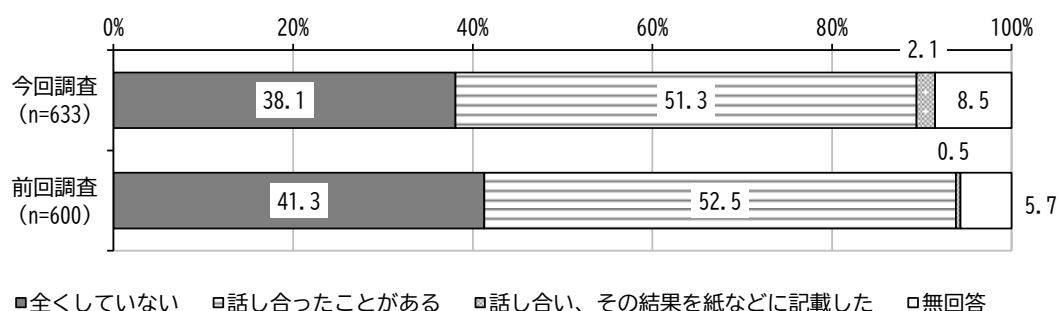
【図表3-7-4 今後の住まい(圏域別)】



(2) 今後の住まいや生活に関して、誰かと話したか

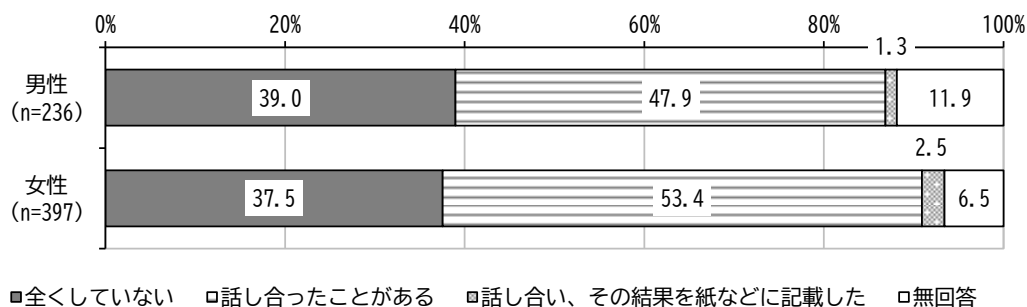
今後の住まいや生活に関して、誰かと話したかについて、「話し合ったことがある」が 51.3%で最も高く、次いで「全くしていない」が 38.1%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が 2.1%となっています。また、前回調査と比較して『話し合ったことがある』（「話し合ったことがある」と「話し合い、その結果を紙などに記載した」の合計）が 0.4 ポイント増加しています。

【図表3-7-5 今後の住まいや生活に関して、誰かと話したか】



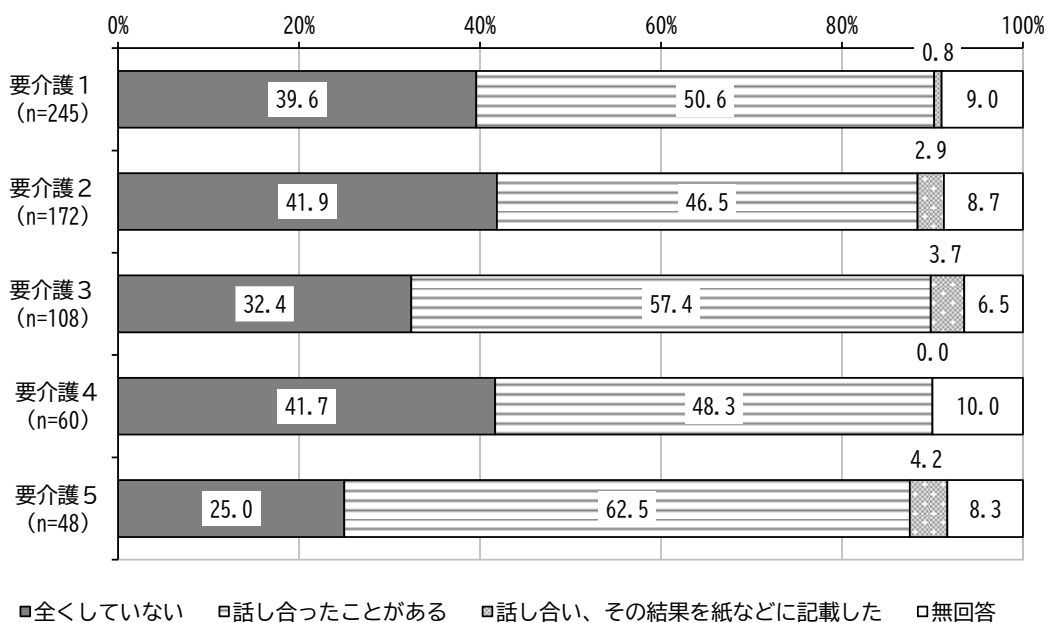
性別にみると、「話し合ったことがある」について、男性では 47.9%、女性では 53.4%となっており、女性のほうが 5.5 ポイント高くなっています。

【図表3-7-6 今後の住まいや生活に関して、誰かと話したか(性別)】



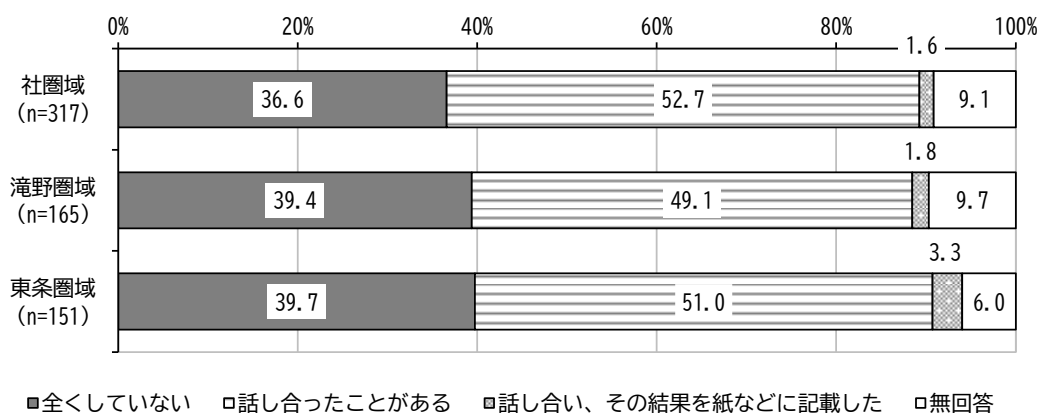
認定状況別にみると、「話し合ったことがある」では、要介護5が62.5%で最も高くなっています。

【図表3-7-7 今後の住まいや生活に関して、誰かと話したか(認定状況別)】



圏域別にみると、「話し合ったことがある」では、社圏域が52.7%で最も高くなっています。

【図表3-7-8 今後の住まいや生活に関して、誰かと話したか(圏域別)】

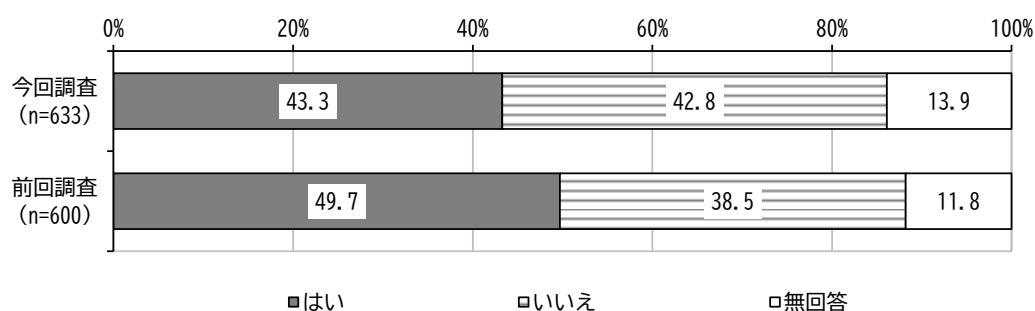


6. 主な介護者の考えについて

(1) 対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるか

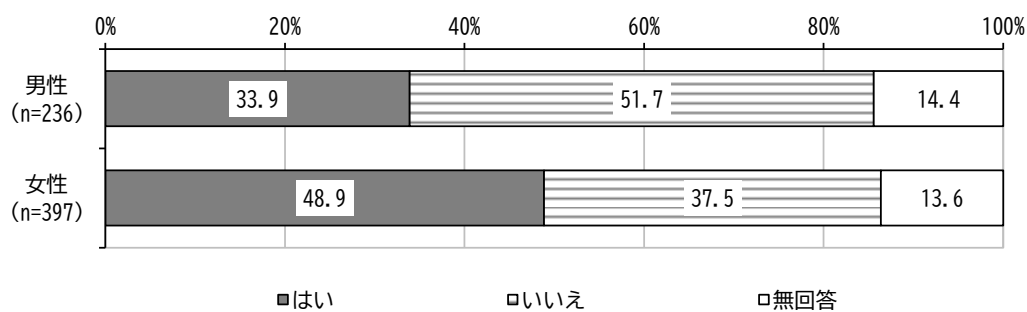
対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 43.3%、「いいえ」が 42.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 6.4 ポイント減少しています。

【図表3-8-3 対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるか】



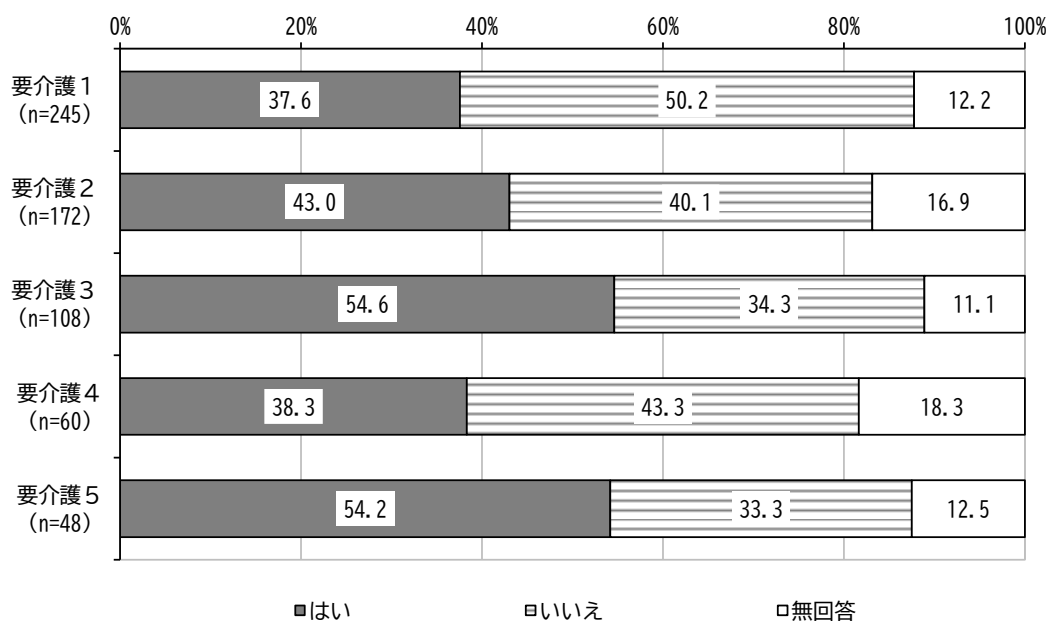
性別にみると、「はい」について、男性では 33.9%、女性では 48.9%となっており、女性のほうが 15.0 ポイント高くなっています。

【図表3-8-4 対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるか(性別)】



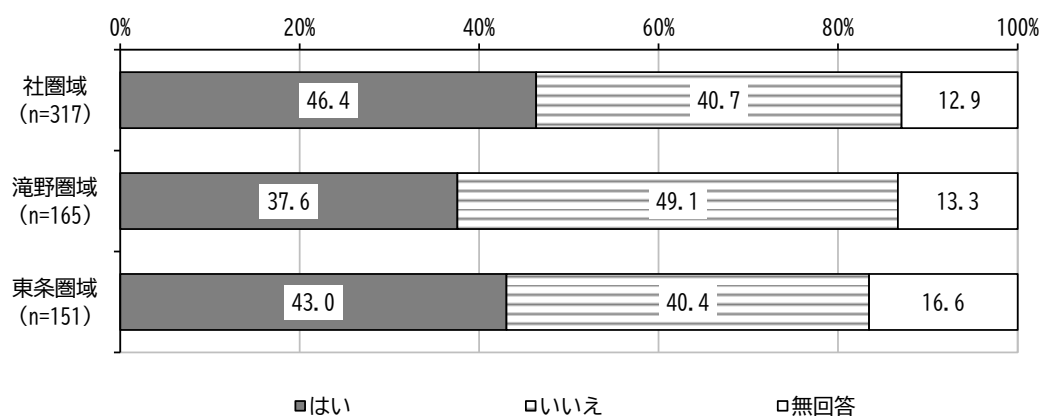
認定状況別にみると、「はい」では、要介護3が54.6%で最も高くなっています。

【図表3-8-5 対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人があるか(認定状況別)】



圏域別にみると、「はい」では、社圏域が46.4%で最も高くなっています。

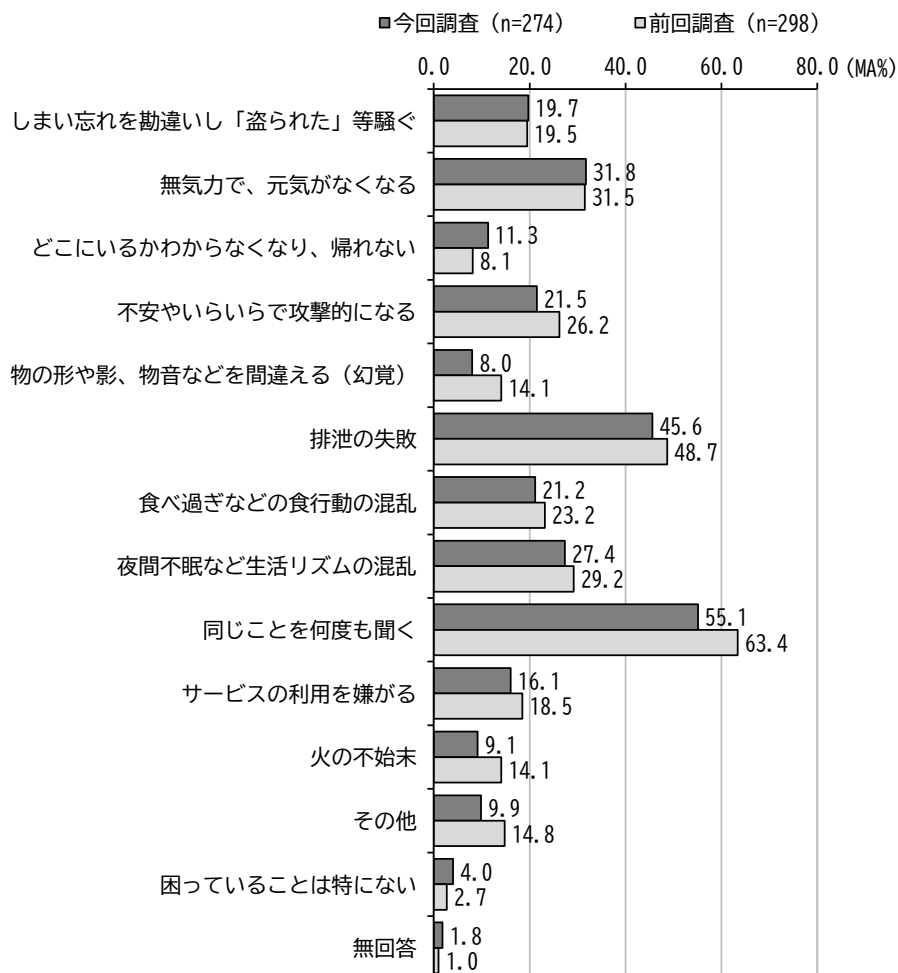
【図表3-8-6 対象者に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人があるか(圏域別)】



(2) 主な介護者が対応に困っている認知症に伴う行動や症状

主な介護者が対応に困っている認知症に伴う行動や症状について、「同じことを何度も聞く」が 55.1%で最も高く、次いで「排泄の失敗」が 45.6%、「無気力で、元気がなくなる」が 31.8%となっています。また、前回調査と比較して「同じことを何度も聞く」が 8.3 ポイント減少しています。

【図表3-8-7 主な介護者が対応に困っている認知症に伴う行動や症状】



「困っていることは特にない」では、認定状況別にみると、要介護5が11.5%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が8.1%で最も高くなっています。

【図表3-8-8 主な介護者が対応に困っている認知症に伴う行動や症状(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計(人)	らしまい忘れを勘違いし「盗られた」等騒ぐ	無気力で、元気がなくなる	どこにいないかわからなくなり、帰れない	不安やいらいらで攻撃的になる	物の形や影、物音などを間違える(幻覚)	排泄の失敗	乱食、食べ過ぎなどの食行動の混乱	夜間不眠など生活リズムの混乱	同じことを何度も聞く	サービスの利用を嫌がる
男性	80	18.8	28.8	11.3	26.3	5.0	51.3	17.5	22.5	50.0	6.3
女性	194	20.1	33.0	11.3	19.6	9.3	43.3	22.7	29.4	57.2	20.1
要介護1	92	19.6	26.1	2.2	18.5	3.3	39.1	25.0	19.6	59.8	13.0
要介護2	74	24.3	32.4	16.2	28.4	12.2	50.0	18.9	28.4	63.5	21.6
要介護3	59	22.0	35.6	18.6	23.7	13.6	54.2	28.8	40.7	50.8	13.6
要介護4	23	17.4	30.4	26.1	17.4	0.0	47.8	8.7	39.1	43.5	17.4
要介護5	26	3.8	42.3	0.0	11.5	7.7	34.6	7.7	11.5	34.6	15.4
社圏域	147	20.4	34.0	11.6	20.4	8.2	42.9	18.4	27.9	55.1	17.7
滝野圏域	62	14.5	25.8	9.7	19.4	6.5	45.2	24.2	25.8	51.6	12.9
東条圏域	65	23.1	32.3	12.3	26.2	9.2	52.3	24.6	27.7	58.5	15.4

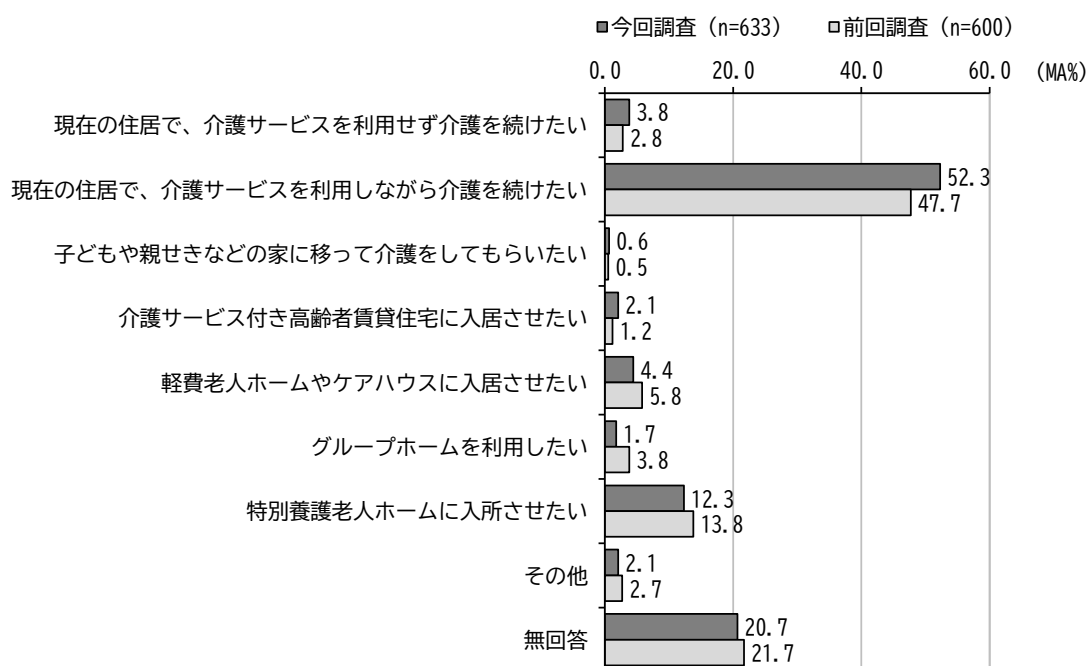
	合計(人)	火の不始末	その他	困っていることは特にない	無回答
男性	80	5.0	11.3	5.0	2.5
女性	194	10.8	9.3	3.6	1.5
要介護1	92	9.8	13.0	2.2	2.2
要介護2	74	16.2	12.2	2.7	0.0
要介護3	59	3.4	1.7	5.1	0.0
要介護4	23	4.3	13.0	4.3	4.3
要介護5	26	3.8	7.7	11.5	7.7
社圏域	147	8.8	8.2	2.7	2.7
滝野圏域	62	4.8	8.1	8.1	1.6
東条圏域	65	13.8	15.4	3.1	0.0

(4) 主な介護者の介護に対する今後の展望

問8	(3)	主な介護者の方は、今後の介護をどのようにしていきたいとお考えですか。 (1つに○)
----	-----	--

主な介護者の介護に対する今後の展望について、「現在の住居で、介護サービスを利用しながら介護を続けたい」が 52.3%で最も高く、次いで特別養護老人ホームに入所させたい」が 12.3%となっています。また、前回調査と比較して「現在の住居で、介護サービスを利用しながら介護を続けたい」が 4.6 ポイント増加しています。

【図表3-8-9 主な介護者の介護に対する今後の展望】



「現在の住居で、介護サービスを利用しながら介護を続けたい」では、認定状況別にみると、要介護1が61.6%で最も高く、圏域別にみると、滝野圏域が59.4%で最も高くなっています。

【図表3-8-10 主な介護者の介護に対する今後の展望(属性別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	現在の住居で、 介護サービス を利用せず介 護を続けた い	現在の住居で、 介護サービス を利用しながら 介護を続けた い	子どもや親せき など、の家に 移す介護を したい	介護サービス 付き高齢者 住宅に入居 させたい	軽費老人ホーム やケアハウ スに入居させ たい	グループホーム を利用した い	特別養護老人 ホームに入所 させたい	その他	無 回 答
男性	236	3.8	52.1	0.4	0.8	5.1	1.3	9.3	2.1	25.0
女性	397	3.8	52.4	0.8	2.8	4.0	2.0	14.1	2.0	18.1
要介護1	245	4.1	61.6	1.2	2.9	3.7	2.9	4.1	1.6	18.0
要介護2	172	5.8	47.1	0.0	1.7	7.6	1.7	12.2	3.5	20.3
要介護3	108	1.9	41.7	0.9	1.9	1.9	0.9	25.0	0.9	25.0
要介護4	60	0.0	45.0	0.0	0.0	3.3	0.0	20.0	3.3	28.3
要介護5	48	4.2	56.3	0.0	2.1	4.2	0.0	16.7	0.0	16.7
社圏域	317	3.5	50.5	0.6	2.5	3.8	2.5	14.2	0.9	21.5
滝野圏域	165	3.0	59.4	0.6	0.6	3.0	1.2	8.5	2.4	21.2
東条圏域	151	5.3	48.3	0.7	2.6	7.3	0.7	12.6	4.0	18.5

1. 一般高齢者・要支援認定者についての現状・課題

(1) 家族や生活状況について

【現状】

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 35.6%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が 26.0%、「1人暮らし」が 16.3%となっています。「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし」の合計は 50%を上回っており、前回調査と比較すると 1.7 ポイント高齢者のみの世帯が増加しています。
- 見守り・安否確認サービスの利用状況では、「家族・親族等の訪問や電話、メールなどによる見守り」が 34.4%で最も高く、次いで「民生委員や地域住民、ボランティアによる声かけ・安否確認」が 11.1%となっています。一方、「GPS 端末やセンサーなど機器を利用した見守りサービス」「家電やガスなどの使用状況をチェックすることによる見守りサービス」はそれぞれ3%未満にとどまっています。

【課題】

- 高齢夫婦のみ世帯や独居世帯が相当数存在しており、フォーマル・インフォーマル双方の見守り体制の強化が必要。
- 機器等を活用した見守りサービスよりも家族等の訪問や電話、地域住民・民生委員・ボランティアによる直接的な声かけ・見守りが役割を果たしており、地域の互助機能の充実が重要。

(2) 日常生活について

【現状】

- 軽い運動の頻度は「ほとんどしない」が 31.2%と最も高く、年齢別では「65～69 歳」「70～74 歳」が 3 割を超えており。圏域別では、東条地域が一番高い。
- 過去 1 年間に転んだ経験があるかの年齢別では「何度もある」が「85 歳以上」12.6%と一番多く、次いで「70～74 歳」で 11.4%となっている。また、転倒経験が増加するごとに転倒に対する不安が高まり、外出の頻度も低下している。
- 認知機能の低下別にみる外出の状況で「週2回以上の外出」は認知機能が低下している人(77.7%)より認知機能が低下していない人(80.2%)の方が多い。「ほとんど外出しない」は 4.7%で男女比では男性が多い。
また、外出する際の移動手段では「自動車(自分で運転)」が 71.8%で最も高く、次いで「徒歩」が 31.3%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 20.1%となり、車での移動が多い。
- 「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」への「はい」が 26.2%で、要支援認定者・事業対象者は一般高齢者より 10.4 ポイント高い。年齢別では 80 歳から増加している。
- 参加者として地域づくりに参加したいかについて「是非参加したい」「参加してもよい」が 48.2%で前回比 5.7 ポイント増加しており、参加意欲は高まっていますが、企画・運営として参加したいかについては「参加したくない」が前回比 4.8 ポイント増加しています。

【課題】

- 若い年齢から運動習慣がない人が多いため、運動習慣のきっかけづくりの取組が必要。
- 認知機能が低下している人ほど趣味や生きがいを持たず、外出頻度も低い傾向にある。
- 転倒経験が外出頻度を低下させているため、転倒予防の取組が重要。
- 地域活動への参加意欲は高まっているものの、担い手不足が課題であり、参加しやすい仕組みづくりが必要。

(3) 介護保険サービス、介護予防・生活支援・福祉サービスについて

【現状】

- 取り組みたい介護予防について、「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」が 66.5%で最も高く、在宅での介護予防ニーズが一層高まっている。
- これからの加東市において、特に重要な施策について、「移送サービスや公共交通などの交通機関の充実」は前回比 4.8 ポイント減少しており、デマンド型交通の整備が一定程度浸透してきたのではないかと。一方で「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」は依然 35.5%で最も高く、食を支えるサービスへのニーズが増加している。
- 認知症の相談窓口を「知っている」は 30.6%にとどまるものの、前回調査比 4.2 ポイント増加している。

【課題】

- 認知症相談窓口の認知度は増加しているものの、64.6%が「知らない」と回答しており、認知症の人が地域で安心して自分らしく暮らすためには、正しい理解を広めることが重要であり、さらなる情報発信の強化が必要。

2. 要介護認定者調査の現状・課題

(1) 家族や生活状況について

【現状】

- 家族構成について、「息子・娘との2世帯」が 34.4%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 21.2%、「1人暮らし」が 19.7%となっています。
- 主な介護者の年齢について、「60 代」が 26.0%で最も高いものの、「80 歳以上」が 22.3%、「70 代」が 19.5%と高齢の介護者が多く、老老介護の実態が浮かび上がっています。

【課題】

- 60 代介護者が減少し高齢介護者の割合が増加傾向にあり、老老介護・認認介護のリスクが高まっています。介護者自身の健康管理支援や負担軽減につながる生活支援サービスの普及が必要。

(2) 日常生活について

【現状】

- この 1 年間に医療機関に入院したことがある割合は 49.1%と約半数に上り、前回調査比 2.6 ポイント増加しており、そのうち退院後の困りごととして「家族の介護負担が大きかった」が 25.4%、「介護保険サービス等をどのように利用したらよいかわからなかった」が 16.4%となっている。

【課題】

- 入院経験者が約半数に上り、かつ前回より増加していることから、退院後の切れ目のない在宅復帰支援体制の強化が必要。

(3) 介護保険サービス、介護予防・生活支援・福祉サービスについて

【現状】

- 居宅介護サービスの満足度は「おおむね満足」が 52.3%、「満足」が 30.7%で、前回調査比「満足」が 3.4 ポイント増加している。
- 認知症高齢者賠償責任保険制度の加入補助が行われたら加入したいと回答した割合が 29.1%と低い。また加入したい理由については「明確な理由はないが、安心のために何かしらの認知症高齢者向け保険に入りたいと考えたから」が多くなっている。一方で加入したくない人の理由として、「費用の一部を払うのが負担だから」が最も多く、次いで「認知症の人は事故やトラブルにあう可能性は低く保険の必要性を感じないから」となっている。

【課題】

- 在宅介護継続の意向が前回より一層強まっている一方、介護者の高齢化・家事負担が増大している。在宅介護を支えるサービス量の確保と介護者支援の充実が必要。
- 認知症高齢者賠償責任保険制度については、現時点では市民ニーズや優先度高くないものと考えられる。

